

平成28年度

スクリーニングの手引（4月～7月）

東京スクリーニング

5月期 第1期	4月 29日(金)～5月 1日(日)	通信教育部 1号館ほか
5月期 第2期	5月 2日(月)～5月 4日(水)	
6月期	6月 4日(土)・5日(日), 6月 11日(土), 12日(日)	
7月期	7月 2日(土)・3日(日), 7月 9日(土)・10日(日)	

地方スクリーニング

6月期	6月 18日(土)～6月 20日(月)	札幌・山形・大阪
7月期	7月 16日(土)～7月 18日(月)	名古屋・福岡

夜間スクリーニング

春期	5月 16日(月)～7月 8日(金)	通信教育部 1号館ほか
----	--------------------	-------------

スクリーニング受講手続日程

	受講申込開始日 (ポータルサイト)	* ¹ 併用履修登録 締切日(必着)	履修登録締切日(必着) 併用リポート提出締切日(必着) 受講申込締切日(消印)	受講資格 審査結果 発送予定日	振込用紙 発送予定日	受講辞退手續 締切日(必着)	受講料 納入期限	結果通知 発送予定
東京スクリーニング (5月期) 第1・2期	3/ 3(木)	2/29(月)【前期生】 ----- 3/16(水)【後期生】	3/16(水)	4/11(月)	4/11(月)	4/18(月)	4/25(月)	6月上旬
夜間スクリーニング (春期)	3/31(木)		4/13(水)	4/25(月)	4/25(月)	5/ 2(月)	5/11(水)	8月上旬
東京スクリーニング (6月期)	4/14(木)		4/27(水)	5/18(水)	5/18(水)	5/25(水)	6/ 1(水)	7月中旬
地方スクリーニング (6月期) 【札幌・山形・大阪】	4/14(木)		4/27(水)	5/30(月)	5/30(月)	6/ 6(月)	6/13(月)	7月中旬
東京スクリーニング (7月期)	5/19(木)		6/ 1(水)	6/15(水)	6/15(水)	6/22(水)	6/29(水)	8月中旬
地方スクリーニング (7月期) 【名古屋・福岡】	5/19(木)		6/ 1(水)	6/27(月)	6/27(月)	7/ 4(月)	7/11(月)	8月中旬
注意事項		ポータルサイト【24:00まで】		受講届提出者の のみ送付します	5日経過しても届 かない場合は会計 課までお問い合わせ ください	窓口【事務取扱 時間内必着】 郵送【必着】	銀行窓口にて 【厳守】	ポータルサイト にも掲載します

※1 東京スクリーニング(5月期)第1・2期のみ、併用履修登録締切日が前期生と後期生で異なります。
併用方式での申し込みをしない場合は、3/16(水)までに履修登録を行ってください。

※2 平成28年度新入生は、上記手続日程と異なる場合があります。

はじめに

面接授業（スクーリング）とは、教員による直接の講義・演習・実技を受講することをいいます。その目的は、教材による在宅学修では十分に学修効果を上げることが困難な科目の一面を補い、教育効果を高めることにあります。このような主旨・目的から、スクーリングは卒業のための必修となっています。

本学の通信教育部では、学生に多くの受講機会が得られるよう、多種多様なスクーリングを開講しています。この『手引』は、その実施要領などをとりまとめて掲載しています。

スクーリングの受講を希望する場合には、手続きの前にこの『手引』をよく読み、その指示に従って受講してください。

【所定単位とスクーリングについてお知らせ】

所定単位とは、その科目を修得するために必要な単位数のことです。

スクーリングでは、開講単位数を1単位又は2単位で開講しています。そのため、多くの講座は、所定単位の半分の開講単位数になります。したがって、**スクーリングのみを受講する場合は**、スクーリングで1回受講・合格しても1科目の修得単位としては認められないため、所定単位を充足したことにはならず、成績証明書、教員免許状申請用学力に関する証明書等に記載されません。

大部分の科目において『学修要覧』にある科目的所定単位とスクーリングでの開講単位は異なります。所定単位と各スクーリングでの開講単位を十分確認してください。

【受講の調整について】

スクーリングには、十分な教育効果を得るために適正な受講者数の基準が設定されています。受講申込者数が、適正受講者数でない場合、大学側で受講の調整を行うことがあります。

調整にあたっては、「受講機会の均等」の観点から、各申込者の受講調整履歴、スクーリング受講状況、単位修得状況、在学年数等を総合的に判断し、対象者を確定しますので、あらかじめご了承ください。

なお、講座の適正人数は、おおよそ下表の人数を目安としますが、講座の特性、スクーリングの形態、スクーリング会場の試験時定員数、パソコン台数及び受講学生の履修要件等により、下表によらない場合もあります。

講 座	受講者数の上限	受講者数の下限
外国語科目講座	65名	5名
演 習 講 座	30名	5名
上記以外の講座	100名	10名

〔調整方法等〕

- 希望した講座が受講者数の上限を超えた場合、同時期に開講されている同じ科目的講座に振り分けることがあります。
- 超過人数の状況により新たに講座を増設し、受講者を分割して開講する場合があります。
- 上記①・②の方法で対応できない場合、調整対象者は当該講座の受講ができません。
- 受講申込者数が下限に満たない場合、開講を取りやめることができます。
- 受講許可講座以外の講座の受講は認められません。また、一度決定した受講許可講座の追加・変更はできません。

目 次

I 講座の選定

- | | |
|---------------------------|---|
| 1 受講講座の選定 | 2 |
| 2 「教職に関する科目」における新・旧科目について | 3 |
| 3 「開講講座表」の見方 | 4 |

II 東京スクーリング

- | | |
|--------------------|----|
| 1 開講日程 | 6 |
| 2 実施会場 | 6 |
| 3 「体育実技」について | 6 |
| ◆開講講座表及び講座内容（シラバス） | |
| ・5月期第1期 | 8 |
| ・5月期第2期 | 20 |
| ・6月期 | 36 |
| ・7月期 | 46 |

III 地方スクーリング

- | | |
|-----------------------|----|
| 1 開催地及び開講日程 | 58 |
| 2 実施会場 | 58 |
| ◆開講講座表、会場及び講座内容（シラバス） | |
| ・6月期 札幌 | 59 |
| ・6月期 山形 | 63 |
| ・6月期 大阪 | 64 |
| ・7月期 名古屋 | 68 |
| ・7月期 福岡 | 71 |

IV 夜間スクーリング

- | | |
|--------------------|-----|
| 1 開講日程 | 76 |
| 2 実施会場 | 76 |
| 3 開講講座 | 77 |
| ◆開講講座表及び講座内容（シラバス） | |
| ・月曜日 | 78 |
| ・火曜日 | 84 |
| ・水曜日 | 91 |
| ・木曜日 | 98 |
| ・金曜日 | 105 |

V 講座の申込方法

- | | |
|--------------|-----|
| 1 受講手続の流れ | 114 |
| 2 講座を申し込む | 115 |
| 3 受講講座の変更・追加 | 119 |

VI 申込講座の許可と不許可

- | | |
|---------------------|-----|
| 1 受講許可通知書を確認する | 120 |
| 2 講座振り分け及び受講不許可について | 120 |
| 3 許可講座を辞退する | 121 |

VII 受講料の納入

- | | |
|-------------|-----|
| 1 受講料 | 122 |
| 2 振込用紙発送予定日 | 122 |
| 3 納入期限 | 122 |
| 4 納入方法 | 123 |

VIII 受講準備

- | | |
|---------------------------------|-----|
| 1 使用教材の入手 | 124 |
| 2 「休暇依頼状（勧奨状）」と「出席証明書」の発行 | 126 |
| 3 通学定期券の購入手続 | 126 |
| 4 「学割証」の発行について（長距離区間乗車時の学生割引制度） | 127 |

IX 受講及び試験

- | | |
|---------------|-----|
| 1 講座の受講 | 130 |
| 2 試験の受験 | 130 |
| 3 スクーリング結果の確認 | 131 |

X 受講期間中の学生生活

- | | |
|--------------------|-----|
| 1 受講にあたっての諸注意 | 132 |
| 2 スクーリング期間中の滞在先届 | 133 |
| 3 「千代田区生活環境条例」について | 133 |
| 4 緊急時の避難行動の指針について | 133 |

XI 各種用紙

- | | |
|--------------------|-----|
| 「為替」送付時の注意事項 | 136 |
| <受講届> | |
| 東京スクーリング（5月期）第1・2期 | 137 |
| 東京スクーリング（6月期） | 139 |
| 東京スクーリング（7月期） | 141 |
| 地方スクーリング（6月期） | 143 |
| 地方スクーリング（7月期） | 145 |
| 夜間スクーリング（春期） | 147 |
| <受講申込辞退願> | |
| 東京スクーリング（5月期）第1・2期 | 149 |
| 東京スクーリング（6月期） | 151 |
| 東京スクーリング（7月期） | 153 |
| 地方スクーリング（6月期） | 155 |
| 地方スクーリング（7月期） | 157 |
| 夜間スクーリング（春期） | 159 |
| 教材配本申請書 | 161 |
| 教材購入用紙（丸沼書店用） | 163 |
| 教材購入願（通信教育教材購入用） | 165 |
| 通学定期乗車券発行控 | 167 |
| 学割証交付願 | 169 |
| 滞在先届 | 171 |
| 休暇依頼状（勧奨状）申込書 | 173 |

■ 付録

- | | |
|-------------|-----|
| 1 交通案内・校舎案内 | 175 |
|-------------|-----|

I 講座の選定

1 受講講座の選定

① 受講講座を選ぶ

東京・地方スクーリングともに各期から1講座、夜間スクーリングでは、月曜日から金曜日までの各曜日から1講座（最多5講座）を申込みできます。各自、入学時に配布された『学修要覧』やコース履修者は『コース履修の手引』を参照し、自分が履修しなければならない科目を把握し、学修計画を立てた上で受講申込みをしてください。

② 受講制限について

すべての方がすべての講座を申し込めるのではありません。自分の学年・学科（専攻）、カリキュラム及びその他の理由により申し込むことができない講座があります。以下、それぞれの受講制限を掲載しますので、必ず確認の上、申込みしてください。

(1) 配当学年による受講制限

ア 1学年生

各期の「開講講座表」の「配当学年」欄に「1年」と記載されている講座のみ受講可能です。それ以外の講座は受講できません。

なお、講座によっては特定の学科（専攻）のみ受講を許可する講座があるので、各期の「開講講座表」の「制限・注意」欄で確認してください。

イ 2学年生

各期の「開講講座表」の「配当学年」欄に「1年」又は「2年」と記載されている講座の受講が可能です。それ以外の講座は受講できません。

なお、講座によっては特定の学科（専攻）のみ受講を許可する講座があるので、各期の「開講講座表」の「制限・注意」欄で確認してください。

ウ 3・4学年生

配当学年による受講の制限はありませんが、講座によっては特定の学科（専攻）のみ受講を許可する講座があるので、各期の「開講講座表」の「制限・注意」欄で確認してください。

(2) 科目履修生の受講制限

入学時の「履修申請書」で履修登録した科目に該当する講座のみ受講できます。

なお、科目履修生は「スクーリング併用試験方式」での申込み・受講はできませんので注意してください。

(3) シラバスによる受講制限

シラバスに、過去のスクーリングと積み重ね不可の記載がある場合、受講できません。以下のような講座が該当します。

ア 過去に受講し、合格した科目（充当科目）と同一担当講師の科目（充当科目）で授業内容も同一である講座の受講

次のa～cのすべてに該当する講座は申込みできません。

a 科目名（充当科目名）が同じである（「講座名」ではなく、「科目名（充当科目名）」です）。

b 担当講師が同一である。

c 講義内容が全く同一である。

※ 講義内容を参照し、授業計画等が全く同一の場合は申込みできません。

(4) その他の理由による受講制限

以下のいずれかに該当する場合、その講座は受講できません。

ア 既に所定単位を修得している科目及び単位修得方式が確定している科目を充当科目とする講座の受講

イ 受講の調整による受講制限

一部の講座については、申込希望者が講座の適正人員を超える場合があり、この場合、大学側で受講の調整を行います。

調整により、受講申込講座と異なる講座での受講を許可する場合や、受講不許可となる場合があります。

そのため、必ずポータルサイト上の「スクーリング・メディア授業情報一覧」にて、許可された講座を受講してください（受講許可講座と異なる講座の受講は、認められません）。

※ 受講届提出者は、「受講資格審査結果通知」を確認してください。

2 「教職に関する科目」における新・旧科目について

平成 23 年度に下表の「教職に関する科目」4 科目については、科目名称が変更となり、平成 23 年度 1 学年入学者から学年進行により順次、新科目名での履修となります。

スクーリングの開講にあたっては、同一講座で新・旧両方の科目を充当科目として開講しますので、下表により適用となる充当科目を確認の上、受講申込みをしてください。

旧科目名		新科目名	
T10300	教育の思想	T10200	教育原論
T21400	道徳教育の研究	T21300	道徳教育の理論と方法
T21600	特別活動の研究	T21500	特別活動論
T30700	教育カウンセリング論	T30600	教育相談
旧科目名での履修対象者		新科目名での履修対象者	
右記以外の学生		入学年度	入学形態
		平成 23 年度	1 学年入学生
		平成 24 年度	1 学年入学生 2 学年編入・再入学生 科目履修生
		平成 25 年度	1 学年入学生 2 学年編入・再入学生 3 学年編入・再入学生 科目履修生
		平成 26 年度以降	全入学生

3 「開講講座表」の見方

「開講講座表」の見方

1	講座コード	スクーリング開講講座を識別するために講座ごとに付された固有のコード番号です。 「受講届」の「講座コード」欄（4桁）には、この講座コードを記入してください。	
2	開講講座名	講座の名称です。原則、科目名と同一ですが、「英語」等のように複数開講される講座については、講座名の後ろにアルファベット等の記号を付して各講座を識別します。	
3	担当講師名	当該講座を担当する教員の氏名です。	
4	充当科目（科目コード、科目名）	受講講座の合格により成績評価の対象となる科目コードと科目名です。スクーリングの開講単位は「講座」であり、その「講座」に対してどの「科目（科目コード）」で受講するか（充当させるのか）を申告します。多くの講座の充当科目は1講座につき1科目ですが、「英語」や「演習科目」のように受講者の単位修得状況により充当科目の選択が必要な講座もあるので、充当科目の選定は慎重に行ってください。 「受講届」の「充当科目コード」欄（6桁）には、この科目コードを記入してください。	
5	併用	「スクーリング併用試験方式」による受講の対象講座か否を記載しています。「スクーリング併用試験方式」による受講ができない講座には、「 <u>×印</u> 」が記載されています。	
6	制限・注意	配 当 学 年	ここに記載されている学年に達していない場合は受講できません。 学部・学科（専攻）により受講可能な学年が異なる場合は、「受講条件」欄に記載されています。
		受 講 条 件	その他の受講制限及び諸注意等がある場合に記載されています。
7	オープン受講	オープン受講ができない講座には「 <u>×印</u> 」が記載されています。 記載がない講座はオープン受講申込可です。	

MEMO

II 東京スクーリング

1 開講日程

開講期		日程	授業時間
5月期	第1期	4月 29日(金)	9:30~18:30
		30日(土)	9:00~18:30
	第2期	5月 1日(日)	9:00~16:00 <試験も含む>
		2日(月)	9:30~18:30
		5月 3日(火)	9:00~18:30
		4日(水)	9:00~16:00 <試験も含む>
6月期	6月	4日(土)	13:00~18:30
		5日(日)	9:00~16:30
		11日(土)	13:00~18:30
		12日(日)	9:00~16:00 <試験も含む>
7月期	7月	2日(土)	13:00~18:30
		3日(日)	9:00~16:30
		9日(土)	13:00~18:30
		10日(日)	9:00~16:00 <試験も含む>

- ※ 各期ごとに全日程の出席が必要です。
- ※ 授業時間内に休憩時間を設けます。
- ※ 各期から1講座のみ申込みできます。
- ※ 6月期「体育実技」は授業時間及び実施会場が異なるため、注意してください。

2 実施会場

授業は主として通信教育部校舎及びその周辺の本学校舎で行います。ただし、「体育実技」は文理学部校舎で行います。

名 称	日本大学通信教育部1号館及び本学校舎周辺
所 在 地	通信教育部 東京都千代田区九段南4-8-28
交 通 案 内	市ヶ谷駅から徒歩3分

※ 授業講堂は、ポータルサイトにて事前にお知らせします。

3 「体育実技」について【東京スクーリング（6月期）開講】

「体育実技」は、他の講座と異なり文理学部総合体育館及び百周年記念館で受講します。以下の事項をよく確認してください。

a 開講日程【雨天決行】

日程	授業時間
6月 4日(土)	18:00~21:30
6月 5日(日)	9:00~17:00
6月 11日(土)	18:00~21:30
6月 12日(日)	9:00~17:00

※ 東京スクーリング（6月期）の他講座と授業時間及び会場が異なります。

b 実施会場

日本大学文理学部総合体育館及び百周年記念館（後掲「文理学部案内図」参照）

c 持参物

- 運動のできる服装（トレーニングウェア等）
- 室内用運動靴
- 健康保険証
- 筆記用具
- スクーリングの手引
- 領収書

d 「体育実技」の集合場所・集合時間

日本大学文理学部総合体育館入口

※授業開始の15分前から受付を開始します。

※遅くとも授業開始の5分前には受付を済ませた後、運動のできる服装に着替え、時間厳守で受講会場に集合してください。

※更衣室の使用はできますが、ロッカーの使用及び更衣室に荷物を置いておくことはできませんので、荷物を持って会場に集合してください。

e 受講について

体育実技は卒業必修科目となっていますが、疾病その他身体障害の理由で実技自体の参加が困難であると思われる方は、受講申込前（「受講届」提出前）に教務課に連絡してください（TEL 03-5275-8911）。

f 注意事項

- ジーンズや普段着での受講はできません。
- 更衣室は、文理学部総合体育館にあります。
- 貴重品は、各自で管理してください。
- 5日及び12日の昼食は、周辺に飲食店が少ないため各自が持参することを強く勧めます。

（文理学部案内図）

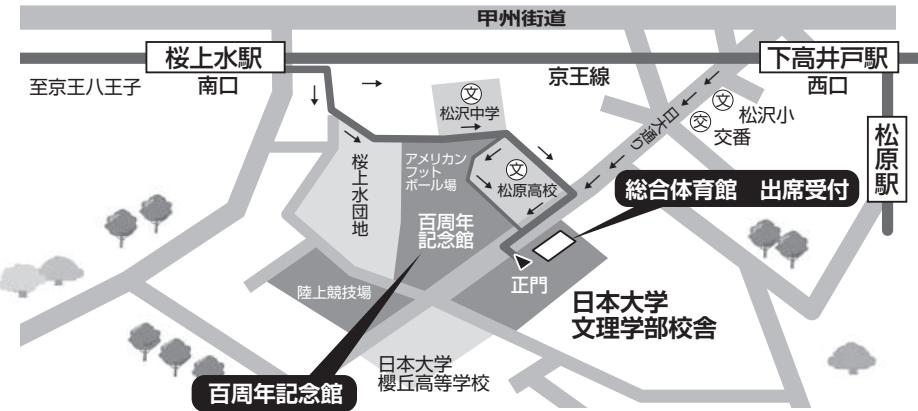
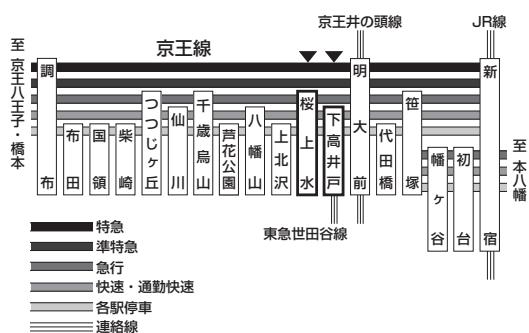
（住所）

東京都世田谷区桜上水3-25-40

（交通案内）

京王線下高井戸駅又は、桜上水駅下車

徒歩約10分



◆ 開講講座表及び講座内容（シラバス）

東京 5月期 第1期

日 程	授 業 時 間	備 考
4月 29日	金 9:30~18:30	※時間内に昼休みを設けます。
4月 30日	土 9:00~18:30	
5月 1日	日 9:00~16:00 <試験も含む>	

※以下の第1期開講の講座から1講座を選択してください。

講 座 コード	開 講 講 座 名	担当講師名	充 当 科 目		併 用	制 限・注 意		受オ ープ 講ン		
			科 目 コ ー ド	科 目 名		配当 学年	受 講 条 件			
D8AA	総 合 科 目	根岸 良征	B101S0	総 合 科 目 I	×	1年	<ul style="list-style-type: none"> I ~ VI のいずれに該当させるのか充當科目コードを必ず記入してください。 スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。 			
			B102S0	総 合 科 目 II						
			B103S0	総 合 科 目 III						
			B104S0	総 合 科 目 IV						
			B105S0	総 合 科 目 V						
			B106S0	総 合 科 目 VI						
D8AB	英 語 A	上島 美佳	C10100	英 語 I	×	1年	<ul style="list-style-type: none"> I ~ IV のいずれに該当させるのか充當科目コードを必ず記入してください。 			
			C10200	英 語 II						
			C10300	英 語 III	×	2年				
			C10400	英 語 IV						
D8AC	民 法 II	山川 一陽	K30100	民 法 II	×	2年				
D8AD	民 事 訴 訟 法	小田 司	K31600	民 事 訴 訟 法	×	2年				
D8AE	法 哲 学	高須 則行	K318S0	法 哲 学	×	2年				
D8AF	国 語 学 講 義	加藤 陽子	M30400	国 語 学 講 義	×	2年		×		
D8AG	ア メ リ カ 文 学 史	鈴木 孝	N30200	ア メ リ カ 文 学 史	×	2年				
D8AH	英 作 文 I	ダレル ハーディ	N30400	英 作 文 I	×	2年	<ul style="list-style-type: none"> スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。 			
D8AJ	英 米 事 情 I	茂木 健幸	N31500	英 米 事 情 I	×	2年	<ul style="list-style-type: none"> 英文学専攻のみ申込可。 スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。 	×		
D8AK	英 語 学 演 習 A	真野 一雄	N401S0	英 語 学 演 習 I	×	3年	<ul style="list-style-type: none"> 英文学専攻のみ申込可。 I ~ III のいずれに該当させるのか充當科目コードを必ず記入してください。 			
			N402S0	英 語 学 演 習 II						
			N403S0	英 語 学 演 習 III						
D8AL	哲 学 概 論	齋藤 隆	P30300	哲 学 概 論	×	2年				

注 意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。

その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講座 コード	開講講座名	担当講師名	充当科目		併用	制限・注意		受才 一 ブ 講シ
			科目 コード	科目名		配当 学年	受講条件	
D8AM	経済政策総論／ 経済政策	周藤 利一	R30700	経済政策総論		2年	・文理・経済・商学部のみ申込可。	
			L31500	経済政策		2年	・法学部のみ申込可。	
D8AN	金融論	谷川 孝美	R31800	金融論		2年	・履修条件あり（シラバス参照）	
D8AP	経営学	金崎 賢希	S20200	経営学	条件 参照	2年	・商学部のみ1学年以上申込可。 ・その他は2学年以上申込可。	
D8AQ	商品学	鄭 舜玉	S30300	商品学				
D8AR	漢字書法	鈴木 晴彦	T22400	漢字書法	×	2年	・国文学専攻のみ申込可。 ・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。	
D8AS	法学通論概論／ 法律通学概論	遠藤 清臣	T22600	法学通論		2年	・哲学専攻・史学専攻のみ申込可。	
			T22700	法律学概論 (国際法を含む)		2年	・経済・商学部のみ申込可。	
D8AT	教育相談／ 教育カウンセリング論	植松 紀子	T30600	教育相談	×	2年	・本誌3ページを参照。 ・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。	×
			T30700	教育カウンセリング論	×	2年	・本誌3ページを参照。 ・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。	
D8AU	博物館教育論	岡部 幹彦	Y20900	博物館教育論	×	2年	・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。	

注意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。

その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講座内容（シラバス）

◆初歩から始めるパソコン～メディア授業を受けるために～ 〔総合科目〕

開講単位：2 単位 担当者：根岸 良征

◆学修到達目標 情報技術や情報セキュリティについて基礎的な知識を習得し、パソコンを有意義かつ安全に利用できるようになることを目標とする。講義を受講後、メディア授業を受講するためにはどのような機器を用意すればよいのかを自分自身で判断したり、インターネットを安全に利用できるようになってほしい。

◆授業方法 授業は適宜映像資料を用いながら、講義中心に行う。また、パソコンを操作してケーススタディも行う。毎回授業中に課題を出題する。教科書は講義で利用するので必ず持参すること。授業は Windows8, Office2013 の環境で実施する。

◆準備学修 日本語入力、マウス操作といった基本的なパソコン操作は少しほどできることを前提に講義を進めるので、不安な学生は事前に練習をしておくこと。自宅のパソコンでインターネットを使えるのかを確認しておくこと。

◆授業計画〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	<ul style="list-style-type: none">・パソコンとはどのような道具なのか～最初のコンピュータから現代のパソコンまで～・データとはなにか、データの種類、情報技術とはなにか・コンピュータハードウェアの種類と役割・基本ソフトウェアと応用ソフトウェアの種類と役割～Windowsが必要な理由～・パソコン基本操作～ファイル管理とバックアップの必要性～
2日目	<ul style="list-style-type: none">・コンピュータネットワークとインターネットのしくみ～インターネットを利用した情報検索～・メディア授業の受講方法・情報セキュリティ基礎知識①「様々な脅威」～ウイルス、ハッキング、サイバー攻撃～・情報セキュリティ基礎知識②「セキュリティ対策」～ウイルス対策、ファイアウォール～
3日目	<ul style="list-style-type: none">・情報セキュリティ基礎知識③「スマートホンのセキュリティ」・スクーリング最終課題演習、課題提出

◆教科書 [当日資料配布] 必要に応じて資料を配付する。

丸沼『情報セキュリティ読本「IT時代の危機管理入門」』四訂版 実教出版 情報処理推進機構（IPA）著
(ISBN978-4-407-33076-2) 540円（税込）（送料215円）

◆参考書 なし。

◆成績評価基準 授業への参加度（学習意欲、毎回の課題の評価）による評価が50%、最終課題の内容による評価が50%。なお、最終課題を提出しない場合には評価をつけないので注意すること。

◆授業相談（連絡先）：

◆ Sherlock Holmes (短編) を読むⅡ 〔英語 A〕

開講単位：1 単位 担当者：上島 美佳

◆学修到達目標 19世紀イギリスの小説家 Arthur Conan Doyle の代表的作品, *Sherlock Holmes* の短編を読みます。長文に慣れること、英語を正確に読めることを目標とします。

◆授業方法

- ・演習形式で行います。該当箇所を音読し、和訳してもらいます。必要事項は逐次説明を加えていきます。
- ・またDVDを鑑賞することによって、当時のイギリス社会及び文化を認識し、作品の理解を深めます。
- ・受講者の様子を見ながら進行します。辞書は必ず持参してください。

◆準備学修 事前に郵送されたプリントについては、訳しておいてください。（1日目に使いますので、持参してください。）テキストはこちらで当日配布いたします。

◆授業計画〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	<ul style="list-style-type: none">・ガイダンス・テキスト講読・発表・(進行状況により・DVD鑑賞)
2日目	<ul style="list-style-type: none">・テキスト講読・発表・DVD鑑賞
3日目	<ul style="list-style-type: none">・テキスト講読・発表・試験

◆教科書 [事前資料送付] 事前プリント有り。[当日資料配布] テキスト配布。

◆参考書 なし。

◆成績評価基準 出席・発表・試験により、総合的に評価します。

◆授業相談（連絡先）：

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆現代資本主義の枠組みを構成する法

〔民法Ⅱ〕

開講単位：2単位 担当者：山川 一陽

◆学修到達目標 物権法はいわば資本主義社会の法的枠組みとなる法である。いわゆる物権法定主義という基本原則の下に限られた種類の物権について共通する議論である物権総論を学び、さらに典型的な占有権、所有権等の物権各論に規定される類型の物権についての着実な理解ができる。

◆授業方法 もっぱら指定教科書に基づく講義方式による。

◆準備学修 少なくとも一通り教科書を読んでおくこと。授業時にあたっては六法を持参すること。

◆授業計画〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	1 物権とは何かを明らかにする 2 物権法定主義と物権の特色 3 物権変動とその基本的な構造 4 物権的請求権
2日目	1 不動産の物権変動 2 不動産物権変動と登記 3 対抗要件としての登記 4 登記制度概論
3日目	1 動産取引と占有 2 即時取得とその要件・効果など 3 占有権概論 4 所有権概論

◆教科書 丸沼『物権法講義』山川一陽著 日本評論社 3,132円（税込）（送料350円）

◆参考書 特になし。

◆成績評価基準 出席と論文試験の結果による

◆授業相談（連絡先）：

◆民事裁判はどのように行われるのか

〔民事訴訟法〕

開講単位：2単位 担当者：小田 司

◆学修到達目標 民事訴訟の基礎を学ぶための講義です。まず、民事訴訟の全体像について把握した上で、民事訴訟の基本構造と基本理論について理解し、訴えの提起から口頭弁論を経て終局判決に至るまでの過程、勝訴した際の権利実現の方法（強制執行）などについて、基礎的知識を習得することを目標とします。

◆授業方法 講義形式で行います。講義においては、民事訴訟について具体的なイメージが描けるように、貸金返還請求訴訟、売買代金返還請求訴訟、交通事故による損害賠償請求訴訟、土地・建物明渡請求訴訟など、日常生活と関係する紛争事例を用いて進めることにします。

◆準備学修 講義の最後に次回に取り上げる内容を予告しますので、教科書の該当箇所を事前に読み、各自予習して講義に出席してください。また、次回の講義は、前回までの内容を理解していることを前提としますので、講義で取り上げた項目については、学習内容を振り返り、各自で内容について整理しておかなければなりません。

◆授業計画〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	1日目は、民事紛争の解決方法、民事訴訟の流れと基本構造（貸金返還請求訴訟、交通事故による損害賠償請求訴訟などを例に）、裁判所（裁判所の構成、裁判管轄）、当事者（当事者能力、訴訟能力、当事者適格）、訴訟の開始（訴え、訴え提起の効果、訴えの適法性、訴えの利益など）について学びます。
2日目	2日目は、訴訟の審理（審理の進行、裁判資料の収集、口頭弁論、当事者の訴訟行為、当事者の欠席、証拠調べと事実認定）、当事者の行為による訴訟終了（訴えの取下げ、訴訟上の和解、請求の放棄・認諾）、終局判決による訴訟終了（裁判と判決の種類、判決の成立と確定）、確定判決の効力（既判力の時的限界、既判力の客観的範囲及び主觀的範囲など）について学びます。
3日目	3日目は、多数当事者訴訟（共同訴訟、訴訟参加、訴訟承継など）、不服申立手続（控訴、上告、抗告、再審）、略式訴訟手続（少額訴訟手続、督促手続）、権利実現の方法（金銭執行、非金銭執行）について学びます。

◆教科書 丸沼『民事訴訟法〔第2版〕』小田司編 弘文堂 2,376円（税込）（送料300円）
六法（出版社は問いません）

◆参考書 なし。

◆成績評価基準 筆記試験（80%）、平常点（20%）。講義に毎回出席することを前提として評価します。

◆授業相談（連絡先）：

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆法は道徳を守るべきなのか？

〔法哲学〕

開講単位：2単位 担当者：高須 則行

- ◆学修到達目標 1. 様々な社会規範を理解し、説明することができる。
2. 法の存在形式（法源）を理解し、説明することができる。
3. 法の社会的機能を理解し、説明することができる。
4. 法と道徳の関係を理解し、説明することができる。

◆授業方法 講義形式で行いますが、その都度、受講生の皆さんに質問し、自らの考えを述べてもらいたいと思っています。そのような双方向の授業を心掛けたいと思います。
受講者の人数にもよりますが、ゼミ形式で授業を進めることも考えています。

◆準備学修 新聞等で社会的な問題を意識しておいてください。

◆授業計画〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	1. 社会規範の種類（法・道徳・慣習・マナー・戒律） 2. 自然法と実定法 成文法と不文法、公法と私法 3. 近代法と現代法 4. 社会統制機能・活動促進機能・紛争解決機能・資源配分機能
2日目	1. 法と道徳の関係（1）：法の外面性と道徳の内面性 2. 法と道徳の関係（2）：J.S.ミルの他者危害原理 3. 法と道徳の関係（3）：法的モラリズム 4. 法と道徳の関係（4）：法的バターナリズム
3日目	法と道徳の関係——尊属殺判決を素材に—— 1. 地裁判決を読む。 2. 高裁判決を読む。 3. 最高裁判決を読む。

◆教科書 なし。レジュメを配布する。

◆参考書 〔丸沼〕『法哲学』亀本洋他著 有斐閣アルマ 2,376円（税込）（送料300円）
〔丸沼〕『現代法哲学講義』井上達夫編 信山社 3,456円（税込）（送料350円）

◆成績評価基準 試験結果（80%） 授業参加度（20%）

◆授業相談（連絡先）：

◆多様な日本語の姿：観察と分析

〔国語学講義〕

オープン受講：不可 開講単位：2単位 担当者：加藤 陽子

◆学修到達目標 主に現代日本語を対象に、私たちが理解し使用している多様な日本語を観察します。取り上げる日本語の範囲は、限られた一部の年代や集団や地域などで使用されているものも含みます。また、それらをどのように使用しているかを内省、分析します。そうした観察や分析を経て、各自が興味を抱いたテーマについて発表し、新しい知識や知見を受講者同士で共有します。

◆授業方法 講義の内容に基づく小発表や小グループによる討論なども取り入れ、双方向のやりとりを重視します（ただし、受講生の人数により、講義と、討論や発表などの演習的要素との割合を適宜変更します）。授業では積極的に話すことが求められます。例えば、教師の発問に対し自発的に回答や発言をすること、また、受講者同士が自らの言語感覚・意識に基づいて意見を述べ、討論によりそれを一般化、深化していくことが求められます。

◆準備学修 下記の「参考書」欄に記載されている本を入手し、一読しておくことをすすめます。また、読んで得た知識や気づきに基づき、自らの言語使用や日々触れている様々な種類の日本語を意識的に観察してみてください。

◆授業計画〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	1. 位相による多様な日本語の姿 (1) 性別 (2) 世代 (3) 階層 (4) 社会集団 (5) 専門 (6) 方言 (7) 敬語（待遇表現）
2日目	1. 文章・談話のジャンルと表現の堅さ 2. 歴史的な変化と日本語の姿 3. 揺れている言葉・表現
3日目	1. 非母語話者の日本語 2. 役割語 3. 受講者の小発表 4. 講義のまとめ

◆教科書 〔当日資料配布〕指定しません。授業用プリントを当日配付します。

◆参考書 〔丸沼〕『ケーススタディ 日本語のバラエティ』 上野智子他、編 おうふう 1,944円（税込）（送料300円）

◆成績評価基準 発表等を含む授業への積極的参加（35%）、スクーリング後提出のレポート（65%）
毎回出席すること、遅刻や早退をしないことを前提として評価します。

◆授業相談（連絡先）：

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆アメリカ文学をより楽しむための基礎知識 [アメリカ文学史]

開講単位：2 単位 担当者：鈴木 孝

◆学修到達目標 16世紀後半から20世紀初頭までのアメリカ文学の歴史を、アンソロジー形式でまとめられたテキストを利用しながら概観し、その流れを的確に把握していくこと、さらに、アメリカ文学の様々な作品を読む際に、ただ内容を楽しむだけでなく、歴史的な視点から解釈したり、批判的に読解できる力を養っていくことを目標とします。

◆授業方法 テキストで扱われているそれぞれの作家について、授業時に配付する資料も利用しながら、その生い立ちや作品の特徴、文学史的位置・意味などに関する講義を行います。その後、その理解度を確かめる小テストを随時行います。テキストのしっかりした予習だけでなく、その読解から生まれる旺盛な好奇心を期待します。

◆準備学修 講義中心の授業となりますので、事前に配付される資料、ならびにテキストに記載されている引用文については、必ず前もって目を通しておき、どのような不明点があるのかを明らかにしておいてください。可能であれば、テキスト巻末にある「例文の翻訳書」の中で入手しやすいものについては、それらを通読しておいて下さい。

◆授業計画 [1日目：480分, 2日目：510分, 3日目：360分]

1日目	*植民地時代から Nationalism へ 2. [Captain] John Smith 3. W.Bradford 4. A.Bradstreet 5. J.Edwards 6. B.Franklin 7. C.B.Brown 8. W.Irving 9. J.F.Cooper 10. W.C.Bryant 11. E.A.Poe 12. R.W.Emerson 13. H.D.Thoreau
2日目	* Romanticism (American Renaissance) から Realism, Naturalism へ 13. H.D.Thoreau 14. N.Hawthorne 15. H.Melville 16. W.Whitman 17. E.Dickinson 18. M.Twain 19. H.James 20. S.Crane 21. T.Dreiser 23. S.Anderson
3日目	* Chicago Renaissance, Modernism, Lost Generation 他 23. S.Anderson 22. C.Sandburg 24. R.Frost 25. L.Hughes 26. W.C.Williams 27. F.S.Fitzgerald 28. E.Hemingway *試験

◆教科書 丸沼『An Outline of American Literature (アメリカ文学概観)』井上謙治編著 南雲堂 1,296円(税込)
(送料215円)

*『アメリカ文学史 N30200』通信教育教材とは別の教科書ですのでご注意下さい。

◆参考書 教科書47ページ参照。その他授業中に紹介します。

◆成績評価基準 平常点(50%)、試験(50%)の総合評価。但し欠席、遅刻のない学生のみを対象とします。

◆授業相談(連絡先) :

◆ English Composition 1

[英作文 I]

開講単位：2 単位 担当者：ダレル ハーディ

◆学修到達目標 The course objectives are as follows:

1. To define academic writing and become familiar with pre-writing activities.
2. To review and practice writing effective topic, supporting, and concluding sentences.
3. To learn important language factors to make paragraphs more coherent and cohesive.
4. To practice and improve editing and revision skills.

◆授業方法 In this course we will emphasize academic writing skills and focus on how to write an "academic" paragraph. We will begin with practicing pre-writing activities to generate ideas for writing. Next, we will look at the components of a paragraph, topic sentence, supporting sentences, and concluding sentence, in detail. Once we have covered the main components, we will study language factors which are important for paragraph coherence and cohesion. Finally, we will discuss what to look for when editing. Students are required to attend all three days, submit an "academic" paragraph, and write a final test.

◆準備学修 No preparation or prerequisites are required. However, students should have a good understanding of basic sentence structure.

◆授業計画 [1日目：480分, 2日目：510分, 3日目：360分]

1日目	Orientation: Introduction to academic writing; Part 1 - Getting ready to write: what is a paragraph? The structure of a paragraph, generating ideas for writing - brainstorming, writing a topic sentence, choosing supporting points, and making an outline. Part 2 - Writing a paragraph: supporting ideas with details, organizing supporting sentences, writing a concluding sentence, and choosing a title.
2日目	Part 3 - Writing a coherent paragraph: coherence, using conjunctions, using transitional expressions, avoiding run-on sentences and sentence fragments. Complete first draft of paragraph.
3日目	Part 4 - Editing a paragraph: academic writing style, edition a paragraph, and peer editing of paragraph. Submit final draft of paragraph and final examination.

◆教科書 Handouts will be provided.

◆参考書 A good dictionary may be helpful.

◆成績評価基準 "Academic paragraph = 40% ; Final test = 40% ; Participation = 20%

◆授業相談(連絡先) :

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
※授業相談(連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆読んで体験するアメリカ多文化主義

〔英米事情 I 〕

オープン受講：不可 開講単位：2 単位 担当者：茂木 健幸

◆学修到達目標 現代アメリカ文化の特徴の一つに、多文化・多民族主義があります。本授業では、様々な背景を持つ作家の書いた短編小説を読むことにより、アメリカの多文化・多民族主義の一端を体験することを目標としています。アフリカ系アメリカ人である Langston Hughes, 中国系アメリカ人である Amy Tan, ネイティブアメリカンである Leslie Marmon Silko という民族的に様々な出自を持つ3人の作家の書いた短編小説を読みます。

◆授業方法 教科書中の3つの作品 (Red-Headed Baby, Two Kinds, Yellow Woman) を読むことが授業の中心となります。一文一文の意味は確認せず、大まかに内容を捉えて、確認します。その際、分かりにくい箇所や特徴的な箇所などについての説明を加えます。また、内容についてのディスカッションなどを行い、自分の意見をレポートとして提出してもらいます。

◆準備学修 授業で扱う3つの章を必ず読んでくること。短期間の授業ですので、期間中に準備の時間を取ることが難しいと思われます。分からぬ部分があってもよいので、必ず一読してください。

◆授業計画 (1日目：480分, 2日目：510分, 3日目：360分)

1日目	ガイダンス Red-Headed Baby (内容確認、ディスカッション、レポート作成など) Two Kinds (内容確認、ディスカッション、レポート作成など)
2日目	Two Kinds (内容確認、ディスカッション、レポート作成など) Yellow Woman (内容確認、ディスカッション、レポート作成など)
3日目	Yellow Woman (内容確認、ディスカッション、レポート作成など) 試験

◆教科書 丸沼『アメリカ多文化主義社会短編集—四つのエスニックな体験—』英宝社 1,620円(税込)(送料215円)

◆参考書 なし。

◆成績評価基準 試験 60%, 平常評価 (レポート, 出席など) 40%

◆授業相談 (連絡先) :

◆英語学を基礎から学びましょう

〔英語学演習 A〕

開講単位：1 単位 担当者：真野 一雄

◆学修到達目標 英語という言語がどういう仕組みになっているのか、音、語、文それぞれのレベルで、英文学専攻の学生として必要な知識を修得し、説明できるようになることを目的とします。

◆授業方法 テキストの解説、補足説明を行い、用例を正しく認識し、理解を深めていきます。

◆準備学修 重要語、用例については特に注意して、テキストを読み、理解できるところ、できないところを自覚しておいてください。

◆授業計画 (1日目：480分, 2日目：510分, 3日目：360分)

1日目	第1章 音韻論 1. 母音と母音体系 2. 子音と子音体系 3. 形態音素交替 4. 音節とモーラ 5. アクセント 6. 文アクセントとイントネーション 7. リズム
2日目	第2章 形態論 1. 形態論とは 2. 派生形態論の主な仕組み 3. 派生形態論のその他の仕組み 4. 派生と複合に課される一般的な条件 5. 複合名詞の意味について
3日目	第3章 統語論 生成文法 1. 句構造 2. 名詞句 3. 移動 4. 生成文法の企て 試験+質疑応答

◆教科書 丸沼『日英対照 英語学の基礎』 くろしお出版 1,944円(税込)(送料300円)

◆参考書 通材『英語学概説 N30700』 通信教育教材 (教材コード 000400) 3,050円(税込)

〈この教材は市販の『英語学入門』安藤貞雄・澤田治美著(開拓社)と同一です〉

その他の英語学入門書、概説書など。

※上記は平成27年度の価格です。平成28年度は価格改定が予定されています。平成28年4月1日以降に教材を購入する場合は、『部報』4月号にて改訂価格を確認の上、購入下さい。

◆成績評価基準 試験(100%)で評価します。(試験は途中退出なしです)毎回出席することを前提として評価します。

◆授業相談 (連絡先) :

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
※授業相談(連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆ミュートスから哲学の世界へ

〔哲学概論〕

開講単位：2 単位 担当者：齋藤 隆

◆学修到達目標 ミュートスからロゴスへの移行を理解し、ロゴス的思考の二つの在り方、科学と哲学の始まり、その古代的展開と中世的展開を理解する。ギリシア思想とキリスト教とが果たした役割を把握する。

◆授業方法 テキストと印刷物を用いて、講義を中心に授業を進める。質問は隨時受け付けるので遠慮なく発言してもらいたい。

◆準備学修 テキストの古代・中世哲学の箇所を前もって読んでおくこと、分っても分らなくてもいいからとにかく2・3回目を通すこと。印刷物を事前配布するのでそれにも目を通すこと。

◆授業計画〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	人類の歴史、革命史観、ミュートスからロゴスへの移行、日本神話、神話の三機能体系、哲学以前、前期自然哲学、エレア学派
2日目	後期自然哲学、ソフィストとソクラテス、プラトン、アリストテレス
3日目	ヘレニズム期の哲学、新プラトン主義、アウグスティヌスと教父哲学、トマス・アクィナスとスコラ哲学、近世思想へ

◆教科書 **事前資料送付** 印刷物を事前に配布する。

通常『哲学 B10700』 通信教育教材 (教材コード 000404) 3,350円 (送料込)

〈この教材は市販の『西洋思想の要諦周覧』嘉吉純夫・齋藤隆著 (北樹出版) と同一です〉

※上記は平成27年度の価格です。平成28年度は価格改定が予定されています。平成28年4月1日以降に教材を購入する場合は、『部報』4月号にて改訂価格を確認の上、購入下さい。

◆参考書 授業時に紹介する。

◆成績評価基準 最終日に行う筆記試験の成績を中心に評価する。

◆授業相談（連絡先）：

◆日本経済の課題を理解する

〔経済政策総論／経済政策〕

開講単位：2 単位 担当者：周藤 利一

◆学修到達目標 現在の日本における公共経済政策の重要な課題に対して、どのような政策認識がなされ、政策の立案、形成、決定過程を経て、どのように実施され、その効果はどのようなものであったかを実証的に分析し、評価することにより、日本の経済政策の現状と課題、今後のあるべき方向を理解することを目標とします。

◆授業方法 講義形式で行います。経済政策の意義、経済体制の選択、経済の成長と安定、国際収支と対外関係等の基礎的理論を理解するとともに、金融政策、財政政策、租税政策、産業政策、貿易政策、企業政策、雇用・労働政策、社会保障政策等の主要な経済政策の内容を学びます。

◆準備学修 本講義は、初級～中級の理論レベルの内容を取り上げます。そのため、理論的知識に不安のある学生は、事前に、マクロ経済理論、ミクロ経済理論の入門レベルの書籍を読むことを推奨します。

◆授業計画〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	1 経済政策序論：経済政策の意義、財の性質、経済主体、資源の配分と所得の分配など 2 国民経済論・経済成長論：国民経済の意義と原理、生産・支出・所得の計測方法など 3 国際収支と对外関係：国際収支の構造、外国為替市場と為替レートなど 4 金融政策論：管理通貨制度、金融システムの意義、マネーサプライなど
2日目	5 財政政策論：財政制度の意義、財政投融資、裁量的財政政策、財政再建など 6 租税政策論：租税の機能と効果、租税の基本原則、租税の分類、税制の課題など 7 貿易政策論：比較生産費モデル、垂直分業と水平分業、WTOルール、EPA、TPP等
3日目	8 雇用政策論・労働政策論：労働力及び労働の需要と供給の構造、労働条件の改善など 9 社会保障政策論：私的保障と公的保障、財源の調達、社会保険と公的扶助など 10 社会福祉政策論：社会福祉の供給体制、政府の役割、経済政策と社会政策の関係 11 資源・エネルギー政策論：世界のエネルギー事情、省エネ対策、福島原発事故以後のエネルギー政策

◆教科書 **当日資料配布** 教科書の指定はありません。当日、資料を配布します。

◆参考書 講義で紹介します。

◆成績評価基準 試験 70%，平常点 30%

◆授業相談（連絡先）：

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆金融の基礎を学ぶ

〔金融論〕

開講単位：2単位 担当者：谷川 孝美

◆学修到達目標 この講義では、日々利用している貨幣とは何か、また金利とは何かなど、金融に関する基本的な事柄や、銀行などの金融機関を含めた日本の金融システムについて、その歴史や基礎理論を理解し、説明できるようになること、さらに、それらの理解を通じて、現在の経済問題を考える基礎を養うことを目的とします。

◆授業方法 授業計画にしたがって、パワーポイントを利用した講義形式で行います。講義では、基本的な事柄を中心に、全体的かつ平易な解説をする予定です。講義の進行状況によっては授業計画が前後することもあります。また、経済学概論を履修しておくことがのぞましいでしょう。なお、この講義では中央銀行、金融政策の詳細は取り扱いません。また、昼間スクーリング（前期）受講者は同一内容となるので受講不可とします。

◆準備学修 金融理論を理解するためには、経済学の基礎が重要になります。受講前準備として、マクロ経済学、ミクロ経済学の基本的な事柄を確認しておきましょう。また、理解を深めるためにも、授業計画にあるトピックスなどを参考書等で事前に調べることも大切です。

◆履修条件 平成28年度昼間・土曜スクーリング（前期）「金融論」との積み重ね不可

◆授業計画〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	①ガイダンス、②貨幣とは何か、③金利の種類、④債券価格と金利の関係 ※金融論の基本的な事柄として、貨幣の定義や金利の種類、また、金利がどのように決まっているのかなどを学びます。
2日目	①現在割引価値、②情報の非対称性問題、③金融機関の役割、④資金循環 情報の非対称性問題など金融理論を考える上で基礎と、我が国の金融制度の特徴を学びます。
3日目	①日本の金融システムの歴史（金融の自由化、日本版ビッグバン）、②講義のまとめ。 ※わが国の金融システムの歴史的変遷などを学びます。

◆教科書 **〔当日資料配布〕**教科書は使用しない。当日プリント配布

◆参考書 **〔丸沼〕『はじめて学ぶ金融のしくみ』**家森信善 中央経済社 2,592円（税込）（送料350円）

〔丸沼〕『日本の金融制度 第3版』鹿野嘉昭 東洋経済新報社 4,536円（税込）（送料350円）

〔丸沼〕『現代の金融入門【新版】』池尾和人 筑摩書房 928円（税込）（送料215円）

◆成績評価基準 毎回出席することを前提として、最終試験を中心に、小テストや平常点などにより総合的に評価します。

◆授業相談（連絡先）：

◆戦略的経営を学ぶ

〔経営学〕

開講単位：2単位 担当者：金崎 賢希

◆学修到達目標 船の航海に例えるなら、戦略とは目的に向かって航海を進めていくための羅針盤のようなものです。船（組織）を目的地（成功）に導くために欠かせないものです。講義では、とくに戦略に影響を与える2つの要因、策定すべき2つの戦略について学びます。すなわち、組織の外部環境および内部環境、事業戦略および企業戦略です。組織の内外環境を理解し、そしてそれを踏まえて企業の事業戦略と企業戦略を理解することを目標とします。

◆授業方法 講義中は、簡単なレジュメを配りますので、講義の内容や自分の疑問・意見などを書き込んでください。新聞雑誌記事、DVDなども使用して講義をします。また、ケース・メソッド（実際の企業の事例を用いたディスカッション）を行いたいと思います。なお、事例として取り上げる産業企業を変更したり、トピックの順番が前後したりする場合もあります。昨年と一昨年の同一講師による講義内容と重複する部分がかなりあります。その点留意してください。

◆準備学修 社会人の方は、自分が勤務している（あるいは経営している）組織に関して、現在どのような問題を抱えているか、どのように売上げ・利益を出そうとしているかをまとめておくとよいでしょう。まだ働いた経験のない学生の方は、関心のある企業について、雑誌・新聞記事を通して同様のことを事前に調べておくとよいでしょう。

◆授業計画〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	①戦略とは（星野リゾート）、②様々な組織、様々な人たちが用いる戦略（旭山動物園）、③戦略の要件（ジャバネットたかた）、④ミッションとビジョン、業績指標と測定、理論的枠組み、事業戦略と企業戦略、⑤一般環境の分析（ワタベウェディング）
2日目	⑥産業環境の分析（資生堂）、⑦顧客の分析（アスクル、ニッセン・スマイルランド）、⑧競合企業の分析（いなげや）、⑨事業戦略の考え方、価値の創造について（ネスレ日本）、⑩基本戦略、差別化とコスト・リーダーシップ（サウスウェスト航空等）、⑪バリューチェーン（しまむら）、⑫組織能力、コア・コンピタンス（ウォルマート）
3日目	⑬産業発展と戦略変化、産業のライフサイクル（光学式カメラなど）、⑭企業戦略の考え方、多角化の誘因・タイプ・経営成果（カゴメなど）、⑮事業の再構築と組織の変革（コマツ）、⑯レポート作成

◆教科書 **〔当日資料配布〕**教科書は指定しません。当日にパワーポイント資料などを配布します。

◆参考書 **〔当日資料配布〕**講義当日に復習用参考書リストを配布します。

◆成績評価基準 ①授業内に作成するレポート、②授業に対する貢献度（受講態度、質問、ディスカッション）をもとに評価します。①を70%、②を30%とします。

◆授業相談（連絡先）：

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆商品の基本概念を学ぶ

〔商品学〕

開講単位：2 単位 担当者：鄭 舜玉

◆**学修到達目標** 「商品の洪水」の現代において、我々は毎日数多くの商品を選択し使用している。今日の商品は従来のように物理的特性を提供するだけではなく、イメージや感動も提供するようになっている。本講義では、このように我々の生活に密着している商品について、基礎概念やその役割を学び生産、流通、消費の段階にわたる商品の意義を知ることができる。

◆**授業方法** パワーポイントを用いた講義形式で、毎回スライド内容をプリントで配布する。プリントは重要箇所がブランクになっており、講義を聴きながら講義内容のメモとブランクを埋める形式をとる。授業開始時の復習・授業中の質疑への積極的な発言は成績として反映される。

◆**準備学修** 指定参考書を授業計画に沿って事前に読んでおくことと、学習した講義内容は配布されたプリントをベースに必ず復習しておく。

◆**授業計画** [1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分]

1日目	ガイダンス、商品学の領域、商品学の誕生、商品の概念、製品・商品の違い、商品の適性、製品および商品の構成要素、製品および商品の分類、商品分類の必要性および基準 ※商品学はどのようにして誕生したのか、製品と商品の違いは何かを確認し、商品の概念を明らかにすると共に、その構成要素および分類など商品の最も基礎的な知識を学ぶ。
2日目	商品の品質、商品の表示、商品の検査、商品の評価、商品の標準化、ネットワーク外部性、商品の安全性、トレーサビリティ、PL法、総括 ※商品を評価する際の品質や評価基準、また商品供給の効率化を実現した商品の標準化により商品の価値がどのように変化するのかを学ぶ。さらに商品の安全性についてその関連知識を学ぶ。そして、1、2回目の講義全体を復習する。
3日目	商品のパッケージ、消費者の権利・責任、クリーニング・オフ、筆記試験 ※商品パッケージの機能を確認した上で、授業全体の内容と結びつけながら我々消費者の権利および責任、クリーニング・オフ制度について学ぶ。そして、講義全体の補足説明を行う。

◆**教科書** **当日資料配布** 当日プリント配布。

◆**参考書** **通材**『商品学 S30300』通信教育教材（教材コード 000401）2,550円（送料込）

〈この教材は市販の『現代商品論（第2版）』見目洋子他著（白桃書房）と同一です〉

※上記は平成27年度の価格です。平成28年度は価格改定が予定されています。平成28年4月1日以降に教材を購入する場合は、『部報』4月号にて改訂価格を確認の上、購入下さい。

丸沼『商品学と商品戦略』KGU叢書 石持悦史著 白桃書房 3,672円（税込）（送料350円）

◆**成績評価基準** 平常点（15%）、発表（15%）、筆記試験（70%）毎回出席することを前提として評価する。

◆**授業相談（連絡先）：**

◆漢字の造形美と筆づかいを学ぶ

〔漢字書法〕

開講単位：2 単位 担当者：鈴木 晴彦

◆**学修到達目標** 中国各時代における漢字の造形美（書体）に注目した上で、実技をとおしてその造形美（書体）を構築している法則や筆遣い（筆法）を学びとります。あわせて教科書と当日配布のプリントによって、その造形美（書体）の変遷と歴史的な意義を理解していきます。

◆**授業方法** まず、漢字の造形美（書体）とその歴史的な背景について、下記の教科書や当日配付のプリントなどをとおして、理解を深めます。その上で、著名な古典書跡を丹念に臨書し、実技の向上を目指します。

◆**準備学修** 受講する際には、各自で「半紙」「中筆（4号筆程度）」「小筆」「墨（墨液で可）」「毛氈（書道用下敷）」「文鎮」などの書道用文房具を各自が持参しなければなりません。また、反故となった半紙のために「古新聞」も持参するとよいでしょう。

◆**授業計画** [1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分]

1日目	●書道文房具の取り扱いとその知識 ●楷書の実技練習とその歴史な概説 ●臨書古典…九成宮醴泉銘
2日目	●行書・草書の実技練習とその歴史な概説 ●臨書古典…蘭亭叙・書譜など
3日目	●隸書・篆書・金文・甲骨文の実技練習とその歴史な概説 ●臨書古典…曹全碑・石鼓文・金文・甲骨文字など

◆**教科書** **通材**『漢字書法手本 T22400』通信教育教材（教材コード 000237）700円（送料込）

◆**参考書** **通材**『漢字書法教本（学習指導書） T22400』通信教育教材（教材コード 000238）850円（送料込）

※上記は平成27年度の価格です。平成28年度は価格改定が予定されています。平成28年4月1日以降に教材を購入する場合は、『部報』4月号にて改訂価格を確認の上、購入下さい。

◆**参考書** 参考書の指定は、とくにありません。

◆**成績評価基準** 作品点（80%）と平常点（20%）によって評価します。

◆**授業相談（連絡先）：**

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆国際社会のなかの日本国憲法

〔法学通論／法律学概論〕

開講単位：2単位 担当者：遠藤 清臣

◆学修到達目標 国際的に社会の価値観が激変するなか、少子高齢化の日本も他国の価値観との共存を迫られている。国内では憲法の解釈や改正の議論も盛んである。本講座は、社会の価値観と法との関係、法の理想と現実、法の解釈など、法に関する基礎知識を学んだうえで、各受講者に、日本国憲法のあり方についての考え方を再構築してもらうことを目標としている。

◆授業方法 科目の性質上、講師が一方的に講義する、いわゆる講義形式を採らざるを得ない。受講者の人数や、講義の進捗状況をみながら、可能な限り受講者を交えた意見交換や討論を行うつもりである。

◆準備学修 受講前の事前学習は特に必要としない。それよりも、授業当日の講義に集中し、その日のうちに復習して、常に講義内容に対する、自分なりの考え方や批判を構築していくことが重要である。

◆授業計画〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	①法の本質と性格 ③日本の法の沿革 ⑤社会構造、社会意識の変化と法の変遷	②法の下の平等（平均的平等と配分的平等） ④日本国における近代憲法の成立
2日目	①成文法と不文法 ③国際法と国際私法 ⑤基本的人権の体系 ⑦社会権（特に教育基本権）	②日本の成文法と不文法の種類 ④権利の意義と制約 ⑥日本国民の意義と外国人の人権
3日目	①法の制定（立法と民主主義） ③事実の認定と法の解釈 ⑤試験	②法の実現（議院内閣制） ④裁判制度とその問題点

◆教科書 **当日資料配布** 教科書は特に指定しない。講義当日プリントを配布する。

◆参考書 **通材**『法学 B11500』 通信教育教材（教材コード 000515） 価格は『部報』4月号掲載
※平成28年度新教材

丸沼『現代法学入門』 三浦隆 石川信編著 北樹出版 3,132円（税込）（送料350円）

丸沼『ポケット六法』又は、その他の簡易な六法

（上記の各参考書は、いずれも学習の過程で必要に応じて参考すればよく、事前に準備、持参する必要はない。）

◆成績評価基準 筆記試験の成績による。講義中の課題、応答内容を加えて総合的に評価する。

◆授業相談（連絡先）：

◆カウンセリング・教育相談・学校教育相談 〔教育相談／教育カウンセリング論〕

オープン受講：不可 開講単位：2単位 担当者：植松 紀子

◆学修到達目標 カウンセリングの歴史、定義、理論を土台にして教育相談が作られ、その方法を用いて学校教育相談が学校現場で使用されるようになった。いじめや不登校など不適応問題（行動）が生じている児童生徒への相談を行っていくために必要な知識を獲得することが目的である。

◆授業方法 『教育カウンセリング論／教育相談』のテキスト・配布資料を中心に授業を行い、学生への質疑応答や心理テストを行う。

◆準備学修 指定した『教育カウンセリング論／教育相談』を事前に熟読しておくこと。

◆授業計画〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	ガイドス 『教育カウンセリング論／教育相談』の第1章：カウンセリングとは何か 第2章：カウンセリングの理論と方法 第3章：教育相談とは何か、について学習する。
2日目	『教育カウンセリング論／教育相談』の第4章：学校教育相談の本質 第5章：学校教育相談の理論と実際 第6章：学校教育相談の方法 第7章：進路相談の意義と方法、すなわち学校教育相談について学習する。
3日目	『教育カウンセリング論／教育相談』の第8章：不適応問題（行動）と学校教育相談 第9章：特別支援教育に関する理解と学校教育相談 第10章：心理アセスメントについて学ぶ。 *試験実施

◆教科書 **事前資料送付** **当日資料配布** 資料配布（事前・当日）

通材『教育相談 T30600／教育カウンセリング論 T30700』 通信教育教材（教材コード 000498）
1,600円（送料込）

※上記は平成27年度の価格です。平成28年度は価格改定が予定されています。平成28年4月1日以降に教材を購入する場合は、『部報』4月号にて改訂価格を確認の上、購入下さい。

◆参考書 **丸沼**『改訂 生徒指導・教育相談・進路指導』仙崎武 野々村新編著 田研出版 2,592円（税込）
(送料300円)

◆成績評価基準 発表（20%） 平常点（30%） 試験（50%） 毎回出席することが前提。

◆授業相談（連絡先）：

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆主体的な学びをサポートする

〔博物館教育論〕

開講単位：2 単位 担当者：岡部 幹彦

◆**学修到達目標** 博物館教育について、学びの意味を探ることによりその特色と社会的意義を理解し、基礎となる理論と実践方法に関する知識を修得する。また、内外の優れた実践事例を通じて博物館での学びについて学習し、博物館教育に関する基礎的な能力を身につける。

◆**授業方法** 毎回の授業用に作成した資料プリントを配布し、スライドを用いて講義形式で進行することを基本とする。積極的な学修姿勢と理解を促すため、適宜テーマを設けて意見を求める。また、実際に博物館などで作成・活用されている教育・学習ツールを用いて実践的に理解を深める。

◆**準備学修** 身近な博物館・美術館を訪れ、施設、設備や展示の状況、来館者の様子などを観察するとともに、館案内リーフレット、事業案内などを入手し、また、多くの博物館施設のウェブサイトを見て、少なくとも利用者として博物館・美術館を理解しておくこと。

◆**授業計画** [1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分]

1日目	《ガイドンス》授業の進め方と留意点 《博物館における学びとは》をテーマに以下の項目を学修する。 博物館の定義と博物館教育、教育と自由な学び、学習の動機付けと学びのサポート、観察と鑑賞、資料情報と観察、モノ・コト・ヒトと博物館教育
2日目	《博物館教育の実際》をテーマに以下の項目を学修する。 事例に学ぶ—多様なプログラムとその手法、ワークショップの意味と手法、教育プログラム・ツールの開発と実践、教育プログラムの評価、博物館を学ぶプログラム、博物館リテラシー、学芸員とコミュニケーション能力、博物館と学校教育の歴史、博学連携事業の現状と課題
3日目	《地域社会と博物館教育》をテーマに以下の項目を学修する。 生涯学習と博物館、ボランティアと学び、学習成果の地域への還元、博物館人材育成、学びのサイクルの核としての博物館 《まとめ》博物館教育の可能性と学芸員の果たすべき役割 《試験》

◆**教科書** [当日資料配布] 使用しない。資料プリントを当日配布。

◆**参考書** 通材『博物館概論 Y20300』 通信教育教材 (教材コード 000492) 2,500円 (送料込)

〈この教材は市販の『新時代の博物館学』全国大学博物館学講座協議会編 (芙蓉書房出版) と同一です〉

※上記は平成27年度の価格です。平成28年度は価格改定が予定されています。平成28年4月1日以降に教材を購入する場合は、『部報』4月号にて改訂価格を確認の上、購入下さい。

◆**成績評価基準** 授業への取り組みと試験により総合的に評価する。

◆**授業相談 (連絡先)** :

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
※授業相談 (連絡先) に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆ 開講講座表及び講座内容（シラバス）

東京 5月期 第2期

日 程	授 業 時 間	備 考
5月 2日	月 9:30～18:30	※時間内に昼休みを設けます。
5月 3日	火 9:00～18:30	
5月 4日	水 9:00～16:00 <試験も含む>	

※以下の第2期開講の講座から1講座を選択してください。

講 座 コ ー ド	開 講 講 座 名	担当講師名	充 当 科 目		併 用	制 限・注 意		受オ ープ 講ン		
			科 目 コ ー ド	科 目 名		配当 学 年	受 講 条 件			
D8BA	哲 学	長谷川 武雄	B10700	哲 学	1年					
D8BB	英 語 B	桑山 啓子	C10100	英 語 I	1年	・ I～IVのいずれに該当させるのか充當科目コードを必ず記入してください。	×			
			C10200	英 語 II						
			C10300	英 語 III	2年					
			C10400	英 語 IV						
D8BC	民 法 IV	伊藤 文夫	K30300	民 法 IV	2年	・履修条件あり（シラバス参照）				
D8BD	国 際 法	渡部 茂己	K31100	国 際 法	2年					
D8BE	税 法	黒川 功	K31500	税 法	2年					
D8BF	外 交 史	信夫 隆司	L30700	外 交 史	2年					
D8BG	国 文 学 概 論	近藤 健史	M20200	国 文 学 概 論	条件 参 照	・国文学専攻のみ1学年以上申込可。 ・その他は2学年以上申込可。				
D8BH	英 語 学 概 説	秋葉 倫史	N30700	英 語 学 概 説	2年	・履修条件あり（シラバス参照）	×			
D8BJ	放 送 英 語	アレックス ブラウン	N31300	放 送 英 語	2年	・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。	×			
D8BK	英 語 学 演 習 B	佐藤 健児	N401S0	英語学演習 I	× 3年	・英文学専攻のみ申込可。 ・I～IIIのいずれに該当させるのか充當科目コードを必ず記入してください。				
			N402S0	英語学演習 II						
			N403S0	英語学演習 III						
D8BL	英 米 文 学 演 習 A	鈴木 ふさ子	N404S0	英米文学演習 I	× 3年	・英文学専攻のみ申込可。 ・I～IIIのいずれに該当させるのか充當科目コードを必ず記入してください。				
			N405S0	英米文学演習 II						
			N406S0	英米文学演習 III						
D8BM	哲 学 演 習 I・II	小山 英一	P401S0	哲 学 演 習 I	× 3年	・哲学専攻のみ申込可。 ・I・IIのいずれに該当させるのか充當科目コードを必ず記入してください。				
			P402S0	哲 学 演 習 II						
D8BN	史 学 概 論	楠家 重敏	Q30100	史 学 概 論	2年					

注 意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。

その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講 座 コ ード	開 講 講 座 名	担当講師名	充 当 科 目		併 用	制 限 ・ 注 意		受 才 ト 講 シ
			科 目 コ ード	科 目 名		配 当 学 年	受 講 条 件	
D8BP	考古学特講 I	野中 和夫	Q30600	考古学特講 I		2年		
D8BQ	西洋経済史	上村 能弘	R30600	西洋経済史		2年		
D8BR	国際金融論	谷川 孝美	S31200	国際金融論		2年		
D8BS	観光事業論	服部 伊人	S32000	観光事業論		2年		
D8BT	教育の歴史	宇内 一文	T10400	教育の歴史	×	2年	・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。	
D8BU	特別活動の研究／ 特別活動論	関川 悅雄	T21500	特別活動論	×	2年	・本誌3ページを参照 ・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。	
			T21600	特別活動の研究				
D8BW	英語科教育法Ⅲ	佐藤 恵一	T30300	英語科教育法Ⅲ	×	2年	・英文学専攻のみ申込可。 ・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です	
D8BY	生涯学習論	上原 義正	Y20100	生涯学習論	×	2年	・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。	

注意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。

その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講座内容（シラバス）

◆哲学は役にたつか

〔哲学〕

開講単位：2単位 担当者：長谷川 武雄

◆学修到達目標 「哲学」に対する代表的質問は「何の役にたつか？」というものであろう。教科書『哲学の使い方』は、どのように使うか、それは役に立つか、答えの一端を見せてくれるであろう。現代は実証的・科学的、そして結果・成果に重点がおかれ、効率的に目的を達成するか、そうした価値観が優勢である。「成果・役立ち」に対して、哲学は自己の主張をどこまで貫けるであろうか、哲学（的なもの）への関わり方を考える。

◆授業方法 基本的に「講義」を中心とするが、「問う」という観点も加える。この点から講義の中では、様々な「問い合わせ」の組合せ（いわゆる「対話」）方法を通して、「聞く」に加え「疑問（問い合わせ）」に対する「答え」を導き出す手順・流れを追ながら（どのように「考えるべきか」）進める。同時に受講者にはその流れを「記述（論述）」するこにより、整理してもらう。

◆準備学修 教科書「第1章 哲学の入り口 1 哲学の手前で」は事前に読んでおくこと。哲学に接するに当たって、それ以前の筆者の考え方、入り方が具体的に示されている。受講者の考え、立場、あるいは疑問等々を、ここで比較しながら整理しておくとよいであろう。不明・理解難な概念や表現は国語辞典・事典等でいつでも調べができるようにしておくこと。

◆授業計画〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	1 これから講義について全体的説明／2 この授業における論述文の書き方の説明／3 第1章 哲学の入り口（1 哲学の手前で、2 哲学の着手点 — 1つの例題）
2日目	4 第1章 哲学の入り口（3 哲学のアンチ・マニュアル）／5 第1章の整理（まとめ・問題点）／6 第2章 哲学の場所（1 哲学とその＜外部＞、2 哲学の知 — あるいは「技術の技術」）
3日目	7 第2章 哲学の場所（3 哲学と「教養」）／8 第2章の整理（まとめ・問題点）／9 第1章、第2章全体の整理（まとめ・問題点・批判的考察）

◆教科書 丸沼『哲学の使い方』鷺田清一 岩波書店（岩波新書 新赤 1500）864円（税込）（送料215円）

◆参考書 教科書「引用文献」中に示されているので、適宜参考にしてもらいたい。

◆成績評価基準 最終試験（60%）、授業時課題（主に論述）（30%）、授業時質疑応答・その他（10%）。最終的には、以上の全体を見わたし「総合的に評価」する。

◆授業相談（連絡先）：

◆英語の力を総合的にアップさせよう！

〔英語 B〕

オープン受講：不可 開講単位：1単位 担当者：桑山 啓子

◆学修到達目標 テキストに出てくる用語について理解を深めること、リスニング力、語彙力、英文の読解力等を総合的に高めることを目標とする。

◆授業方法 授業は演習形式で行い、学生はスクーリング中1回は発表すること。学生はExerciseの答え、事前に配布するDVDのスクリプトの英文の要約やテキストの問題の答えを発表した後、教師が正解と解説を行う。詳しいことは最初の授業で説明する。

◆準備学修 テキストに付いているDVDを見ながらI:Opening Quizzes～V:Useful Expression, VII:Interview, VII:Summaryを分からぬ語は辞書で意味を調べて予習しておくこと。スクリプトは最終試験にも出すので、前もって分からぬ語を調べ、和訳しておくこと。

◆授業計画〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	(午前) ガイダンス、Unit 1: I～V、スクリプト英文の要約、 (午後) Unit 1: VII～VIII、 Unit 2: I～V、Unit 2のスクリプト英文の要約、VII～VIII、 Unit 3: I～II
2日目	(午前) Unit 3: III～V、Unit 3のスクリプト英文の要約、VII、VIII、 (午後) Unit 4: I～V、Unit 4のスクリプト英文の要約、 Unit 5: I～II、III～V、
3日目	(午前) Unit 5: スクリプト英文の要約、VII、VIII、 (午後) Unit 1～Unit 5の復習 試験

◆教科書 丸沼『World Wide English on DVD Vol. 1 (世界で輝く若者たちの英語1)』森田、佐藤、他4名共著 成美堂 2,592円（税込）（送料300円）
上記テキストの映像のスクリプト

◆参考書 丸沼『英文法解説』江川泰一郎著 金子書房 1,836円（税込）（送料350円）

◆成績評価基準 授業内で行う小テスト（各unitの復習小テスト、dictationの小テスト、予習確認小テストなど）35%、授業内での発表状況15%、最終試験50%

◆授業相談（連絡先）：

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆不法行為法

〔民法IV〕

開講単位：2単位 担当者：伊藤 文夫

◆**学修到達目標** 債権各論は契約・事務管理・不当利得・不法行為の債権発生原因など日常生活に密着する領域を守備範囲とするものであるが、この講義では契約と異なり意思に基づかない法定債権の中の「不法行為法」すなわち、自動車事故・医療事故・製造物事故・各種生活事故など、我々自身がいつ加害者・被害者になるかもしれない問題について法的検討を加え、不法行為法についての俯瞰図を得ることを目標とする。

◆**授業方法** 講義方式によるが、議論がかなり緻密かつ錯綜した展開を示すので、教科書ならびにレジュメ（事前配布予定）を読み込んでおくが不可欠である。

◆**準備学修** 上述のように、教科書、レジュメの予習は不可欠である。

◆**履修条件** 平成27年度東京スクーリング（5月期）第2期の「民法IV」との積み重ね不可。

◆**授業計画** [1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分]

1日目	民法典における債権各論の位置づけ。損害賠償請求権の発生原因としての不法行為。不法行為法の俯瞰図（成立要件・帰責類型・損害・賠償額の調整・免責事由・正当防衛等・名誉毀損・時効等）。一般不法行為（民709）。一般不法行為の成立要件（故意・過失（過失概念の変遷）、責任能力の位置づけ、違法性概念、権利・法益侵害類型・因果関係）。
2日目	他人の行為についての責任=責任無能力者の監督義務者等（民712～714、直近の最高裁判平成27・4・9民集69巻3号455頁）、使用者責任（民715）、危険物の占有者などの責任（民717・718）、複数行為者の加害行為と不法行為責任（民719）、名誉・プライバシー侵害と不法行為（表現の自由・原状回復・差止請求）。
3日目	権利の消滅（権利存続期間と判例法理の展開、消滅時効・除斥期間、民法改正案）。現代的型不法行為としての自動車事故民事責任と補償システム（自動車損害賠償保険法の概要・自動車保険の概要・判例法理の展開と現状）。

◆**教科書** 事前資料送付 事前にシラバスに合う形でレジュメを配布予定。

◆**参考書** 丸沼『債権各論講義（改訂版）』山川一陽 立花書房 3,399円（税込）（送料350円）

丸沼『不法行為法』窪田充見 有斐閣 3,672円（税込）（送料350円）

丸沼『民法判例百選①債権〔第7版〕』有斐閣 2,376円（税込）（送料300円）

◆**成績評価基準** 筆記試験による。

◆**授業相談（連絡先）** :

◆国際社会の法規範

〔国際法〕

開講単位：2単位 担当者：渡部 茂己

◆**学修到達目標** 「社会あるところ法あり」（すなわち法がなければ社会も存在しない）と言われるが、国際法は国際社会を規律する法である。そこで、法規範として国際法と国内法に共通する点と異なる点を中心として、基本的な法構造を体系的に理解する。

◆**授業方法** 教科書のほか、パワーポイント、視聴覚教材（DVD）、配布レジュメや資料プリントに基づいてなるべく簡単に解説したい。質疑等を歓迎する。

◆**準備学修** 教科書である通信教育教材の『国際法』を事前にひと通り目を通し、理解しておくことが望ましい。

◆**授業計画** [1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分]

1日目	<input type="checkbox"/> 国際社会の特質と国際法の基本原理および法源 <input type="checkbox"/> 国際法の諸分野と現代国際法の位置付け ※広義での国際法は古代以来の歴史があることと、かつ、国際社会の特質のなかでの今日の国際法が有する基本的特徴を理解する。
2日目	<input type="checkbox"/> 国際法の法主体 <input type="checkbox"/> 国際法主体の代表例としての国家 ※国際社会の法の主体を国内法主体と比較して理解する。国際法主体の代表的存在である「国家」について、とりわけ国家の生成手続たる国家承認 および国家の領域を中心に学ぶ。
3日目	<input type="checkbox"/> 国際安全保障と人間の安全保障 <input type="checkbox"/> 国際紛争の平和的解決 <input type="checkbox"/> 国際法と地球環境 <input type="checkbox"/> 国際法と国際経済（TPPを含む） ※以上を取り上げて、それぞれの内容を分かり易く概観する。

◆**教科書** 通材『国際法 K31100』通信教育教材（教材コード000462）2,850円（送料込）

〈この教材は市販の『国際法 第二版』渡部茂己・喜多義人編（弘文堂）と同一です〉

※上記は平成27年度の価格です。平成28年度は価格改定が予定されています。平成28年4月1日以降に教材を購入する場合は、『部報』4月号にて改訂価格を確認の上、購入下さい。

◆**参考書** なし。

◆**成績評価基準** 授業内小テストや質疑を含む平常点（50%）、論述試験（参考書・ノート等の参考可）（50%）。スクーリングは、毎回出席することを前提として評価します。

◆**授業相談（連絡先）** :

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆税法の基本原理 (Fundamental Theory of Tax Law) [税法]

開講単位：2 単位 担当者：黒川 功

◆学修到達目標 具体的な税金問題を交えながら、税法学の基礎理論を体得します。税法は現代法の中心領域でその理解は今の時代を生き抜く上で不可欠です。短期間で各人が自力で租税問題を法的に理解・判断できるようになるための基本的な視覚を得ることが目標です。

◆授業方法 講義は税に関する情報の整理から始め、問題への理解の深度と確実性を高めることを優先します。最初に要点を板書し、できるだけ事例紹介を折り込みながら説明します。短時間ですが、見て、聞いて、整理したものをノートに書き写し、確認しながら理解するという密度の濃い頭の使い方をします。

◆準備学修 参考書に掲げてある北野弘久『納税者の権利』岩波新書に一度目を通しておくと、理解の下地を作る上で有益です。それ以外の自己流の予習は却って有害となる場合もあるので、特に必要としません。

◆授業計画 [1日目：480分, 2日目：510分, 3日目：360分]

1日目	① 現代社会と税法
	② 税法学の特質 (1)
	③ 税法学の特質 (2) 税法と財政学
	④ 税法学の特質 (3) 税法と会計学
	⑤ 税法学の特質 (4) 税法と行政法学
2日目	⑥ 租税の法的概念
	⑦ 税法の体系
	⑧ 租税法律主義 (1)
	⑨ 租税法律主義 (2)
	⑩ 租税法律主義 (3)
3日目	⑪ 本来的租税条例主義
	⑫ 実質課税の原則 (1)
	⑬ 実質課税の原則 (2)
	⑭ 試験準備・試験

◆教科書 通材『税法 K31500』 通信教育教材 (教材コード 000410) 3,700円 (送料込)

※上記は平成27年度の価格です。平成28年度は価格改定が予定されています。平成28年4月1日以降に教材を購入する場合は、『部報』4月号にて改訂価格を確認の上、購入下さい。

◆参考書 丸沼『納税者の権利』北野弘久 岩波新書 864円 (税込) (送料215円)

◆成績評価基準 最後に実行する論述式の試験の評価を基本とし、これに平常点を加味します。試験はテキスト持込許可ですので、暗記ではなく理解度が試されます。

◆授業相談 (連絡先) :

◆映像でつづる戦後国際関係史 [外交史]

開講単位：2 単位 担当者：信夫 隆司

◆学修到達目標 第二次世界大戦終結からすでに70年が経過した。その間、国際関係は、冷戦の勃発、冷戦の深刻化、そして、冷戦の終焉と、おおきく変化した。戦後70年を振り返りながら、国際関係における主要なできごと、ならびに、日本外交のあり方を学び、戦後70年とはいかかる時代であったのかを理解できるようにする。

◆授業方法 授業は、(1) ビデオ・DVD教材の時代背景や重要点の講義、(2) ビデオ・DVD教材の視聴、(3) 視聴したビデオ・DVDの感想や質問の記入、(4) 質問への回答という形で進める。当時の映像を見ながら学ぶと同時に、重要な一次史料も紹介する。

◆準備学修 インターネットなどで授業に出てくる主要なできごとを学んでおく。

◆授業計画 [1日目：480分, 2日目：510分, 3日目：360分]

1日目	第二次世界大戦から冷戦の勃発・深刻化について、1940年代後半から1950年代の国際関係を中心に学ぶ。とくに、ヨーロッパにおける冷戦の始まり、アジアにおける朝鮮戦争の勃発、サンフランシスコ平和条約・日米安保条約・行政協定の締結、さらに、1960年1月の安保条約の改定などを取り上げる。
	1960年代から1970年代にかけての冷戦の激化と緊張緩和を中心に学ぶ。具体的には、1962年のキューバ危機、1969年の佐藤・ニクソン会談による沖縄返還の決定、1971年7月のニクソン訪中の発表、日中邦交正常化、米中邦交正常化などである。
	1980年代から今日までの国際関係を中心に学ぶ。とりわけ中心となるのは、冷戦崩壊をもたらしたゴルバチョフと連共産党書記長の登場と東欧諸国の民主化、ベルリンの壁崩壊である。また、冷戦崩壊後の湾岸戦争と日本の国際貢献のあり方の変化も取り上げたい。

◆教科書 [当日資料配布] 指定しない。資料は、当日、配布する。

◆参考書 参考書は、講義時に、適宜、紹介する。

◆成績評価基準 ビデオ・DVD教材を視聴した感想・質問の提出 (60%)、試験 (40%)。授業への取り組み・試験により総合的に判断する。

◆授業相談 (連絡先) :

◆日本古典文学のあらましを学ぶ

〔国文学概論〕

開講単位：2 単位 担当者：近藤 健史

◆**学修到達目標** 「文学概論」とは、文学作品（文芸）について、全体にわたって文芸の本質や形態や目的及びその意義の大要を論究する学という。今回は、日本古典文学の各ジャンルにおける、成立の起源、形態、特徴などについて理解することを到達目標とする。

◆**授業方法** 講義形式で授業を行う。指定のテキストの解説と実際に作品を読む。またプリントを配布して補足する。さらに、理解度・把握度を確認するため、複数回にわたって質問や小テストを課すという方法を取る。

◆**準備学修** 指定テキストを読み、大まかな内容と流れを事前に把握しておくこと。

◆**授業計画**〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	授業計画の説明 ①古代和歌とは、何か。 和歌の発生と展開 和歌の種類 ②説話文学とは、何か。 説話の発生と展開
2日目	①物語文学とは、何か。 物語の発生と展開 物語の種類と特性 ②軍記物語とは、何か。 軍記物語の発生と展開 軍記物語の種類と特性
3日目	①日記文学とは、なにか。 ②隨筆とは、何か。 ③試験

◆**教科書** 通材『国文学概論 M20200』高木市之助監修 通信教育教材（教材コード 000089）2,900円（送料込）
※上記は平成27年度の価格です。平成28年度は価格改定が予定されています。平成28年4月1日以降に教材を購入する場合は、『部報』4月号にて改訂価格を確認の上、購入下さい。

◆**参考書** 電子辞書。

◆**成績評価基準** 試験 60%，小テスト 30%，質疑応答 10%

◆**授業相談（連絡先）：**

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆英語の世界をより深く知るために

〔英語学概説〕

オープン受講：不可 開講単位：2 単位 担当者：秋葉 倫史

◆学修到達目標 英語を専攻する者にとって、英語を道具として使用するだけでなく、その言語がどのような仕組みを持っているのかを理解しておくことも重要です。本講座では、英語を研究する学問である英語学がどのような学問分野であるか、また言語を研究する上で必要なアプローチ方法はどのようなものがあるかといった入門的知識を導入することを目標とします。英語学のねらいとその学問の下位分類を学習することによって、英語の言語としての特徴を確認できるようにします。

◆授業方法 基本的に配布プリントを基に講義形式で進めます。ただし、学習内容に沿った質疑応答や、プリントの例文について発表してもらうというような演習形式の要素も適宜加えていきます。なお、授業内で使用するため、辞書（ただし、ネットワークに接続可能なものは認められない）は必ず持参すること。必要に応じて、内容・進度は調整することもあります。

◆準備学修 下記の授業計画のトピックに関して、事前に配布された資料に沿って、指定された参考書やその他の英語学の入門的な教材を事前に読んでおくことが望まれます。

◆履修条件 平成 27 年度夏期スクーリング「英語学概説」との積み重ね不可。

◆授業計画 (1日目：480 分, 2日目：510 分, 3日目：360 分)

1 日目	1. ガイダンス 2. 英語学の研究分野と方法論（1） —音韻論・形態論・統語論を中心に学習する
2 日目	1. 英語学の研究分野と方法論（2） —意味論・語用論を中心に学習する 2. 英語史入門 —「英語史」とはどのような研究領域か、通時的に観察される例を検証しながら学習する 3. 日英語対照研究入門 —日英語の相違について、複数の文法項目の例を検証しながら学習する
3 日目	1. コーパス言語学入門 —「コーパス」とは何か、コーパスの種類・使用方法・研究事例等を中心に学習する 2. 試験

◆教科書 **事前資料送付** 事前に授業プリントを配布します。

◆参考書 **通材**『英語学概説 N30700』 通信教育教材（教材コード 000440）3,050 円（送料込）

〈この教材は市販の『英語学入門』安藤貞雄・澤田治美著（開拓社）と同一です〉

※上記は平成 27 年度の価格です。平成 28 年度は価格改定が予定されています。平成 28 年 4 月 1 日以降に教材を購入する場合は、『部報』4 月号にて改訂価格を確認の上、購入下さい。

丸沼『日英対照による英語学概論』西光義弘 編 くろしお出版 2,700 円（税込）（送料 350 円）

丸沼『ファンダメンタル英語学 改訂版』中島平三 著 ひつじ書房 1,512 円（税込）（送料 300 円）

◆成績評価基準 試験 (60%), 授業への取り組み (40%) を総合的に評価します。ただし、全出席を前提とします。

◆授業相談（連絡先）：

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆ Broadcast English

〔放送英語〕

オープン受講：不可 開講単位：2単位 担当者：アレックス ブラウン

◆**学修到達目標** Students will improve listening and speaking skills by watching short news reports and discussing the content and issues of the news reports.

◆**授業方法** Students will develop listening skills by listening to CNN news reports from web site (www.cnn.com) (other materials may be used). Students will also learn vocabulary and expressions related to the news topics and discuss and give their opinions about the topics.

◆**準備学修** It would be helpful for students to stay informed on current news media, both international and domestic news topics.

◆**授業計画** (1日目：480分, 2日目：510分, 3日目：360分)

1日目	Orientation News Report #1 ~ 4
2日目	Vocabulary Quiz #1 News Report #5 ~ 7
3日目	News Report #8 Review Vocabulary Quiz #2 Final Examination

◆**教科書** No text will be required. Students will be provided with handouts. Students are expected to bring a notebook and a folder to keep handouts in.

◆**参考書** Students should bring a dictionary to class.

◆**成績評価基準** Grades will be based on attendance, vocabulary quizzes and final examination.

◆**授業相談（連絡先）：**

◆単純現在形を洗う

〔英語学演習 A〕

開講単位：1単位 担当者：佐藤 健児

◆**学修到達目標** G. N. Leech の "Meaning and the English Verb" の精読を通して、単純現在形について学びます。専門的な英文を読みこなす力を養成するとともに、英語の単純現在形の各用法に通底する本質的意味を理解し、説明できるようになること、それを本演習の学修到達目標とします。

◆**授業方法** 輪読形式で教科書を読み進めています。指名された学生には教科書の音読と和訳をしてもらい、その後、教員が内容の確認、解説をしていきます。

◆**準備学修** Chapter 1 "Simple Present and Past Tenses" (p.5) から読み進めていきます。予習をする際には、辞書や教科書、参考書に挙げた文献を参照しながら、できるだけ丁寧に（語彙や文法の知識に基づいて）英文を「精読」するよう心がけてください。なお、必ず「和訳」をしてから授業に臨むこと。

◆**授業計画** (1日目：480分, 2日目：510分, 3日目：360分)

1日目	テンス・アスペクト・モダリティ（プリント）について学びます。 §6 ~ 10まで読み進めます。
2日目	§11 ~ 14まで読み進めます。
3日目	§15 ~ 17まで読み進めます。 テスト

◆**教科書** 丸沼『Meaning and the English Verb [Third Edition]』 Geoffrey Leech 著 澤田治美注釈 ひつじ書 2,592円（税込）（送料 300円）房

◆**参考書** 丸沼『英文法解説－改訂三版－』 江川泰一郎著 金子書房 1,836円（税込）（送料 350円）
丸沼『謎解きの英文法 時の表現』 久野暉・高見健一著 くろしお出版 1,620円（税込）（送料 215円）

◆**成績評価基準** 予習状況・授業への取り組み・テスト等により総合的に評価します。
進度によってはテストをレポートに変更する場合があります。

◆**授業相談（連絡先）：**

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆ *The Picture of Dorian Gray* を読む

〔英米文学演習 A〕

開講単位：1 単位 担当者：鈴木 ふさ子

◆**学修到達目標** イギリス 19 世紀末を代表するオスカー・ワイルドの唯一の長編小説『ドリアン・グレイの肖像』を読み、作者の生涯及びこの時代の背景や思潮、ヨーロッパで流行したデカダンス、唯美主義に関する知識を習得することが目標です。さらに、作者ワイルドが追求した「美」が作品の中でどのように表れているのか、自分の意見を述べられる分析力・批評力を身につけることを目標とします。

◆**授業方法** オスカー・ワイルドの『ドリアン・グレイの肖像』を原文で味わい、翻訳、作品解釈、発表をしていただきます。基本的には下記授業計画に沿ってテキストの和訳、音読、作品解釈を行います。その上で、グループ発表、フロアとの議論を展開していただき、ワイルドという人物、19世紀末という時代背景や唯美主義、キリスト教の問題と作品の関連性、ワイルドの影響を受けた三島由紀夫との関連についても考えます。なお、状況によって授業計画通りに進まないこともありますので、ご留意下さい。

◆**準備学修** 辞書および、注や翻訳本にあたり、初回授業までに英文テキストを丹念に読んでおくようにして下さい。三島由紀夫の『盗賊』を読み、関連を考えておくこと。受講者のみなさんは下記の授業計画に沿って分担で、和訳、音読、作品解釈をしていただきます。初回授業でグループ分けをし、グループごとにテーマを設定し、担当部分のテキストの要約と発表をしていただきます。

◆授業計画〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	●ガイダンス（授業の進め方・成績評価の方法の確認をします。発表のためのグループ分けを行います。） ●イントロダクション（オスカー・ワイルドと19世紀末とサロメ像の変遷について映像やプリントを用いて解説をします。） ●『ドリアン・グレイの肖像』を読む（指名された方々に音読・翻訳・作品解釈をしていただきます。） ●グループ発表準備（グループごとに分かれ、作品について議論をし、発表の手順などの打ち合わせを行います。）
2日目	●グループ発表準備（発表の準備を各グループごとに行う） ●『ドリアン・グレイの肖像』を読む（指名された方々に音読・翻訳・作品解釈をしていただきます。） ●グループ発表（グループごとに割り振られた担当箇所について発表をし、フロアと議論をしていただきます。）
3日目	●『ドリアン・グレイの肖像』を読む（指名された方々に音読・翻訳・作品解釈をしていただきます。） ●グループ発表（グループごとに割り振られた担当箇所について発表をし、フロアと議論をしていただきます。） ●三島由紀夫『盗賊』との関連を考える。 ●授業のまとめ（これまで学んだことを総括的に復習し、整理します。） ●最終試験

◆教科書

『The Picture of Dorian Gray』 Penguin Classics

※丸沼書店では取り扱っていませんので、Amazon 等で購入して下さい。

丸沼『盗賊』三島由紀夫著 新潮文庫 432円（税込）（送料 215円）

◆参考書

丸沼『三島由紀夫 悪の華へ』 鈴木ふさ子著 アーツアンドクラフト 2,376円（税込）（送料 300円）

丸沼『オスカー・ワイルドの曖昧性』 鈴木ふさ子著 開文社 2,484円（税込）（送料 350円）

◆**成績評価基準** 全出席を前提に、以下のような割合で成績の評価をします。無遅刻・無欠席を前提に、授業に対する取り組み・積極性・発表（30%）・コメント（20%）・試験（50%）

◆授業相談（連絡先）：

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆哲学で何ができるか（その2）

〔哲学演習Ⅰ・Ⅱ〕

開講単位：1単位 担当者：小山 英一

◆学修到達目標 この哲学演習の学習目標は、下記テキストの副題にもあるように、文化と私（自我・自己）を通じて現代的な視点から哲学し、現代の状況（「わたし」と「システム」、現実の哲学）を考察することである。皆さんと共にゆっくりと歩み（読み、意見交換し）ながら哲学のありかた「哲学で何ができるのか」を考えていきましょう。テキストの後半部分を学修します。

◆授業方法 授業は演習形式。演習参加者に下記テキストの一部をあらかじめ割り振り、担当者を決める。指定された箇所を読み、音読とまとめ（レジュメ作成）と説明（発表）をおこなう。その後、担当者の司会で意見交換をしていく。（振込用紙を受け取ったら、下記のアドレスにアクセスしてください。担当部分をお知らせします。また、このメールアドレスは担当部分を決めるためだけに使用します。それ以外には使用しないでください。なお、インターネットにアクセスできない人は直接、教務課に問い合わせてください。必ず何らかの方法をとって担当箇所を知り、学習しておいてください。担当箇所を指定されて発表しないと、単位は取得できません。）

◆準備学修 ①簡単なメモを取りながら、テキスト全体を必ず読んでおくこと。
②担当部分については、「音読→レジュメによるまとめ（要旨）→用語や人物の解説・各段落の説明・自分の意見の発表→自分が司会での全体での意見交換」の流れを頭に入れて学習しておくこと。

◆授業計画〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	第三章 「わたし」と「システム」を生成する流れ (第一章、第二章は各自で読んでおくこと。第一章と第二章は簡単に講義します)
2日目	第四章 「絶対」の探求——ニーチェ以前の哲学 第五章 〈現実の哲学〉
3日目	第五章 〈現実の哲学〉 試験

◆教科書 丸沼『哲学で何をするのか 文化と私の「現実」から』貫成人 筑摩選書 筑摩書房 2012
1,836円（税込）（送料300円）

◆参考書 なし

◆成績評価基準

◆授業相談（連絡先）：

◆「歴史とは何か」の歴史を知ろう

〔史学概論〕

開講単位：2単位 担当者：楠家 重敏

◆学修到達目標 古今東西の「歴史とは何か」の議論を理解することで、歴史的な見方を身につける。

◆授業方法 教科書を用いた講義である。学生とも質疑を行い、トピックに理解を深める。

◆準備学修 教科書、あるいは他の「歴史とは何か」の本をあらかじめ読んでおくこと。

◆授業計画〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	古代から19世紀までがこの日の講義の範囲である。「歴史とは何か」について古今東西の人々が回答をしている。歴史とヒストリアの語義を語り、まず日本と中国の場合をまず論じる。史記、漢書、日本書紀、六国史、歴史物語などがキーワードとなる。つぎに日本と西欧の場合を考える。ヘロドトス、アウグスティヌス、ベーコン、ランケ、福澤諭吉、田口卯吉、リースなどが重要語句となる。
2日目	幕末・明治初年から1945年ころまでの日本人の歴史観の変遷を追ってゆく。治乱興亡史観から文明史観に変り、清朝考証学の影響をうけてアカデミズム史学が誕生する。その歴史哲学論争があり、実証史学と歴史哲学が分岐する。西周、三宅米吉、ゼルフィー、ヴィンデルバント、セニョボス、ベルンハイム、内田銀蔵、坪井九馬三、柳田国男、クローチ工、歴史主義などのことばに注意をむけておきたい。
3日目	1945年から現代までの歴史学の考え方の推移を考察してゆく。戦前の歴史学の反省から新しい動きがはじまる。歴史は科学かがまず論争される。歴史家と文学者のあいだで「昭和史」論争がおこる。やがてマルクス主義歴史学が全盛の時期に入る。いっぽうでアナール学派の考え方も紹介される。さらに歴史小説論争があり、やがて言語論的転回が唱えられ、歴史=物語り論も展開される。

◆教科書 丸沼『「歴史とは何か」の歴史』楠家重敏著 晃洋書房（2016年2月刊）2,376円（税込）（送料300円）

◆参考書 授業中に適宜指示する。

◆成績評価基準 平常点（30%）試験（70%）毎回出席することを前提として評価する。

◆授業相談（連絡先）：

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆地震について史資料から考える

〔考古学特講Ⅰ〕

開講単位：2単位 担当者：野中 和夫

◆学修到達目標 気象庁の発表によると、近い将来東海・東南海・南海が連動する南海トラフ上や首都圏直下で発生する大地震の確率は高いという。過去に発生したM6.0以上の大地震を概観するとともに、江戸城・宮城を定点として南関東で発生した大地震の被害と復旧について史資料から学ぶ。あわせて被害を大きくした要因について考える。

◆授業方法 講義形式による授業。

◆準備学修 教科書を熟読しておくこと。

◆授業計画〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	日本列島周辺で地震の多発する要因を理解した上で、古代から大正年間までの間に発生した大地震の概要を学ぶ。貞觀地震や慶長地震など大地震と津波との関係を、考古資料を用いて紹介する。その上で、江戸・東京での地震記録から、地震発生のピークと大地震発生の関連を考える。また、絵画資料等から民衆の地震に関する関心を紹介する。
2日目	相模トラフ上で発生した二つの巨大地震、元禄大地震と関東大震災。地震発生に伴う地形の変化と津波の発生。墓碑・供養碑・古文書・絵画・古記録等々の資料を紹介しながら、被害と復旧を学び検証する。時間ががあれば江戸城を訪れ、被害の一端を説明する。
3日目	内陸直下型地震である安政江戸地震。多発する地震による不安と政治に対する民衆の不満。地震被害と復旧・復興について多角的に考察する。

◆教科書 丸沼『江戸・東京の大地震』野中和夫 同成社 4,104円（税込）（送料390円）

◆参考書 丸沼『地震の日本史』寒川旭 中央新書 885円（税込）（送料260円）

丸沼『江戸の自然災害』野中和夫編 同成社 3,024円（税込）（送料340円）

◆成績評価基準 平常点（20%）、試験（80%）

◆授業相談（連絡先）：

◆19世紀前半の合衆国南部における棉花プランテーションと英米マーチャント・バンカー 〔西洋経済史〕

開講単位：2単位 担当者：上村 能弘

◆学修到達目標 19世紀前半のアメリカ合衆国南部の棉花プランテーションにおいて棉花の生産と流通を支えたファクター制度と、それと連結していた世界通商の決済制度の仕組みを説明し、それを通して「産業革命」の世界経済史的な意義を理解することができる。

◆授業方法 講義形式で授業を進める。最終日に「質疑と討論」の時間を設ける予定である。

◆準備学修 特別な準備学修は必要としないが、受講に当たっては高等学校の「世界史」で扱われるような知識を、ごくおおざっぱにでも持っていると便利である。各自、手許の「世界史」の教科書や参考書などを用いて、特に「産業革命」を扱った部分を再確認されたい。

◆授業計画〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	世界商品市場の成立と「産業革命」 ・「拡張の16世紀」、「危機の17世紀」 ・大西洋地域における奴隸貿易の展開 ・「世界の綿工業」
2日目	棉花ファクター制度 ・委託荷販売の契機 ・英米マーチャント・バンカーによる棉花ファクターの組織化 ・1837年恐慌とその影響
3日目	まとめ：「産業革命」の歴史的意義 質疑と討論

◆教科書 指定しない。

◆参考書 指定しない。

◆成績評価基準 試験（100%）：論述形式を予定。

◆授業相談（連絡先）：

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆国際金融の基礎理論を学ぶ

(国際金融論)

開講単位：2 単位

担当者：谷川 孝美

◆**学修到達目標** 最近では、我が国の国際収支や為替レートの変化がニュースになっています。この講義では、国際決済や外国為替市場などの基礎的概念、外国為替レートの決定理論や国際資本移動とマクロ経済の関係におけるマンデル・フレミング・モデルなどの基礎理論を理解し説明できるようになること、さらに、それらの理解を通じて国際金融の諸問題を考える上での基礎を養うことを目的とします。

◆**授業方法** 授業計画にしたがって、パワーポイントを利用した講義形式で行います。講義では、基礎的な概念や理論について平易な解説をする予定です。受講に際しては、経済学概論および金融論を履修していることが望ましいでしょう。なお、講義の進行状況によっては授業計画が前後することもあります。また、国際金融の歴史や制度は取り扱いませんので注意してください。

◆**準備学修** 国際金融論では、金融論およびマクロ経済学の基礎的理解が前提となります。事前の準備としてこれらを確認しておくと良いでしょう。また、講義の理解を深めるためにも、授業計画にあるトピックスについて、参考書などで予習や、外国為替レートなど海外市況や国際金融情勢などに、日頃から関心を持つことも大切です。

◆**授業計画** [1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分]

1日目	①ガイダンス、②国際金融論の対象と課題、③外国為替と国際決済、④さまざまな外国為替レート。 ※国際金融を理解するための基本的な事柄について学びます。
2日目	①外国為替市場と先物と取引、②オプション、スワップ取引、③国際収支と外国為替相場、④一物一価の法則、⑤購買力平価。 ※国際金融の基礎理論として、物価に関連した為替レートの決定などを学びます。
3日目	①金利裁定取引、②金利平価、③フローラップローチ、④アセットアプローチ、⑤外国為替レートと開放マクロ経済政策、 ⑥講義のまとめ。 ※国際金融の基礎理論として、金利に関連した為替レートの決定、国際金融のトリレンマ問題について学びます。

◆**教科書** **【当日資料配布】** 指定しない。当日プリント配布

◆**参考書** **通材**『国際金融論 S31200』 通信教育教材 (教材コード 000432) 2,000円 (送料込)

※上記は平成27年度の価格です。平成28年度は価格改定が予定されています。平成28年4月1日以降に教材を購入する場合は、『部報』4月号にて改訂価格を確認の上、購入下さい。

丸沼『国際金融のしくみ 第4版 (有斐閣アルマ)』秦忠夫・本田敬吉・西村陽造編 有斐閣
2,160円 (税込) (送料300円)

丸沼『国際金融論をつかむ』橋本優子・小川英治・熊本方雄 有斐閣 2,268円 (税込) (送料300円)

◆**成績評価基準** 毎回出席することを前提として、最終試験を中心に、小テストや平常点などにより総合的に評価します。

◆**授業相談 (連絡先) :**

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
※授業相談 (連絡先) に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆観光と地域の活性化

〔観光事業論〕

開講単位：2単位 担当者：服部 伊人

◆学修到達目標 地域の活性化策の一つとして観光振興が注目されている。観光によって交流人口を増やし雇用や経済の拡大など地域に賑わいを創ることにある。そのために適切な誘客戦略が求められる。しかし観光者の個人化、多様化した志向、流行の変化の激しさ、インターネットなど情報環境の変化に伴い情報伝達も重要度も増している状況下で、観光者に訪れたい地域として選択されるには個性的な魅力を創ることが求められる。そのための観光戦略が考えられるようになることを目的とする。

◆授業方法 この授業は講義形式で行います。観光事業は、人々の観光行動および社会の観光活動を支援し活発にするための種々の行為便益を組織的・継続的に提供するのが目的である。講義では観光の基礎知識や形態の変化、観光の人間や社会への効果や影響、国や自治体の観光政策の変遷について学ぶ。さらに観光立国を目指して、また2014年末からの地方創生への取り組みとして観光振興は重要な課題となっており、地域の観光振興への取り組みなどについて考察をする。

◆準備学修 2004年の「観光立国宣言」以降、また最近の地方創生に向けて、各地で観光による地域おこしを進めようとしている。しかし、観光振興も限られた予算、舵取りをする人材の不足による地域内のステ - クホルダ - のバラバラな取り組みなど厳しい状況にある。観光振興を進めるためには地域の自己分析、他地域との差別化など誘客戦略にもとづいた客観的な判断が求められる。この地域おこしや観光まちづくりでは住民の主体的な取り組み（住民参画）が重視されている。ご自身の居住する地域の観光まちづくりなどについて資料を収集して現状と課題などを事前に整理しておいてください。

◆授業計画〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	観光とは、観光産業と観光事業、観光ビジネスの意義と特性、観光の歴史、観光政策と観光行政。 ※観光の語源や意味と観光に関わる言葉、観光産業や観光事業の意味やその業種・分類、わが国の観光の変遷と観光政策の変化および観光行政の仕組みについて学ぶ。
2日目	観光の諸相、観光とマーケティング、イベント・コンベンション事業、地域の活性化の展開—現状分析・計画策定・観光資源の保全と活用 ※新しい観光であるサステナブル・ツーリズムとスペシャル・インテラスト・ツーリズム、観光マーケティングの知識、イベント・コンベンションの意義や文化社会的、経済的効果、MICE市場について学ぶ
3日目	地域の活性化の展開—生活文化の再評価・インバウンド推進・滞在観光・観光推進態勢 ※最近の地方創生にむけて既存の観光地だけでなく、観光に消極的であった地域も積極的に観光へ取り組み、新たにを導入していくとする動きが顕著になっている。観光で地域の活性化を進めていくときに、地域全体として展開していく必要性について事例を解説しながら学んでいく。

◆教科書 〔当日資料配布〕 当日プリント配布。

◆参考書 **通材**『観光事業論 S32000』 通信教育教材（教材コード 000417） 2,000円（送料込）

※上記は平成27年度の価格です。平成28年度は価格改定が予定されています。平成28年4月1日以降に教材を購入する場合は、『部報』4月号にて改訂価格を確認の上、購入下さい。

◆成績評価基準 授業への取り組み・テストなどにより総合的に評価します。

◆授業相談（連絡先）：

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆教育の歴史は未来の教育を語る

〔教育の歴史〕

開講単位：2単位

担当者：宇内 一文

◆**学修到達目標** 近代の学校教育が西欧でどのように成立し展開してきたかを、制度史・思想史・理念史・社会史などの多様な観点から理解するとともに、西欧で誕生した近代教育がどのように日本に移入され展開してきたかという教育の歴史的展開を概観し、近代教育の理念並びに歴史と思想に関する基礎的理解を得るとともに、歴史的視点から今日の教育の特質と課題について説明できるようになる。

◆**授業方法** パワーポイントによる講義形式で行います。併せて、授業で取り扱ったトピックについてグループでの話し合いやクラス全体でのディスカッションなどを行うことにより理解の定着と学びの深化を図っていきます。なお、授業展開や学生のニーズにより、授業計画の内容は多少変更することがあります。

◆**準備学修** 「どうして教育の歴史について学ばなければならないのか」という問いや、「日本の学校ってどうして今のようななかたちなのか」ということを考えることが「教育の歴史」の出発点となります。スクーリングのなかで一緒に考えていきます。そのための準備として、小熊英二『増補改訂 日本という国（よりみちパン！セ）』（イーストプレス、2011年）や、成田龍一『戦後日本史の考え方・学び方：歴史って何だろう？（14歳の世渡り術）』（河出書房新社、2013年）に目を通しておくことが望ましいです。

◆**授業計画** [1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分]

1日目	(1) 教育の歴史を学ぶことの意味、(2) 学校のある社会、学校のない社会、(3) 中世ヨーロッパの教育、(4) 子どもの発見と近代家族、(5) 近代学校の誕生とその理念 * 1日目は、教育を構成する学校や子どもなどの概念について、歴史的に学んでいきます。
2日目	(6) 17世紀の教育と教授学の成立、(7) 18世紀の教育と近代教育思想の形成、(8) 19世紀の教育と近代教育思想の展開、(9) 20世紀の教育と新教育運動、(10) 近世社会の様子と寺子屋の教育 * 2日目は、ヨーロッパの近代教育思想の理念と歴史について学んでいきます。
3日目	(11) 明治期の公教育と教育勅語、(12) 大正期の教育と大正新教育、(13) 戦時下の教育と学校、(14) 戦後の教育改革と高度経済成長、(15) 現代日本の教育 * 3日目は、日本の近代学校制度の歩みを中心にして、日本の教育の歴史的展開について学んでいきます。

◆**教科書** [当日資料配布] パワーポイントのスライドをハンドアウトしたものをお渡しします。

◆**参考書** **丸沼**『教職のための教育原理』内海崎貴子編 八千代出版 2,268円（税込）(送料 300円)
丸沼『シティズンシップの教育思想』小玉重夫 白澤社 1,944円（税込）(送料 300円)
丸沼『教育思想のルーツを求めて—近代教育論の展開と課題』北野秋男・関川悦雄 啓明出版
1,882円（税込）(送料 300円)

◆**成績評価基準** 最終試験（70%）、授業参画度（30%）

【授業への取り組み、リアクション・ペーパーなどにより総合的に評価します。】

◆**授業相談（連絡先）** :

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆特別活動の意義と指導について考える

〔特別活動論／特別活動の研究〕

開講単位：2 単位 担当者：関川 悅雄

◆学修到達目標 学校教育における教科外活動について、その教育課程上の位置づけや教育的意義を基本的に理解し、その上で現行の学習指導要領における特別活動、すなわち学級活動・生徒会活動・学校行事などの各目標・内容・指導法について体験的に理解できるようにすることを目標とする。

◆授業方法 おもにテキストを中心とした講義形式で進め、適宜にグループ別討議も行う。なお、少人数の受講者数であれば、ゼミ形式で行なうこともある。

◆準備学修 受講者が学校教育の中で教科学習以外に、どんな楽しい活動—学校行事・部活動などを体験したかを想起し、それが自分自身にとってどのような意味や人生上の潤いをもたらしたかを考えてみよう。この気持でテキストに一通り目を通しておいて下さい。

◆授業計画〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	ガイダンス。課外活動の体験に関するアンケート調査とその集計分析。教育課程の意味と課外活動との関係。
2日目	課外活動における教育的価値の認められた実例①—ラグビー校の課外活動・遠足・運動会・学芸会。その実例②—相談会・課程外指導・修練課程など。課外活動の教育課程化とその条件。自由研究の新設とその後の特別活動の成立の歩み。途中で適宜にグループ別討議の手法を取る。
3日目	2008年の学習指導要領の改訂と施行。特別活動の改訂と目標。学級活動・生徒会活動・学校行事の各目標・内容・指導法など。まとめと試験。

◆教科書 通材『特別活動論／特別活動の研究 T21500／T21600』 通信教育教材（教材コード 000443）
2,650円（送料込）

〈この教材は市販の『最新特別活動の研究』関川悦雄著 2010年（啓明出版）と同一です〉

※上記は平成27年度の価格です。平成28年度は価格改定が予定されています。平成28年4月1日以降に教材を購入する場合は、『部報』4月号にて改訂価格を確認の上、購入下さい。

◆参考書 授業時にあれば指示する。

◆成績評価基準 出席状況（20%）・授業内試験（70%）・その他（10%）などの総合的評価。

◆授業相談（連絡先）：

◆実践的な英語授業を目指して

〔英語科教育法Ⅲ〕

開講単位：2 単位 担当者：佐藤 恵一

◆学修到達目標 授業実践を進める上で英語教師として求められる知識と経験を身につけることを目指します。特に授業準備の計画から指導案や模擬授業および評価に至るまでに関わる実践上の体験を通じ英語教師の役割を確認します。

◆授業方法 初日午前中に理論の講義をうけ、午後からグループに分かれて打ち合わせをし、2日目に各グループで模擬授業の準備及び模擬授業をします。最終日に全グループが模擬授業を体験します。

◆準備学修 理論と並行し、いかに良い授業をするかを構築するために個々のアイディアを活かし創意工夫をもって臨めるように準備学習を怠らないよう心掛けてください。

◆授業計画〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	午前 理論 学習指導案・評価・授業全般について 午後 グループの確定と指導案作成および準備
2日目	午前 グループ毎に代表指導の確認と模擬授業の準備 午後 模擬授業の練習といくつかのグループが模擬授業
3日目	午前 残りのグループによる模擬授業 午後 講評およびレポート作成

◆教科書 通材『英語科教育法Ⅱ T21000』 通信教育教材（教材コード 000490） 3,300円（送料込）
〈この教材は市販の『新しい時代の英語科教育の基礎と実践』JACET 教育問題研究会（SANSHUSHA）と同一です〉

※上記は平成27年度の価格です。平成28年度は価格改定が予定されています。平成28年4月1日以降に教材を購入する場合は、『部報』4月号にて改訂価格を確認の上、購入下さい。

※講座名は「英語科教育法Ⅲ」ですが、「英語科教育法Ⅱ」の教材を使用します。

◆参考書 丸沼『グローバル時代の英語教育—新しい英語科教育法』 成美堂 2,700円（税込）（送料300円）

◆成績評価基準 模擬授業と最終日でのリポートで評価

◆授業相談（連絡先）：

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆知一越境する

(生涯学習論)

開講単位：2 単位 担当者：上原 義正

◆**学修到達目標** 本講座では、生涯学習の理念と実践を事例を中心に学習します。また、グループワークとして生涯学習のプランニングを行い、各グループから 1 名を他のグループに入れ替え、知識の共有化を目指し、日本国憲法 11 条にある、享有すなわち enjoyment を基盤とした授業を展開をし、各種資格に関する指導も行います。

◆**授業方法** 授業方法に関しては、90 分の授業のうち、60 分を座学・質疑応答・配布物で行い、これを第 1 フェーズとし、第 2 フェーズとして、ネットや図書館を活用し、生涯学習のプランニングを実行します。時間割においては、受講生の疲労度を見ながら、調整するので、時間確保はしますが、休憩時間は若干前後します。飲食類は OK です。

◆**準備学修** テキストをじっくり読み、開講までの間に、5 つの質問を各人ともに用意すること。確認テストを行いますので、質問から作成するため、必ずこの約束を守ってください。

◆**授業計画** (1日目：480 分、2日目：510 分、3日目：360 分)

1 日目	第 1 章～第 4 章 (フェーズ 1) + グループワーク、質疑応答、生涯学習の事例、生涯学習のプランニング (フェーズ 2、グループワーク)、図書館めぐり
2 日目	確認テスト、第 5 章～第 9 章、人生を変える生涯学習の力第 5 章まで、生涯学習のプランニング (フェーズ 2)
3 日目	確認テスト、第 9 章～第 12 章、人生を変える生涯学習の力第 11 章まで、グループワークでの発表、レポート提出

◆**教科書** 丸沼『生涯学習概論』佐藤晴雄著 学陽書房 2,700 円 (税込) (送料 300 円)

丸沼『人生を変える生涯学習の力』小宮山博仁 立田慶裕編 新評論 3,024 円 (税込) (送料 300 円)

◆**参考書** 『一人だけの軍隊』デイヴィット・マレル 沢川進訳 早川書房

〈上記の本は品切れのため図書館等を利用してください〉

丸沼『清水次郎長』岩波書店 864 円 (税込) (送料 215 円)

英英辞典の入った電子辞書があると望ましい。

◆**成績評価基準** 態度 20%、プレゼン 50%、レポート 30%

◆**授業相談 (連絡先) :**

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
※授業相談 (連絡先) に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆ 開講講座表及び講座内容（シラバス）

東京
6月期

日 程	授 業 時 間	備 考
6月 4日	土 13:00~18:30	※時間内に昼休みを設けます。 ※「体育実技」は授業時間及び会場が異なります。本誌6ページを参照してください。
6月 5日	日 9:00~16:30	
6月 11日	土 13:00~18:30	
6月 12日	日 9:00~16:00 <試験も含む>	

※以下の6月期開講の講座から1講座を選択してください。

講 座 コード	開 講 講 座 名	担当講師名	充 当 科 目		併 用	制 限・注 意		受オ ープ 講ン			
			科 目 コ ー ド	科 目 名		配当 学年	受 講 条 件				
DBAA	心 理 学	須永 範明	B12100	心 理 学	1年	・履修条件あり（シラバス参照）					
DBAB	英 語	C 齊藤 雄介	C10100	英 語 I	1年	・ I ~ IV のいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。					
			C10200	英 語 II							
			C10300	英 語 III	2年						
			C10400	英 語 IV							
DBAC	体 育 実 技	高橋 正則	J101S0	体 育 実 技 I	×	・本誌6ページ参照 ・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。					
DBAD	国文学講義VI（現代）	渡邊 重人	M31000	国文学講義VI（現代）	2年						
DBAE	イギリス文学史 II	猪野 恵也	N30100	イギリス文学史 II	2年	・履修条件あり（シラバス参照）					
DBAF	英 語 音 声 学	森 晴代	N30600	英 語 音 声 学	2年	・履修条件あり（シラバス参照）					
DBAG	西 洋 思 想 史 I	関谷 雄磨	P20200	西 洋 思 想 史 I	2年	・哲学専攻のみ1学年以上申込可。 ・その他は2学年以上申込可。 ・履修条件あり（シラバス参照）					
DBAH	東 洋 史 入 門	須江 隆	Q302S0	東 洋 史 入 門	×	2年	・履修条件あり（シラバス参照）				
DBAJ	日 本 史 特 講 I	担当講師未定	Q30800	日 本 史 特 講 I		2年					
DBAK	経 濟 地 理 学	田村 和彦	R32600	経 濟 地 理 学	2年	・商学部のみ申込可。					
			S32200	経 濟 地 理	2年	・法・文理・経済学部のみ申込可。					
DBAL	国 語 科 教 育 法 I	品川 利幸	T20300	国 語 科 教 育 法 I	×	2年	・国文学専攻のみ申込可。 ・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。	×			
DBAM	自 然 地 球 学 概 論	山添 謙	T22300	自 然 地 球 学 概 論		2年	・法学部・史学専攻・経済学部のみ申込可。				
DBAN	英 語 科 教 育 法 IV	岡田 善明	T30400	英 語 科 教 育 法 IV	×	2年	・英文学専攻のみ申込可。 ・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。				

注 意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。

その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講座内容（シラバス）

◆心理学の見方・考え方

〔心理学〕

開講単位：2 単位 担当者：須永 範明

◆学修到達目標 心理学は、人間のこころの働きを科学的に研究する学問です。この講義では、5つの領域（感覚・知覚、学習、記憶、思考、社会的行動）を取り上げます。学生の皆さんにはこれらの知見を学ぶことを通して、現代心理学の人間に対する見方・考え方につれていただきます。到達目標は、5つの領域の基礎的知識をいくつか説明することができ、心理学の観点をおおまかに述べることができます。

◆授業方法 もっぱら講義の形式を取ります。ときおり簡単なデモンストレーションを交えて説明することがあります。また、図や表を含んだ資料を適宜配布します。なお、パワーポイントやビデオを用いることもあります（使用可能な機器・設備の事情によってはできないこともあります）。

◆準備学修 心理学は科学の1つです。授業では専門的な概念や学術用語が数多く登場します。事前に、指定の教科書や参考書、あるいは市販の心理学の入門書を読み、授業内容や専門用語に触れておくことが望ましいです。

◆履修条件 平成27年度東京スクーリング（5月期）第3期「心理学」との積み重ね不可。

◆授業計画〔1日目・3日目：300分、2日目：390分、4日目：360分〕

1日目	オリエンテーション、心理学の特徴、感覚と知覚 ※まず、この授業の内容・進め方を説明します。次に、科学である心理学の定義、特質、主たる研究領域を解説します。続いて、1つ目の主要な領域として感覚と知覚を取り上げます。感覚と知覚は「周囲の世界を知る」働きです。感覚・知覚の仕組みと特徴的な現象を学ぶことを通して、「周囲の世界を知る」とはどういうことかを考えます。
2日目	記憶と学習の種類、機能、仕組み、日常における記憶と学習 ※記憶にはいくつかの種類があることと、それらは働きと仕組みが異なることを学びます。日常生活で経験する記憶に関する現象（のどまで出かかる現象、目撃の記憶、偽りの記憶）についても学びます。また、条件づけと社会的学習について学び、新たな行動をどのように獲得するのかを考えます。
3日目	思考、表象機能、概念、推理、創造的思考、思考の歪み ※問題解決的思考とはどういうものか、思考と言葉、概念とはどのように関わるのか、あらたなものを産み出す創造的思考とはどのようなものかを学びます。また、人間の持つ合理的でない思考について理解を深め、私たちの思考に潜む「落とし穴」のリスクとその回避策を考えます。
4日目	社会的行動、他者の存在の影響、対人認知 ※他者が存在する状況での人間の行動について学びます。私たちは他の人からどのような影響を受けているのか、また、他の人をどのように知覚し、推測しているのかについても理解してゆきます。これらの知覚・認知、影響について、他者との関わりの基礎となっているという視点から考えます。

◆教科書 因沼『心理学への招待〔改訂版〕 こころの科学を知る』梅本堯夫・大山正 編著 サイエンス社
2,700円（税込）（送料350円）

◆参考書 指定しませんが、授業の中で適宜紹介します。

◆成績評価基準 平常点（50%）と試験（50%）に基づいて評価します。毎回出席することは前提となります。授業中に簡単な課題を課す予定です。その提出が平常点となります。

◆授業相談（連絡先）：

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆基礎的な英文法を学ぶ TOEIC の Reading Part を教材として 【英語 C】

開講単位：1 単位 担当者：齊藤 雄介

◆学修到達目標 本科目では、TOEIC の Reading Part を教材として基礎的な英文法を学習することを目的とします。基礎的な英文法を理解することは、英語の技能を全体的に向上させることにつながります。

◆授業方法 受講者には基本的に 1 人 1 問ずつ問題に解答し、その英文の意味を考えてもらいます。

◆準備学修 テキストを事前配布します。できる限り構いませんので、問題に解答し、各英文の意味を自分なりに考えておいてください。

◆授業計画 【1 日目・3 日目：300 分、2 日目：390 分、4 日目：360 分】

1 日目	ガイダンスの後、Unit 1 から内容に入ります。
2 日目	前回からの続き
3 日目	前回からの続き
4 日目	前回からの続き→自習時間→試験

◆教科書 丸沼『Basic Reading for the TOEIC Test (SEIBIDO) (TOEIC テスト・リーディング基礎編)
972 円（税込）（送料 215 円）

◆参考書 英和辞典を毎回持参してください。

◆成績評価基準 授業への取り組み（発表の内容）及び試験の結果を総合的に評価します。

◆授業相談（連絡先）：

◆運動・スポーツに親しむ

【体育実技】

開講単位：1 単位 担当者：高橋 正則

◆学修到達目標 高齢社会を迎え、健康・体力の維持増進の必要性はますます重要になってきています。この授業では、運動・スポーツの実践を通して、その楽しさや重要性を認識し、適度な運動習慣を日常生活習慣に取り込んでいくための基盤づくりをねらいとしています。

◆授業方法 原則として天候に左右されない体育館での授業とし、小グループで色々な運動やスポーツ（卓球やバドミントンなどのネット型競技を中心）を体験しますが、年齢相応、体力相応の参加の仕方を理解します。また、体力測定を通して、体力の現状を自覚し、その維持増進についての認識を高めます。

◆準備学修 1 日 20 分以上の連続歩行と、軽い柔軟運動の実施を心がけてきてください。

◆授業計画 【1 日目・3 日目：300 分、2 日目：390 分、4 日目：360 分】

1 日目	ガイダンス（施設の使用方法および注意事項等）、グループ分け、準備運動、レクリエーション、体力測定（握力、長座体前屈、上体起こし、反復横跳び等）、自己評価、体力の維持増進についての解説
2 日目	班別スポーツ種目の展開（1）卓球・バドミントン・ミニテニス・バレーボール等 班別スポーツ種目の展開（2）卓球・バドミントン・ミニテニス・バレーボール等 (施設等の事情により、スポーツ競技が変更となる場合があります)
3 日目	班別スポーツ種目の展開（3）卓球・バドミントン・ミニテニス・バレーボール等 (施設等の事情により、スポーツ競技が変更となる場合があります)
4 日目	班別スポーツ種目の展開（4）卓球・バドミントン・ミニテニス・バレーボール等 班別対抗ソフトバレー大会 (施設等の事情により、スポーツ競技が変更となる場合があります)

◆教科書 特になし。

◆参考書 特になし。

◆成績評価基準 授業への取り組みおよび自己の体力に合った運動への理解と遂行の程度によって総合的に評価します。

◆授業相談（連絡先）：

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆伝奇的想像力に触れよう

〔国文学講義VI（現代）〕

開講単位：2単位 担当者：渡邊 重人

◆学修到達目標 具体的な学修到達目標は以下のとおりです。1. 現代文学における伝奇的想像力について説明できる。
2. 現代文学における伝奇的想像力が文化装置の枠を越えることについて事例を挙げて説明できる。

◆授業方法 小説の講読と分析・考察を中心とした講義形式で授業を行いますが、レスポンス・ペーパーによる履修者との意見交換を予定しています。

◆準備学修 図書館等で閲覧可能な文献については、予習として一読することを勧めます（なお、日程の都合上、授業で言及するのは全編ではなく、抽出した部分となります）。また、16世紀後半から17世紀初頭の日本史、1940年代～1960年代の時代状況を年表等である程度踏まえておくと分析・考察の参考になります。

◆授業計画〔1日目・3日目：300分、2日目：390分、4日目：360分〕

1日目	伝奇的想像力の水脈について理解を深めるI ※神話、伝説から現代文学へと受け継がれる伝奇的想像力の水脈を概観します。
2日目	伝奇的想像力の水脈について理解を深めるII ※剣豪小説や〈忍法帖〉ブームを題材に、現代文学における伝奇的想像力について検討します。
3日目	柴田鍊三郎『柴鍊立川文庫』シリーズを読む ※現代文学に継承された〈敗者〉のネットワークについて考察します。また、伝奇的想像力の背景にある〈正邪〉の観念についても検討します。
4日目	五味康祐『柳生武芸帳』を読む ※柳生一族と新陰流を題材に、現代文学の伝奇的想像力が他ジャンルの文化装置に与えた影響について考察します。

◆教科書 当日資料配布 使用しません（当日プリントを配布します）。

◆参考書 授業時に適宜紹介します。

◆成績評価基準 試験（50%）提出物（25%）授業時の積極性（25%）。※4日目に試験を実施します。

◆授業相談（連絡先）：

◆18世紀の英文学からヴィクトリア朝時代まで

〔イギリス文学史II〕

開講単位：2単位 担当者：猪野 恵也

◆学修到達目標 18世紀の英文学からヴィクトリア朝時代までの代表的な作家について知る。

◆授業方法 レジュメを配布し、それらを読み上げてゆく。

◆準備学修 取り上げる作品を翻訳でもいいので一つでも多く読んでおいて欲しい。

◆履修条件 平成28年度夜間スクーリング（春期）との積み重ね不可。

◆授業計画〔1日目・3日目：300分、2日目：390分、4日目：360分〕

1日目	18世紀の英文学概観 /WordsworthとColeridge/John Keats/ Jane Austen <i>Pride and Prejudice</i>
2日目	Charlotte Bronte <i>Jane Eyre</i> / Emily Bronte <i>Wuthering Heights</i> Charles Dickens <i>Oliver Twist</i> /Thackeray <i>Vanity Fair</i>
3日目	George Eliot <i>Middlemarch</i> / George Meredith <i>The Egoist</i> Thomas Hardy <i>Tess</i> / Henry James <i>The Portrait of a Lady</i>
4日目	Joseph Conrad <i>Heart of Darkness</i> /Oscar Wilde <i>The Picture of Dorian Gray</i> / E.M.Forster <i>Howards End</i> / 試験

◆教科書 当日資料配布 当日レジュメ配布。

◆参考書 授業中指示する。

◆成績評価基準 試験 70% 平常点 30% 皆出席を前提とする。

◆授業相談（連絡先）：

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆英語音声の基礎理解

〔英語音声学〕

開講単位：2 単位 担当者：森 晴代

- ◆学修到達目標 1. 日本語との違いを意識し、英語の発音の特徴及び発音記号を理解する。
2. 英語のスペルと発音のずれに意識を置き、正確な発音を目指す。
3. 発音記号からスペルに変換できる能力をつける。

◆授業方法 英語音声学の観点から母音、子音の説明を行い、項目ごとに小テストを課して習熟度を確認します。テクストには専門用語が数多く出てくるので、前もって読んでおいてください。必要に応じてプリントを配布し補足説明します。クラス全体の人数を見ながら 8 名から 10 名のグループを作り、発音練習の取り組みやプリント作成など協力しながら進めていきます。全員参加型の授業を目指します。

◆準備学修 たった四日間で一つの学問を習得することは至難の技です。授業は必然的に内容が詰め込まれ、プリントの枚数や発音練習が多くなります。最終目的は発音記号を正確に読める力を持つことです。辞典を引くとき発音記号を意識して見るようにしておきましょう。授業には必ず辞典を持参してください。

◆履修条件 平成27年度夏期スクーリング「英語音声学」との積み重ね不可。

◆授業計画〔1日目・3日目：300分、2日目：390分、4日目：360分〕

1日目	コミュニケーションにおける音声、発声器官の名称説明、Phonics に関するプリント配布及び解答 英語の母音について（前舌母音、中舌母音、後舌母音、二重母音） 発音練習（単語、文）母音確認プリント配布 小テスト
2日目	母音の説明続き 母音確認プリント解答 英語の子音について（阻害音、鼻音、接近音、子音連続） 発音練習（単語、文）子音の確認プリント配布 小テスト
3日目	子音の説明続き 子音の確認プリント解答 語強勢と文強勢の説明 小テスト
4日目	語強勢と文強勢の説明続き 文章音読 小テスト

◆教科書 丸沼『A Way to Better English Pronunciation- 英語の発音、リスニング、スピーキングへの近道』
池田紅玉、森晴代著 英潮社フェニックス 2009年 2,376円（税込）（送料 215円）
〔当日資料配布〕他、当日配布のプリント有り。

◆参考書 丸沼『英語の音声を科学する』川越いつえ著 大修館書店 新装版 CD付 2,592円（税込）（送料 300円）
*授業では使用しません

◆成績評価基準 平常点（20%）、小テスト（20%）、試験（60%）毎回出席することを前提として評価します。

◆授業相談（連絡先）：

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆古代ギリシアの思想（古典期まで）

〔西洋思想史Ⅰ〕

開講単位：2単位 担当者：関谷 雄磨

◆**学修到達目標** 西欧の学問の原点ともいえる古代ギリシアの思想を、その歴史的な展開に沿って学びます。なお、単に思想史の知識を情報として得るだけでなく、現代人であるわれわれが、時間的にも空間的にも遠く隔たった古代ギリシアの思想を学ぶことなどどのような意味があるのかという点にも留意します。それによって、ますます価値観が多様化する時代を生きる上で知っておくべき、西洋の基礎的な古典的教養を身につけることを目標とします。

◆**授業方法** 授業は配布プリントに沿って講義形式で行います。本講座では、いわゆる古典期までのさまざまな思想家（さらには、神々や英雄たち）が登場しますが、理論としての思想だけではなく、それぞれのエピソード、人物像などをできるだけ紹介し、なるべくアリティーのある授業を行いたいと思います。

◆**準備学修** 特に必要ありませんが、お手元にある通信教育部教材『西洋思想史Ⅰ P20200』の該当箇所を読んでおくとよいでしょう。

◆**履修条件** 平成27年度東京スクーリング（5月期）第3期「西洋思想史Ⅰ」（関谷担当）との積み重ね不可。

◆**授業計画** [1日目・3日目：300分、2日目：390分、4日目：360分]

1日目	ガイダンス、古代ギリシアについての一般的説明、古代ギリシア神話、英雄たちの物語
2日目	ミレトス学派、ピュタゴラスおよびピュタゴラス学団、ヘラクレイトス、エレア学派
3日目	多元論者とデモクリトス、ソフィストたち、ソクラテス
4日目	プラトン、アリストテレス、総まとめ、試験

◆**教科書** [当日資料配布] 当日プリント配布。

◆**参考書** 通信教育教材『哲学』でも使用されている『西洋思想の要諦周覧』（嘉吉純夫・齋藤隆共編、北樹出版）授業は配布プリントを用いて行いますが、この本は授業の理解を助けるものとして大変有益です。

◆**成績評価基準** 小テスト、試験、出席によって総合的に評価します。小テストについてはガイダンス時に説明します。

◆**授業相談（連絡先）** :

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆様々な史料群から中国史を読み解こう

〔東洋史入門〕

開講単位：2 単位 担当者：須江 隆

◆学修到達目標 東洋史入門の授業では、東洋史研究の方法の修得が最大の目標となります。但し東洋史に限ったことではありませんが、方法の習得にあたって、中でも最も重要なのが、史料を如何に操作するかという点です。そこで今年度のこの授業では、中国史研究における史料群に焦点を当て、最も重要かつ基本となる史料の読み解き・解析手法に習熟することを目標とします。授業を通じて、漢籍史料解析の面白さや魅力にも気づくはずです。

◆授業方法 なるべく実際に、様々な史料に直に触れられるような機会を提供しながら、授業を行う予定でいます。基本的に講義形式で進めていきますが、能動的学修を促すために、中国史に関わる基本史料の読み解きを実習してもらったり、授業中に発言を求めたりすることもあります。

◆準備学修 事前に中国史の全体像をある程度把握し、関連する基礎的知識を持っていると、授業の理解が深まります。学習の準備として、『東洋史概論 K32300／東洋史概説 Q30300』（通信教育教材）や高等学校で使用している教科書「世界史 B」の中国史関連部分を熟読しておくと、授業の理解が深まります。

◆履修条件 平成 24 年度夏期スクーリング「東洋史入門」との積み重ね不可。

◆授業計画〔1日目・3日目：300 分、2日目：390 分、4日目：360 分〕

1日目	授業ガイダンスとアンケート、史料とはなにか、中国史研究における史料 ※今回の東洋史入門の授業を受けるに当たって、授業担当者の経験談を語ります。次に、史料となるものを列挙・分類して解説し、歴史学研究において史料が如何なる役割を果たしているのかについても学びます。
2日目	史料を読むために、図像史料を読み解く ※中国史研究に即して、史料読み解きに要する工具書類の解説をし、史料解釈上注意すべき点やその実際を学びます。また、中国史関連史料を分類して紹介し、漢籍史料を収集する方法も解説します。加えて、絵図や地図などの史料を用いて、様々な過去の情報を読み解いていきます。
3日目	石刻史料を読み解く、文字史料を読み解く ※墓誌銘や碑文などの刻石された史料を分類・紹介し、そこから様々な過去の情報を引き出すことを実践します。次に、主として書籍化された文字史料用いて、史料解析を実践します。
4日目	史料を解析して論文を書く、授業全体の総括、授業アンケート、筆記試験 ※実際に史料を解析した成果が、どのように論文に結実していくのかを学びます。授業を総括した後、最後に筆記試験を実施し、4日間の学習の成果を確認します。

◆教科書 (当日資料配布) 当日プリント配付。

◆参考書 通材『東洋史概論 K32300／東洋史概説 Q30300』 通信教育教材 (教材コード 000146)
1,800 円 (送料込)

※上記は平成 27 年度の価格です。平成 28 年度は価格改定が予定されています。平成 28 年 4 月 1 日以降に教材を購入する場合は、『部報』4 月号にて改訂価格を確認の上、購入下さい。

丸沼『中国歴史研究入門』礪波護 岸本美緒 杉山正明編 名古屋大学出版会 4,104 円 (税込)
(送料 350 円)

丸沼『新字源 改訂版』小川環樹 赤塚忠編 西田太一郎編 角川書店 2,592 円 (税込) (送料 350 円)

◆成績評価基準 筆記試験 (70%)、授業への参加・貢献 (平常点) (30%) により総合的に評価します。

◆授業相談 (連絡先) :

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
※授業相談 (連絡先) に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。



〔日本史特講 I 〕

開講単位：2 単位

担当者：担当講師未定

◇当該講座のシラバスは、下記のとおり追ってお知らせします。

東京スクーリング（6月期）で当該講座を申し込む場合は、シラバスの告知後に申込むことをおすすめします。

◇シラバス告知

『部報』4・5月号にてお知らせします。

◆成熟社会の中の経済地理学

〔経済地理学／経済地理〕

開講単位：2 単位 担当者：田村 和彦

◆学修到達目標 日本経済は少子高齢化・グローバル化・情報化の中にある、経済地理学の在り方を考える。

◆授業方法 講義方式。

◆準備学修 テキストを読んで十分に予習をすること。

◆授業計画〔1日目・3日目：300分、2日目：390分、4日目：360分〕

1日目	経済地理学の定義。経済活動の空間について。空間の普遍性と固有性について。
2日目	成熟社会とは何か。消費者から生活者へ。生活空間と経済空間—コミュニティ。
3日目	生活者としての個人と経済活動の関連について。既存の経済地理学との相違について。
4日目	成熟社会とアメニティについて。成熟社会における経済活動とその高度化の意味について。

◆教科書 通材『経済地理学 R32600／経済地理 S32200』 通信教育教材（教材コード 000233）
2,050円（送料込）

※上記は平成27年度の価格です。平成28年度は価格改定が予定されています。平成28年4月1日以降に教材を購入する場合は、『部報』4月号にて改訂価格を確認の上、購入下さい。

◆参考書 なし。

◆成績評価基準 最終筆記試験。

◆授業相談（連絡先）：

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆理論と実際

〔国語科教育法Ⅰ〕

オープン受講：不可 開講単位：2単位 担当者：品川 利幸

◆学修到達目標 「理論と実際」を骨子に据え、関係法規を照合しつつ『国語科教育法Ⅰ』に説かれる内容を講義する。理論面として教科書巻末の「学習指導要領」などから国語教育の実際にについて把握する。次にはその理論を『国語総合』の教科書の上に確かめ、それらがどのように反映されているかを捉え、具体的な教材に即して国語教育の現場で求められる指導力とは何かを考察する。

◆授業方法 初日の理論を基に2日目から模擬授業を実施し、具体的な展開例から議論を重ね、指導法の適否について考察する。併せて学習計画、学習指導案の実際にについて検討する。高校1年生を対象とする『国語総合』に於ける、各ジャンルの指導を現場に即応した内容を基軸に、国語科指導の核となる、話すこと・聞くこと、書くこと、読むことの事柄を確認して行きたい。具体的には、現代文・古文・漢文の模擬授業を演習形式で行い、その適否について質疑と討論を重ね考察を加える。また、教育実習を想定した取り組みについても取り上げたい。

◆準備学修 事前課題として『国語総合』80頁～「わたしが一番きれいだったとき」を1時間で配当する前提で、学習指導案を作成し、スクーリング初日に提出しなさい。また、『国語総合』から本シラバスに提示する現代文・古文・漢文の三分野9教材について、模擬授業を想定した時案を立ててみるなど、どの分野、教材にでも対応できるよう、展開例を準備しておきたい。

◆授業計画〔1日目・3日目：300分、2日目：390分、4日目：360分〕

1日目	(1) ガイダンス・グループ編成・模擬授業の分担 (2) 模擬授業展開上の留意点・質疑・指導案の作成・模擬授業展開例(DVD) (3) 国語科教育法Ⅰ講義・教育実習を想定して
2日目	(1) 現代文 小説「羅生門」(18頁～) (2) 古文 物語「かぐや姫の昇天」(220頁～) (3) 漢文史伝「晏子の御」(290頁～) (4) 現代文 評論「二十世紀の自画像」(156頁～)
3日目	(1) 古文 説話「児のそら寝」(192頁～) (2) 漢文 故事「塞翁馬」(286頁～) (3) 現代文隨筆「エローラの像」(10頁～) (4) 事前課題「わたしが一番きれいだったとき」の検討
4日目	(1) 古文 隨筆「龜山殿の御池に」(206頁～) (2) 漢文 漢詩「香炉峰下～」(304頁～) (3) ディベート・学習ゲーム(DVD)の紹介 (4) 試験

◆教科書 **通材**『国語科教育法Ⅰ T20300』 通信教育教材 (教材コード 000469) 2,650円 (送料込)
<この教材は市販の『新版 中学校・高等学校 国語科教育法』野地潤家・湊吉正(おうふう)と同一です>
※上記は平成27年度の価格です。平成28年度は価格改定が予定されています。平成28年4月1日以降に教材を購入する場合は、『部報』4月号にて改訂価格を確認の上、購入下さい。

丸沼『国語総合』高校1年教科書 教育出版 17教出 国総309 880円 (税込) (送料300円)

◆参考書 国語・古語・漢和の各辞書はもとより、任意に、国語科基本用語辞典を備えたい。

◆成績評価基準 毎回出席することを前提に、受講状況(30%)、提出物(20%)、試験(50%)により総合的に評価します。

◆授業相談(連絡先)：

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
※授業相談(連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆人間にとての自然環境

〔自然地理学概論〕

開講単位：2 単位 担当者：山添 謙

◆**学修到達目標** 「地理」の授業展開における「自然地理学」の知識や考え方の活用方法について考察することができることを目標とする。具体的には、環境の成り立ちを理解した上で、人間にとての自然環境について考察する。

◆**授業方法** 教材を提示しながら、必要に応じ資料を活用して授業を展開する。また、地理情報を読み取るための地形図をはじめとする図表類の読み取りや、作成作業を通して理解を深める。

◆**準備学修** 太陽－地球との関係、地球の運動など、惑星としての地球に関する中学校理科の学習内容について、事前に復習をしておいてください。「太陽の日周運動」と「太陽の年周運動」について必須です。

◆**授業計画** [1日目・3日目：300分、2日目：390分、4日目：360分]

1日目	環境のとらえ方：環境とは何か、人間にとての環境について、人間と環境との相互作用。人間の生活空間としての地球：地球システムの構造、太陽・月・地球。プレートテクトニクスと地形：プレートの成り立ちと運動。プレート境界の種類と活動。世界の地形。
2日目	気候システムとは何か：地球の熱収支、地表面における太陽エネルギーの分布と変化。大気大循環。 気候とは何か：気候要素の特徴（気温、降水量）、代表的な気候因子。 気候区分：世界の気候区。局地的な気候。
3日目	世界の植生・土壤：植生・土壤の位置づけ、植生のとらえ方。世界の植生分布。土壤のとらえ方。世界の土壤分布。気候・植生・土壤。生態システムとしての自然環境。
4日目	現代世界の諸課題と自然地理学：地球環境問題、自然災害。 自然地理学における地理的技能の活用：地形図、気候データ等の活用。

◆**教科書** **【当日資料配布】** 当日資料を配付します。
高等学校地理歴史科の地図帳（試験にも用います）。

◆**参考書** **通材**『自然地理学概論 T22300』 通信教育教材（教材コード 000236） 2,300円（送料込）
※上記は平成27年度の価格です。平成28年度は価格改定が予定されています。平成28年4月1日以降に教材を購入する場合は、『部報』4月号にて改訂価格を確認の上、購入下さい。
丸沼『自然地理学概論』 朝倉書店 3,564円（税込）（送料300円）

◆**成績評価基準** 毎回出席をすることを前提に評価する。評価は試験70%、提出物30%とする。

◆**授業相談（連絡先）：**

◆第二言語習得研究理論からの英語指導

〔英語科教育法Ⅳ〕

開講単位：2 単位 担当者：岡田 善明

◆**学修到達目標** Rod Ellis著 Second Language Acquisition を輪読し、第二言語習得研究の観点から、中学・高校の英語教育における指導法を考え、指導法を確立する。特に英語指導を学習者の中間言語の発展的育成として捉え、コミュニケーション能力の指導の在り方を考えていく。

◆**授業方法** 予習として各章を読み、授業では順番に学生が内容を発表し（英語か日本語）、内容に関して討論を行う。また模擬授業を行い、学習した内容を踏まえた実際の指導法を身に着ける。

◆**準備学修** 授業で行うページを必ず予習し、授業での討論に備える。

◆**授業計画** [1日目・3日目：300分、2日目：390分、4日目：360分]

1日目	オリエンテーション 1. Introduction: describing and explaining L2 acquisition
2日目	2. The Nature of Learner Language 3. Interlanguage
3日目	4. Social aspect of interlanguage ビデオによる授業研究 模擬授業準備
4日目	模擬授業 試験

◆**教科書** **事前資料送付** ワークシート

丸沼『英語教育の精神と実践』岡田善明 春風社 1,944円（税込）（送料300円）

通材『英語科教育法Ⅳ T30400』 通信教育教材（教材コード 000227）2,850円（送料込）

〈この教材は市販の『Second Language Acquisition』Rod Ellis（三善 OXFORD University Press）と同一です〉

※上記は平成27年度の価格です。平成28年度は価格改定が予定されています。平成28年4月1日以降に教材を購入する場合は、『部報』4月号にて改訂価格を確認の上、購入下さい。

◆**参考書** 授業で紹介。

◆**成績評価基準** 輪読、模擬授業、試験等で総合的に評価する。

◆**授業相談（連絡先）：**

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆ 開講講座表及び講座内容（シラバス）

東京
7月期

日 程		授 業 時 間	備 考
7月 2日	土	13:00 ~ 18:30	※日曜日は時間内に 昼休みを設けます。
7月 3日	日	9:00 ~ 16:30	
7月 9日	土	13:00 ~ 18:30	
7月 10日	日	9:00 ~ 16:00 <試験も含む>	

※以下の7月期開講の講座から1講座を選択してください。

講 座 コード	開 講 講 座 名	担当講師名	充 当 科 目		併 用	制 限・注 意		受オ ープ 講ン		
			科 目 コ ー ド	科 目 名		配当 学年	受 講 条 件			
DAAA	美 術 史	森下 和貴子	B11400	美 術 史		1年				
DAAB	経 済 学	田村 和彦	B11800	経 済 学		1年				
DAAC	英 語	D アレックス ブラウン	C10100	英 語 I		1年	・ I ~ IV のいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	×		
			C10200	英 語 II						
			C10300	英 語 III		2年				
			C10400	英 語 IV						
DAAD	商 法 III	金澤 大祐	K30700	商 法 III		2年		×		
DAAE	労 働 法	新谷 真人	K31300	労 働 法		2年				
DAAF	地 方 自 治 論	山田 光矢	L30800	地 方 自 治 論		2年				
DAAG	漢 文 学 I	青木 隆	M31500	漢 文 学 I		2年				
DAAH	イギリス文学史 I	鈴木 ふさ子	N20100	イギリス文学史 I	条件 参 照	・ 英文学専攻のみ1学年以上申込可。 ・ その他は2学年以上申込可。 ・ 履修条件あり（シラバス参照）				
DAAJ	英 語 史	真野 一雄	N30300	英 語 史						
DAAK	英 語 学 特 殊 講 義	山岡 洋	N311S0	英語学特殊講義						
DAAL	哲 学 基 础 講 読	中澤 瞳	P20100	哲学基礎講読	条件 参 照	・ 哲学専攻のみ1学年以上申込可。 ・ その他は2学年以上申込可。				
DAAM	考 古 学 概 説	西野 吉論	Q30500	考 古 学 概 説						
DAAN	経 済 史 総 論	飯島 正義	R20200	経 済 史 総 論						
DAAP	貨 幣 経 済 論	藤本 訓利	R31900	貨 幣 経 済 論		2年		×		
DAAQ	簿 記 論 I	川野 克典	S20300	簿 記 論 I		2年				
DAAR	保 険 総 論	蟻川 滋	S30600	保 険 総 論		2年				

注 意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。

その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講座内容（シラバス）

◆名品でたどる美術史

〔美術史〕

開講単位：2単位 担当者：森下 和貴子

◆**学修到達目標** 飛鳥時代から鎌倉時代までの日本美術史について学びます。各時代を代表するような彫刻や絵画の名品を取り上げ、作品の技法や様式、作品が生み出された時代背景などを学ぶことにより、日本美術史の流れを理解することを目的とします。

◆**授業方法** 講義形式で行います。取り上げた作品が作られた時代の歴史を概説した上で、スクリーンに作品を映写しながら鑑賞のポイントを解説します。各自、作品を注意深く観察することにより、講義で指摘したポイントを自分の目で確認し理解することが重要です。

◆**準備学修** 飛鳥時代から鎌倉時代までの代表的な彫刻作品や絵画作品を、あらかじめ写真図版で確認しておくことを望みます。『美術史 B11400』（通信教育教材）に掲載されている図版はいずれも代表的作品です。よく観察しておいて下さい。

◆**授業計画** [1日目・3日目：300分, 2日目：390分, 4日目：360分]

1日目	オリエンテーション（時代区分、用語解説など） 仏像鑑賞のための基礎知識（インドにおける仏像の誕生について） 飛鳥時代の歴史と美術（法隆寺金堂釈迦三尊像、中宮寺天寿国縫帳、法隆寺夢殿救世観音像、法隆寺金堂四天王像など）
2日目	白鳳時代の歴史と美術（野中寺弥勒菩薩像、興福寺仏頭、高松塚古墳壁画など） 天平前期の歴史と美術（法隆寺五重塔塔本塑像、興福寺八部衆像など） 天平盛期の歴史と美術（東大寺法華堂不空羈索観音像、東大寺戒壇院四天王像、正倉院宝物など） 天平後期の歴史と美術（唐招提寺鑑真和尚像、唐招提寺金堂盧舍那仏像、聖林寺十一面観音像など）
3日目	平安前期の歴史と美術（神護寺薬師如来像、東寺講堂梵天像、仁和寺阿弥陀三尊像など） 平安後期の歴史と彫刻作品（同聚院不動明王像、平等院鳳凰堂阿弥陀如来像、平等院鳳凰堂雲中供養菩薩像など） 平安後期の絵画作品（源氏物語絵巻、信貴山縁起絵巻、伴大納言絵巻、鳥獸戯画など）
4日目	鎌倉時代の歴史と彫刻作品（興福寺北円堂無著・世親像、金剛峰寺八大童子像、西大寺觀音像など） 鎌倉時代の絵画作品（一遍聖絵、建長寺蘭渓道隆像、神護寺伝源頼朝像、高山寺明惠上人像など） 南北朝時代以降の日本美術史の流れ

◆**教科書** **〔当日資料配布〕**当日プリント配布

◆**参考書** 『美術史 B11400』通信教育教材（教材コード 000310）2,500円（送料込）
<この教材は市販の『カラー版 日本美術史』辻 惟雄監修（美術出版社）と同一です>

◆**成績評価基準** 4日間を通じて出席することを前提とし、平常点と筆記試験により総合的に評価します。

◆**授業相談（連絡先）：**

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆マクロ経済学

〔経済学〕

開講単位：2 単位 担当者：田村 和彦

◆学修到達目標 現代経済諸問題を考える基礎にしてもらいたい。

◆授業方法 講義方式。

◆準備学修 各自教科書で十分に予習をすること。

◆授業計画〔1日目・3日目：300分, 2日目：390分, 4日目：360分〕

1日目	経済学の定義。経済学研究の手続き。資本主義経済の定義。
2日目	現代資本主義の抱える諸問題について、「大きな政府」vs「小さな政府」。マクロ経済学の定義。国民所得の定義。
3日目	国民経済の構造と循環。国民所得と国民資本。国民所得の計算。GNP, NNP, GDP。
4日目	グローバル化と国民所得：GDP。景気循環について。

◆教科書 丸沼『経済学』瀬川浩・田村和彦編著 桜門書房 3,024円(税込)(送料300円)

通材『経済学 B11800』通信教育教材(教材コード000450) 1,950円(税込)

※上記は平成27年度の価格です。平成28年度は価格改定が予定されています。平成28年4月1日以降に教材を購入する場合は、『部報』4月号にて改訂価格を確認の上、購入下さい。

◆参考書 なし。

◆成績評価基準 最終筆記試験。

◆授業相談(連絡先)：

◆ English Communicatin Skills

〔英語 D〕

オーブン受講：不可 開講単位：1 単位 担当者：アレックス ブラウン

◆学修到達目標 In this course we will study, comprehend and use natural English dialogue from scenes of a popular movie. Big Fish, starring Ewan McGregor.

◆授業方法 We will use the scenes from the movie for listening comprehension, vocabulary usage and expansion with further practice of idioms and expressions used in the dialogue of the movie.

◆準備学修 Prepare to discuss comprehension questions provided by the teacher in a group format.

◆授業計画〔1日目・3日目：300分, 2日目：390分, 4日目：360分〕

1日目	Introduction, Movie viewing Scene 1 vocabulary study Scenes 1 & 2 comprehension questions and role play Scenes 3 & 4 vocabulary study Scenes 3 & 4 comprehension questions and role play
2日目	Movie viewing Scenes 5 & 6 vocabulary study Comprehension questions and role play Vocabulary quiz Scenes 7 & 8 vocab, comprehension questions and role play
3日目	7 & 8 Continued Scenes 9 & 10 vocab, comprehension questions and role play 9 & 10 Continued
4日目	9 & 10 Continued Vocabulary quiz #2 Review for Final Final Test

◆教科書 No text will be required. Students will be provided with handouts. Students are expected to bring a notebook and a folder to keep handouts in.

◆参考書 None.

◆成績評価基準 Grades will be based on participation, two quizzes, and a final test.

◆授業相談(連絡先)：

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
※授業相談(連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆企業取引の多様な決済手段

〔商法Ⅲ〕

オープン受講：不可 開講単位：2 単位 担当者：金澤 大祐

◆**学修到達目標** 本講義では、多様な決済手段に関する法知識、具体的には、古くからある手形・小切手のみならず、電子マネー、クレジットカード及び電子記録債権等新しい決済手段についての知識の習得を目的とする。また、多様な決済手段について、具体的なケースに即して、説明することができる目的とする。

◆**授業方法** 本講義は、講義形式で行う。本講義においては、現金、小切手、約束手形・為替手形等従来から利用されている決済手段のみならず、電子マネー、クレジットカード、電子記録債権等の最新の法制度まで幅広く取り扱うこととする。その理解のためにには、出席が必要不可欠である。また、漫然と講義に出席しているだけでは知識が身につかないため、講義時に適宜質疑応答を行い、毎回、論述式の小テストを行い、受講生の理解度を高める。民法を履修していることが望ましい。

◆**準備学修** 指定したテキストの該当部分につき、一読し、関連する条文を確認しておくこと。

◆**授業計画** [1日目・3日目：300分, 2日目：390分, 4日目：360分]

1日目	決済システムの意義と必要性等について学ぶ。 電子マネー・デビット・カード等の意義としくみについて学ぶ。 約束手形の意義と基本的なしくみについて学ぶ。
2日目	約束手形の流通を支えるシステムであるリコースとノン・リコース、手形取引の安全を図るシステムについて学ぶ。 約束手形によるファイナンスである、手形貸付、融通手形及び白地手形等を学ぶ。
3日目	クレジット・カードの意義としくみについて学ぶ。 電子記録債権の意義としくみについて学ぶ。 為替手形の意義としくみについて学ぶ。
4日目	銀行振込の意義と問題点について学ぶ。 相殺と交互計算の意義・目的について学ぶ。 ネットティングの意義と種類について学ぶ。

◆**教科書** **当日資料配布** 当日プリントを配布する。

丸沼『支払決済の法としくみ』 根田正樹=大久保拓也編 学陽書房 3,240円（税込）（送料300円）
通信教育部指定の六法（125ページ参照）9種類のうち、いずれか一冊は入手してください。

◆**参考書** **丸沼『手形・小切手判例百選（第7版）』** 神田秀樹=神作裕之編 有斐閣 2,376円（税込）（送料300円）

◆**成績評価基準** 小テスト（40%）、試験（60%）

◆**授業相談（連絡先）：**

◆ワークルールの基本を学ぶ

〔労働法〕

開講単位：2 単位 担当者：新谷 真人

◆**学修到達目標** 労働法は、生まれながらにして労働者保護を目的とした法律である。しかし、現実の労使関係においては、賃金未払い、長時間労働、不当な解雇などのトラブルが絶えない。本講義では、労働法の基礎を学ぶことによって、労使双方が守るべき労働法のルールを理解することを目標とする。

◆**授業方法** 労働基準法を中心とする個別労働法と、労働組合法を主体とした集団的労働法の両分野を教科書に沿って講義をする。新聞記事等の資料とDVD等の映像を活用して理解の手助けとする。

◆**準備学修** 下記の授業計画を参考に、教科書の該当箇所を一読してほしい。六法は小型でよいが、2012年に労働契約法や高年法が、また2015年には労働者派遣法が改正されており、新しいものを用意するのが望ましい。

◆**授業計画** [1日目・3日目：300分, 2日目：390分, 4日目：360分]

1日目	①第1章労働法の原理、②第2章労働基準法の理念と労働契約、③第3章就業規則と労働契約
2日目	④第4章配転・出向・転籍、⑤第5章賃金の保護、⑥第6-7章労働時間、休憩、休日、年次有給休暇
3日目	⑦第8章労働災害の予防と災害補償、⑧第9章女性・非正規労働者と労働法、⑨第10章雇用の終了
4日目	⑩第11章団結権保障と労働組合法、⑪第12章不当労働行為制度、⑫第13章団体交渉と労働協約、⑬試験

◆**教科書** **丸沼『労働法』** 新谷真人編 弘文堂 2,160円（税込）（送料300円）

◆**参考書** **丸沼『労働判例百選第8版』** ジュリスト増刊 有斐閣 2,674円（税込）（送料300円）

◆**成績評価基準** 最終試験（論述式）によって評価する。

◆**授業相談（連絡先）：**

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆地方創生の目的と現状を探る

〔地方自治論〕

開講単位：2単位 担当者：山田 光矢

◆学修到達目標 日本の地方自治制度が現在どのような方向に向かっていこうとしているのかを、21世紀の日本の地方自治制度改革の流れ、特に平成の大合併、小泉政権の三位一体の改革と道州制導入計画、民主党政権の地域主権改革、大阪維新の会の大大阪構想、安倍政権の地方創生などから分析していくことで、今後の日本の地方自治制度のあるべき姿に対する受講生それぞれの考えを確立していく。

◆授業方法 講義形式で行います。受講生の興味や問題意識を勘案して講義を進めていくので、こちらからの質問にはきちんと答えてください。また質問がある場合には積極的に発言してください。可能な限り相互の意見交換の中で講義を進め、受講生の知識を高めるとともに理解を深めていくことを目的とします。そのためにも、積極的な講義への参加を求めるながら講義を進めていきます。

◆準備学修 日本の地方自治制度改革の必要性とそのあるべき方向性に関する受講生の考えを確立してもらうことを目的にしています。特にこのスクーリングでは、現在行われている地方自治制度改革すなわち「地方創生」を中心に講義を進めていきますので、マスコミの地方行政に関する記事に目を通して、今行われている地方自治制度改革の実態や現状に関する知識をきちんと身に付けてきてください。

◆授業計画〔1日目・3日目：300分、2日目：390分、4日目：360分〕

1日目	日本国憲法と地方自治法の規定する地方自治制度 日本国憲法と地方自治制度 地方自治法と地方公共団体の種類と権能 昭和の大合併、全国総合開発計画、
2日目	地方分権一括法と自治分権改革 地方自治法の改正と新しい地方自治制度 小泉政権と三位一体の改革と道州制 民主党政権と地域主権改革
3日目	第二次安倍内閣と地方創生 地方創生政策誕生の背景 地方創生の概要 地方創生の対象（範囲）と政策の特徴
4日目	地方創生と地方公共団体 各省庁の地方創生策の特徴 地方公共団体の地方創生策の特徴 試験

◆教科書 〔当日資料配布〕必要に応じて配布します。

丸沼『地方自治論』山田光矢・代田剛彦編 弘文堂 2,160円（税込）（送料300円）

◆参考書 丸沼『政治学』山田光矢 弘文堂 2,160円（税込）（送料300円）

◆成績評価基準 試験を60%程度、小テストやリアクションペーパー等を20%程度、出席や受講姿勢等を20%程度として、総合的に判断して評価します。自主的にレポートを提出した場合には内容に応じて加点します。

◆授業相談（連絡先）：

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆三国志演義の名場面（張飛特集）

〔漢文学Ⅰ〕

開講単位：2単位 担当者：青木 隆

◆学修到達目標 1. 漢文を読むための漢和辞典の特徴を学び、使い方を習得する。

2. 小説『三国志演義』の本文を楽しみながら漢文訓読法を習得する。

3. 現代中国に通じる近世中国の人々のものの考え方、感じ方に触れる。

◆授業方法 1. 『三国志演義』を楽しむ上で必須の基礎知識を概説し、次に漢文訓読を学ぶのにふさわしい漢和辞典の使い方を紹介する。

2. 『三国志演義』の本文に取り組み、教室で実際に漢和辞典を駆使しながら漢文訓読法により読み下し文を作成する。一文ずつ、出席者に発表を求めつつ、漢文の意味用法について解説する。

3. 歴代の版画挿絵、現代中国のテレビドラマを用いて、『三国志演義』の魅力を解説する。

◆準備学修 特に必要ありませんが、岩波文庫版『完訳三国志』（全八巻）、平凡社版『三国志演義』（上・下）、講談社学術文庫版『三国志演義』（全四巻）のいずれかを読んでおいてくださいと助かります。授業では講談社学術文庫版を用いる予定です。

◆授業計画〔1日目・3日目：300分、2日目：390分、4日目：360分〕

1日目	『三国志演義』の基礎知識、漢和辞典および漢文訓読法について 『三国志演義』の名場面①桃園の誓い（第1回）
2日目	『三国志演義』の名場面②督郵を打つ（第2回）、『三国志演義』の名場面③酒で徐州を失う（第14回）、『三国志演義』の名場面④関羽との再会（第28回）
3日目	『三国志演義』の名場面⑤長坂の戦い（第42回）、『三国志演義』の名場面⑥馬超との死闘（第65回）
4日目	『三国志演義』の名場面⑦わら人形の張飛（第70回）、『三国志演義』の名場面⑧張飛の最期（第81回）。最終回でレポート提出。

◆教科書 **〔当日資料配布〕** 当日プリント配布。

◆参考書 教室に必ず漢和辞典をお持ちになってください。授業では『漢辞海（第三版）』（三省堂）を用います。参考書としてこれを推薦しますが、ふだんお使いの漢和辞典があれば、それを教室にお持ちください。

◆成績評価基準 Aコース（総振り仮名・総送り仮名・返り点・句読点つき）からGコース（句読点のみ）まで難易度の異なる7段階のコースを用意しました。漢文読み下しは全く初めてという方にも、かなり自信のある方にも、ご自分にあったコースをお選びいただくことができると思います。どのコースをどれだけ学習したかということと最終日に作成するレポートとによって成績を評価します。

◆授業相談（連絡先）：

◆イギリス文学を辿る—黎明期～シェイクスピア [イギリス文学史Ⅰ]

開講単位：2単位 担当者：鈴木 ふさ子

◆学修到達目標 黎明期からシェイクスピアの時代までの時代背景と思想を辿り、それぞれの時代を代表する作家について学び、その作品を鑑賞することによって、イギリス文学の基本的な知識を身につけます。また、文学とその時代のイギリス文化と社会との関わりについて理解を深め、最終的にはイギリス文学の魅力を知ってもらうことを目標としています。

◆授業方法 基本的には下記授業計画に沿って、テキストを中心に各時代の背景と思想を学びます。その後、代表的作家と作品をジャンル別（詩・散文・劇）に概観していきます。講義で重点的に扱う作家と作品についてはプリントを適宜配布し、映像なども利用して補足説明を行い、作品の抜粋部分を原文で鑑賞します。なお、鑑賞した作品についてコメントを求めます。

◆準備学修 第一日目の初めはイギリス文学史を学ぶ前の準備運動となるので、イギリス文学の特徴や代表的な作品には何があるのかを考えてきて下さい。下記シラバスに沿って授業で扱うテキストの章は熟読し、全体的な流れをつかんだ上で、各時代の特徴を把握し、その時代の代表的作家にはどのような人物がいるのかジャンル別に頭に入れてきて下さい。不明な用語は『英米文学事典』にあたるなどして調べておくようにしましょう。

◆履修条件 平成28年度昼間・土曜スクーリング（前期）「イギリス文学史」との積み重ね不可。

◆授業計画 [1日目・3日目：300分, 2日目：390分, 4日目：360分]

1日目	ガイダンス（イギリス文学への誘い）、プロローグ イギリス文学の黎明期（詩概説、ベオウルフなど）、第1章 チョーサーの時代（時代背景と思想、詩概説、チョーサーについて）
2日目	第1章 チョーサーの時代（劇概説、道德劇・散文概説、トマス・マロリー、アーサー王伝説）、第2章（シェイクスピアの時代 時代背景と思想、詩概説、スペンサー『妖精女王』・ソネットについて、シドニー、シェイクスピア）
3日目	第2章（シェイクスピアの時代 シェイクスピアの『ソネット集』の作品をいくつか読む）
4日目	第2章（シェイクスピアの時代 劇概説、シェイクスピアの初期悲劇）、これまでの総まとめ、試験

◆教科書 丸沼『はじめて学ぶイギリス文学史』ミネルヴァ書房 3,024円（税込）（送料300円）

◆参考書 丸沼『英米文学事典』ミネルヴァ書房 4,860円（税込）（送料460円）

丸沼『たのしく読めるイギリス文学』ミネルヴァ書房 3,024円（税込）（送料300円）

丸沼『映画で英詩入門』平凡社 1,404円（税込）（送料300円）

◆成績評価基準 全出席を前提に、以下のような割合で成績の評価をします。無遅刻・無欠席を前提に、授業に対する取り組み・積極性・発表（20%）・コメント（20%）・試験（60%）

◆授業相談（連絡先）：

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆英語の語形変化の単純さを知ろう

[英語史]

開講単位：2 単位 担当者：真野 一雄

◆**学修到達目標** 英文の読解力を高めるとともに、英語がどのような発達・変化を遂げて今日の姿になったか、歴史的な流れの基礎的な知識を修得し、説明できるようすることを目的とします。また、過去の歴史を振り返り、英語の未来の姿を想像してみましょう。

◆**授業方法** テキストIV章「語形論」を、『学習指導書』を併用しながら、読みます。テキストは私たちにとって必要な箇所を重点的に読みます。(下記に注記するところ以外はざっと目を通す程度でも結構です。)

◆**準備学修** テキスト第I章を予備知識として必要としますので、そこを読んでおくか、あるいは参考図書を読んでおいてください。テキスト(英文)を読み、『学習指導書』の間の解答を用意しておいてください。

◆**授業計画** [1日目・3日目：300分, 2日目：390分, 4日目：360分]

1日目	「名詞」特に不規則複数形のところを詳しく読みます。
2日目	「形容詞」「副詞」「代名詞」特に二人称代名詞のところは詳しく読みます。
3日目	「動詞」(1) 強変化動詞について記述されたところ(p.99)は特に詳しく読みます。
4日目	「動詞」(2) 弱変化動詞と不規則変化となった弱変化動詞のところは特に詳しく読みます。 試験+質疑応答

◆**教科書** 通材『英語史 N30300』 通信教育教材 (教材コード 000117) 2,600円(税込)(送料込)(※学修指導書付き)

◆**参考書** 丸沼『英語の歴史—過去から未来への物語』寺澤 盾著 中公新書 1971 842円(税込)(送料 215円)

丸沼『英語の歴史』中尾俊夫著 講談社現代新書 958 799円(税込)(送料 215円)

他多数 (※参考書は自学用で、授業中に参照することはありません。)

◆**成績評価基準** 受講状況(10%), 試験(90%)で評価。(試験は途中退出なしです)

◆**授業相談(連絡先)** :

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
※授業相談(連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆日英語の音を比較する

〔英語学特殊講義〕

開講単位：2単位 担当者：山岡 洋

◆学修到達目標 英語学の一分野としての英語音声学と英語音韻論がどのような学問分野であるかを学んだ上で、英語と日本語の音声がどのような点で異なり、どのような点で共通しているかを学ぶ。具体的には、最初に音声学と音韻論の違いを学び、その後で、単位の細かい順に、音素・音節・アクセント・リズム・イントネーションについて学んでいく。

◆授業方法 原則として、教員側からの講義の形式で行っていく。但し、教員側からできるだけ頻繁に学生側に対して疑問を投げ掛け、極力「双方向的な」授業にしていく。予めテキストには目を通しておくこと。

◆準備学修 下記に挙げる教科書・参考書に目を通しておくこと。4日間の短期スクーリングであるために課題などはあまり出せない。そのため、事前に予備知識を身に付けておくことが求められる。参考書は、図書館などで閲覧すればよく、敢えて購入したり、授業に持参したりする必要はない。

◆授業計画〔1日目・3日目：300分、2日目：390分、4日目：360分〕

1日目	ことばの仕組み 音声学・音韻論 発声の仕組み 母音と子音
2日目	音素・ミニマルペア 音節とモーフ 閉音節言語と開音節言語 聞こえ度・成節子音 アクセント 強弱アクセントと高低アクセント
3日目	語のアクセントと句のアクセント (CSR, NSR, CAR, ダウンステップ) 内容語と機能語 焦点
4日目	リズム 強勢拍リズムと音節拍リズム イントネーション 自習 試験・解説

◆教科書 丸沼『音声学・音韻論』日英語対照による英語学演習シリーズ1 窪薙晴夫 くろしお出版 1998
2,160円(税込)(送料300円)

◆参考書 『英語の発音と英詩の韻律』窪薙晴夫・溝越彰 英語学入門講座7 英潮社 1991
(上記の本は品切れのため図書館等を利用して下さい)
丸沼『現代の英語音声学』佐藤寧・佐藤努 金星堂 東京 1997 2,592円(税込)(送料300円)

◆成績評価基準 授業参加度(20%)、最終試験(80%)

◆授業相談(連絡先)：

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
※授業相談(連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆『知覚の現象学』序文を読む

〔哲学基礎講読〕

開講単位：2単位 担当者：中澤 瞳

◆**学修到達目標** 本講義の目標は、講読の基礎を習得するとともに、『知覚の現象学』序文を通して、現象学の基本的枠組みを理解することである。

◆**授業方法** 講義形式で行うが、参加者全員、順番にテクストを読み、テクストの理解に努める。一回につき、『知覚の現象学』(邦訳)の序文を、約6頁ずつ読み進める予定である。『知覚の現象学』の他にも、現象学の理解を深めるため、他の著作を使用する。

◆**準備学修** 事前に『知覚の現象学』序文を読んでも良いが、必ずしも必要ではない。

◆**授業計画** [1日目・3日目：300分, 2日目：390分, 4日目：360分]

1日目	テクストの読み方、要約の方法 『知覚の現象学』序文を読む
2日目	『知覚の現象学』序文を読む 授業内レポート 実施
3日目	『知覚の現象学』序文を読む
4日目	『知覚の現象学』序文を読む 授業内レポート 実施

◆**教科書** [当日資料配布] 授業で使用するプリントは第1日目に配布する。

◆**参考書** なし。

◆**成績評価基準** 2日目と4日目に行う授業内レポート(80%), 授業への参加、貢献(20%)により総合的に評価する。なお、毎回出席することを前提として評価する。

◆**授業相談(連絡先)** :

◆日本の遺跡を知ろう

〔考古学概説〕

開講単位：2単位 担当者：西野 吉論

◆**学修到達目標** 日本の考古学について学びます。旧石器時代、縄文時代、弥生時代、古墳時代、奈良時代、平安時代までの代表的な遺跡を知り、それらがどのように理解されているのかを学びます。

◆**授業方法** 講義形式にて行います。各時代の概要と代表的な遺跡の概略をテキストとプリントなどを用いて説明しています。

◆**準備学修** テキストをよく読むこと。

◆**授業計画** [1日目・3日目：300分, 2日目：390分, 4日目：360分]

1日目	考古学の対象とする時代とは(時代区分と時期区分、各時代の概要) 考古学の対象とする資料とは(遺跡、遺構、遺物について)
2日目	旧石器時代、縄文時代の主要な遺跡の概要 環状ユニット(環状ブロック群)、竪穴住居址、掘立柱建物址、陥し穴などの遺構や土器、石器などの遺物の種類を学んでいきます。
3日目	縄文時代、弥生時代の主要な遺跡の概要 環状集落、環状列石、環濠集落といった遺構群の姿から当時の社会について学んでいきます。
4日目	古墳時代、奈良・平安時代の主要な遺跡の概要 古墳、官衙、寺院などの政治・宗教に伴う遺構にはどのようなものがあるのかを知り、そこからわかる当時の社会を学びます。

◆**教科書** 通材『考古学概説 Q30500』 通信教育教材(教材コード 000510) 2,650円(送料込)

〈この教材は市販の『初めて学ぶ考古学』佐々木憲一他(有斐閣)と同一です〉

※上記は平成27年度の価格です。平成28年度は価格改定が予定されています。平成28年4月1日以降に教材を購入する場合は、『部報』4月号にて改訂価格を確認の上、購入下さい。

◆**参考書** 因沼『縄文の豊かさと限界』今村啓爾 日本史リブレット 山川出版社 800円(税込)(送料215円)

◆**成績評価基準** 授業内で行う小テスト20%, 試験80% (全日出席していることが受験の前提)

◆**授業相談(連絡先)** :

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
※授業相談(連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆封建制から資本制への移行

〔経済史総論〕

開講単位：2単位 担当者：飯島 正義

◆学修到達目標 前近代社会（原始社会・貢納制社会・奴隸制社会・封建制社会）の経済的特徴をつかむことによって近代資本制社会との違いについて、さらに前近代社会から近代社会への移行について理解を深めていくことを目標とする。

◆授業方法 講義形式。授業は当日配布するプリントを中心に進めていくが、授業時における理解を確認するために数回確認プリント等を行う予定である。

◆準備学修 通信教材で関係する部分を事前に読んでおいてほしい。また、授業内容が世界史と関連するので高校の世界史の参考書などを事前に読んでおくとさらに理解が深まると思われる。

◆授業計画〔1日目・3日目：300分、2日目：390分、4日目：360分〕

1日目	・前近代社会（原始社会・貢納制社会・奴隸制社会・封建制社会）と近代社会の違いについて ＊前近代社会の特徴と近代社会との違いについて学びます。
2日目	・西欧封建制社会の変容 ・地理上の発見と商業革命・価格革命、封建的危機、プロト工業化 ＊封建制社会の変容と近代社会への移行について学びます。
3日目	・資本制生産の3段階 ・イギリスの産業革命 ＊資本制生産の3段階とイギリス産業革命の過程と意義について学びます。
4日目	・後進資本主義国の産業革命 ・筆記試験 ＊後進資本主義国（ドイツ・アメリカ等）の産業革命について学びます。

◆教科書 **〔当日資料配布〕**教科書は使用しません。当日資料を配布します。

◆参考書 **丸沼**『経済史をやさしく学ぶ』石川治夫 中央経済社 2013年 2,808円（税込）（送料300円）
丸沼『エレメンタル欧米経済史』馬場哲也 晃洋書房 2012年 3,024円（税込）（送料300円）

◆成績評価基準 平常点（取組み・確認プリント等）：40%，筆記試験：60%

◆授業相談（連絡先）：

◆貨幣とマクロ経済の関係を学びましょう

〔貨幣経済論〕

オープン受講：不可 開講単位：2単位 担当者：藤本 訓利

◆学修到達目標 貨幣はどのように定義すれば良いのか、また貨幣（あるいは貨幣供給量・通貨供給量）がマクロ経済とどのような関係にあるのかについて知り、現実の経済の動きを貨幣面（貨幣経済論的な視点）から捉えることができるようになります。

◆授業方法 基本的には、通信教育の教材（「貨幣経済論 R31900」）に沿って、統計資料等を配付しながら、板書で講義を進めます。また、テーマごとに練習問題を行い、理解度を深めるようにします。

◆準備学修 指定した教材を事前に読んで来て下さい。また、教材の太文字の難しい経済用語については事前に調べておきましょう。

◆授業計画〔1日目・3日目：300分、2日目：390分、4日目：360分〕

1日目	貨幣の循環と金融、貨幣の本質と貨幣経済の特徴（1） ※まず財の種類について復習し、財・サービスと貨幣の流通（循環）について学びます。次に、貨幣の諸機能について説明し、貨幣がどのように定義されるか学びます。
2日目	貨幣の本質と貨幣経済の特徴（2）、貨幣の供給（1） ※貨幣の歴史、貨幣経済の特徴を学びます。また、現実に流通している貨幣量（マネーサプライ／通貨供給量）とマクロ経済の関係について学びます。
3日目	貨幣の供給（2） ※「マネーサプライとマクロ経済の関係」についての理論面（古典的貨幣数量説やフリードマンの新貨幣数量説など）を中心に学びます。
4日目	金融政策とマネーサプライ、筆記試験 ※「マネーサプライとマクロ経済の関係」に関連して、金融政策の目的や手段等について学びます。 最後の60分で筆記試験を行います。

◆教科書 **〔通材〕『貨幣経済論 R31900』** 通信教育教材（教材コード 000440） 1,500円（送料込）

※上記は平成27年度の価格です。平成28年度は価格改定が予定されています。平成28年4月1日以降に教材を購入する場合は、『部報』4月号にて改訂価格を確認の上、購入下さい。

◆参考書 なし。

◆成績評価基準 平常点（練習問題等40%）と筆記試験（60%）で総合的に評価します。

◆授業相談（連絡先）：

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆簿記論の基礎を学びましょう

〔簿記論Ⅰ〕

開講単位：2単位 担当者：川野 克典

◆**学修到達目標** 簿記は、企業の経営活動を記録、計算、整理して、その成果を報告するための記帳のシステムです。経営活動の究極の目的である利益は簿記の手続きにより算出されるので、経営者や管理者を目指す方にとって必須の科目と言っても過言ではありません。本講座では、初心者を対象にして、その簿記の基本的な手続きを理解することを目的とします。

◆**授業方法** 簿記を身につけるためには、ただ講義を聞いているだけでは駄目で、多数の計算問題を解く必要があります。授業中に計算問題を解いて頂きますので、必ず大きな電卓（スマートフォンの電卓機能は推奨しません）、鉛筆、消しゴムを用意してください。また、授業は一回でも欠席すると理解できなくなりますので、がんばって欠席しないようにしてください。

◆**準備学修** 準備学修は特に必要ありません。しかし、授業後の復習に十分な時間を割き、ワークブックの演習問題を分かれるまで解いてください。

◆**授業計画** [1日目・3日目：300分, 2日目：390分, 4日目：360分]

1日目	最初に簿記の基本的な仕組みを学びます。その後、簿記上の取引、勘定と仕訳の方法を学び、諸取引の処理の仕訳について学修します。第1日目は現金、商品売買、売掛金と買掛金の取引の仕訳を学修します。4日間のスクーリングの基本となる最も重要な講義になります。なお、4日間の内容は受講者の理解度により変更することがあります。
2日目	第1日目の簡単な復習をした後、第1日目に続いて、諸取引の処理を学修します。第2日目はその他の債権と債務、手形、有価証券、その他を予定しています。
3日目	第3日目は固定資産の処理について学修した後、貸借対照表や損益計算書を作成するための精算表について学びます。
4日目	いよいよ決算手続きを行い、精算表により、貸借対照表や損益計算書を作成し、最後にまとめを行います。精算表は受講者が最も理解に苦労する部分ですので、真剣に学んで欲しいと思います。なお、4日目の最後には試験を実施します。

◆**教科書** 当日資料配布 簿記論Ⅰ 資料

丸沼『新検定簿記講義（3級 商業簿記）』中央経済社 756円（税込）（送料300円）

丸沼『新検定簿記ワークブック（3級 商業簿記）』中央経済社 756円（税込）（送料300円）

※2冊で送料350円

◆**参考書** 日本大学会計学研究室『簿記の基礎第2版』中央経済社

◆**成績評価基準** 2/3以上の出席を前提に、試験（60%）、平常点（40%）で評価します。

◆**授業相談（連絡先）** :

◆保険を基礎から学ぶ

〔保険総論〕

開講単位：2単位 担当者：蟻川 滋

◆**学修到達目標** 保険の基本・本質を学ぶとともに社会経済環境の激変の中で保険業界が変貌を遂げようとしている姿を学びます。併せて、少子高齢社会にあって、民間生命保険、損害保険と年金、医療などの公的保険との関係についても学びます。この講義において学んだ保険の基礎知識をもって保険業の現状を理解する際の一助とすること、保険をより身近なものとするために自分で考える力を鍛えることを目標にしています。

◆**授業方法** 講義を中心とします。受講者数にもよりますが、受講者の質問を受けたり逆に質問をしたり、双方の授業を行います。また、課題をまとめる力を養うため、新聞等メディアの記事などを要約するレポート作成（800字）を行います。さらにテーマを決めて具体的にレポートの書き方を学びます。

◆**準備学修** 保険についての予備知識は一切必要ありませんが、保険・年金・医療に関する新聞等の情報は日頃から関心を持つように心がけてください。なお、指定した参考書や手持ちの参考書を事前に読んでおけば理解が深まります。

◆**授業計画** [1日目・3日目：300分, 2日目：390分, 4日目：360分]

1日目	・ガイダンス（保険に関して知っていることのアンケートを含む）・保険を理解するための視点 ・保険の仕組み、役割・なぜ生保と損保に分かれているのか・レポートの書き方（例一保険制度の成立条件等）
2日目	・保険の生成と発展・自助努力と生保・生保の普及背景と概要・金融機関としての生保 ・マスメディアの報道を読み解く（要約レポート提出）
3日目	・損保の基本・損保の概要・会社経営形態・コンプライアンス等・レポートの書き方（例一販売チャネル等）
4日目	・少子高齢社会と生損保・公的保険と私的保険・企業年金（拠出型）と個人年金保険・基本的保険用語の確認 ・テスト

◆**教科書** 当日資料配布 資料配付（当日）します。

◆**参考書** 丸沼『保険の知識（第3版）』真屋尚生著 日本経済新聞社 928円（税込）（送料215円）

◆**成績評価基準** テスト、授業への取組み（レポート等）により総合的に評価します。

◆**授業相談（連絡先）** :

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

III 地方スクーリング

1 開催地及び開講日程

開講期	開催地	日程	授業時間
6月期	札幌 山形 大阪	18日(土)	9:30~18:30
		19日(日)	9:00~18:30
		20日(月)	9:00~16:00 <試験も含む>
7月期	名古屋 福岡	16日(土)	9:30~18:30
		17日(日)	9:00~18:30
		18日(月)	9:00~16:00 <試験も含む>

※ いずれの日程も授業時間内に休憩時間を設けます。

※ 各期から1開催地1講座のみの申込みです。

2 実施会場

開催地別の会場は下表のとおりです。

会場における具体的な授業講堂は、受講生あてに通知にて事前にお知らせするとともに、授業開始初日に会場にて掲示します。

なお、各会場の使用にあたって、以下の事項に注意してください。

【注意事項】

- ・自家用車・バイクの通学を禁止します。
 - ・指定された場所以外での喫煙を禁止します。
 - ・各自、ゴミは持ち帰ってください。
- その他、会場の使用上の注意を守ってください。

開講期	開催地	会 場	会場案内
6月期	札幌	NTT 北海道セミナーセンタ	59 ページ
	山形	未定	未定
	大阪	近畿大学東大阪キャンパス	64 ページ
7月期	名古屋	愛知県産業労働センター ウインクあいち	68 ページ
	福岡	博多バスター ミナル(貸ホール)	71 ページ

※「会場」は後掲の「開講講座表、会場及び講座内容(シラバス)」に開催地別に掲載。

◆ 開講講座表、会場案内及び講座内容（シラバス）

地方 6月期 札幌

日 程	授 業 時 間		備 考
6月18日	土	9:30~18:30	※時間内に昼休みを設けます。
6月19日	日	9:00~18:30	
6月20日	月	9:00~16:00 <試験も含む>	

※開講式を初日の9時20分から行いますので参加してください。

※以下の講座から1講座を選択してください。

講 座 コ ー ド	開 講 講 座 名	担当講師名	充 当 科 目		併 用	制 限・注 意		受 オー プ 講 ン
			科 目 コ ー ド	科 目 名		配 当 学 年	受 講 条 件	
F8AA	国文学基礎講義	近藤 健史	M20100	国文学基礎講義		条件 参照	・国文学専攻のみ1学年以上申込可 ・その他は2学年以上申込可	
F8AB	スピーチコミュニケーションⅡ	リチャード キャラカー	N31000	スピーチコミュニケーションⅡ		2年		
F8AC	マーケティング	佐藤 稔	S30500	マーケティング		2年		

札幌

NTT北海道セミナーセンタ

札幌市中央区南22条西7丁目

札幌市電「幌南小学校前」徒歩3分
地下鉄南北線「幌平橋駅」徒歩15分
タクシー 札幌駅から約20分



注 意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。

その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講座内容（シラバス）

◆現地で北海道文学の特色と魅力を探る

〔国文学基礎講義〕

開講単位：2単位 担当者：近藤 健史

◆学修到達目標 北の大地に渡った作家たち、そして北海道に生まれた作家たちの文学の特色を探ることで、厳しくも豊かな風土のなかで誕生し、育まれてきた北海道の文学の魅力を味わう。そして明治にかけて近代北海道が形成されいく過程で現れ始めた文学者たちの多様な活動を考えることを目標とする

◆授業方法 授業の中心は講義形式であるが、国文学の「基礎」ということから、受講者に北海道ゆかりの作家・作品を一つ選び、「人物と文学活動」について報告してもらうという方法を取り入れる。なお、札幌市にある北海道立文学館、渡辺淳一文学館の校外学習も予定している。（受講生の人数により計画変更あり）

◆準備学修 北海道ゆかりの作家・作品を一つ選び、「人物と文学活動」について発表できるように調べて、発表資料（レジュメ）を作ってきてほしい。

◆授業計画〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	授業計画の説明 北海道ゆかりの文学者たち 北海道に渡った作家・作品 学生による報告
2日目	北海道に生まれた作家・作品 校外学習 北海道立文学館（札幌市中央区中島公園1-4） 渡辺淳一文学館（札幌市中央区南12条西6丁目）
3日目	北海道に生まれた作家・作品 学生による報告 まとめ

◆教科書 『北海道文学読本』 北海道立文学館編 共同文化社 1988年
〈上記の本は品切れのため Amazon や図書館等を利用して下さい〉

◆参考書 丸沼『北海道文学事典』志村有弘編 勉誠出版 2013年 4,532円（税込）（送料350円）
『北海道文学大事典』北海道立文学館編 北海道新聞社 1985年
〈上記の本は品切れのため図書館等を利用して下さい〉

◆成績評価基準 リポート試験 70%，発表 20%，質疑応答 10%

◆授業相談（連絡先）：

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆ Presentation and discussion

〔スピーチコミュニケーションⅡ〕

開講単位：1単位 担当者：リチャード キャラカー

◆**学修到達目標** Students will learn the fundamental rules of crafting and delivering an English oral presentation. Topics to be covered will be how to organize a presentation into a speech that incorporates three aspects: a verbal message, a vocal message and a visual message. The students will gain practice reviewing their classmates' written and spoken texts and commenting on them.

◆**授業方法** Lectures will include warm up discussions and conversations, learning the fundamentals of presentations, watching examples of presentations, practicing each aspect of a presentation, writing and evaluating each other's presentations, and finally delivering the presentations.

◆**準備学修** Prepare to interact with the teacher and classmates in English.

◆**授業計画**〔1日目：480分, 2日目：510分, 3日目：360分〕

1日目	1. Course introduction/Vocal control: loudness 2. Verbal message (1) : S-U-C-C-E-Ss, Keep it Simple (The power of three), The curse of knowledge, introduction speeches 3. Verbal message (2) : The "hook" Be Unexpected (The "Bond" beginning), Critique introduction speeches, revise speeches 4. Verbal message (3) : Make it Concrete (using effective examples), Introduction speeches Round 2, Vocal message (pausing)
2日目	1. Verbal message (4) : Highlight your Credibility. Vocal message (inflection), Job/hobby speeches 2. Verbal message (5) : Connect with your audience's Emotion, visual message (posture), critique Job/Hobby speeches 3. Verbal message (6) : Tell a Story, visual message (eye contact and facial expression) Job/Hobby speeches Round 2 4. Demonstration Speeches (1) : Brainstorming topics, Understanding your audience (survey) 5. Demonstration Speeches (2) : Organizing the body of the speech 6. Demonstration Speeches (3) : Using transitions, Visual message (using slides)
3日目	1. Demonstration Speeches (4) : Writing Introductions 2. Demonstration Speeches (5) : Writing Conclusions 3. Demonstration Speeches (6) : Round 1, Critique Demonstration speeches 4. Demonstration Speeches (7) : Round 2 5. Test

◆**教科書** Text will be provided by the teacher

◆**参考書** Made to Stick

◆**成績評価基準** Presentations and a short written test

◆**授業相談（連絡先）：**

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆現代マーケティングの体系

〔マーケティング〕

開講単位：2単位 担当者：佐藤 稔

◆学修到達目標 マーケティングは20世紀初頭のアメリカにおいて生成し発展を遂げた学問であるが、今までマーケティングはわが国では多様な意味に捉えられてきた。本スクーリングでは第二次大戦以降のマーケティングの体系について理解する。

◆授業方法 テキスト及び資料配布による講義形式。

◆準備学修 テキストを熟読しておくこと。

◆授業計画〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	1. マーケティングの生成 2. 現代マーケティングの研究対象・視点・方法 3. マーケティングの諸分野
2日目	1. マーケティングを取り巻く諸環境 2. マーケティング戦略の形態 3. マーケティング情報の収集方法
3日目	1. 製品計画の考え方 2. 価格政策の意義及び価格決定の諸方式

◆教科書 なし。

◆参考書 なし。

◆成績評価基準 授業への参加及び最終試験による総合的評価。

◆授業相談（連絡先）：

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆ 開講講座表、会場案内及び講座内容（シラバス）

地方 6月期 山形

日 稲	授 業 時 間	備 考
6月 18日	土 9:30 ~ 18:30	※時間内に昼休みを設けます。
6月 19日	日 9:00 ~ 18:30	
6月 20日	月 9:00 ~ 16:00 <試験も含む>	

『部報』3月号にてお知らせしておりますとおり、先般、『部報』2月号同封の『スクーリング開講科目予定表』及び『学修計画表』にて山形会場のスクーリング開講について、当初予定していた会場が都合により、使用できなくなりました。

現在、実施会場変更等を検討していますが、本誌発行日現在で会場未定のため、開講することが困難な場合があります。

受講を検討していた学生の皆さんには、ご迷惑をおかけしますが、あらかじめご了承ください。

開講の決定等については、『部報』4・5月号にてご案内する予定です。

対象スクーリング	地方スクーリング（6月期）山形会場 6月 18日（土）～20日（日）
対象講座	総合科目 I～VI, 英語 I～IV, 英語学演習 I～III, 東洋史特講II

※その他の会場（札幌、大阪）については、予定通り開講予定です。

注意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。

その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

◆ 開講講座表、会場案内及び講座内容（シラバス）

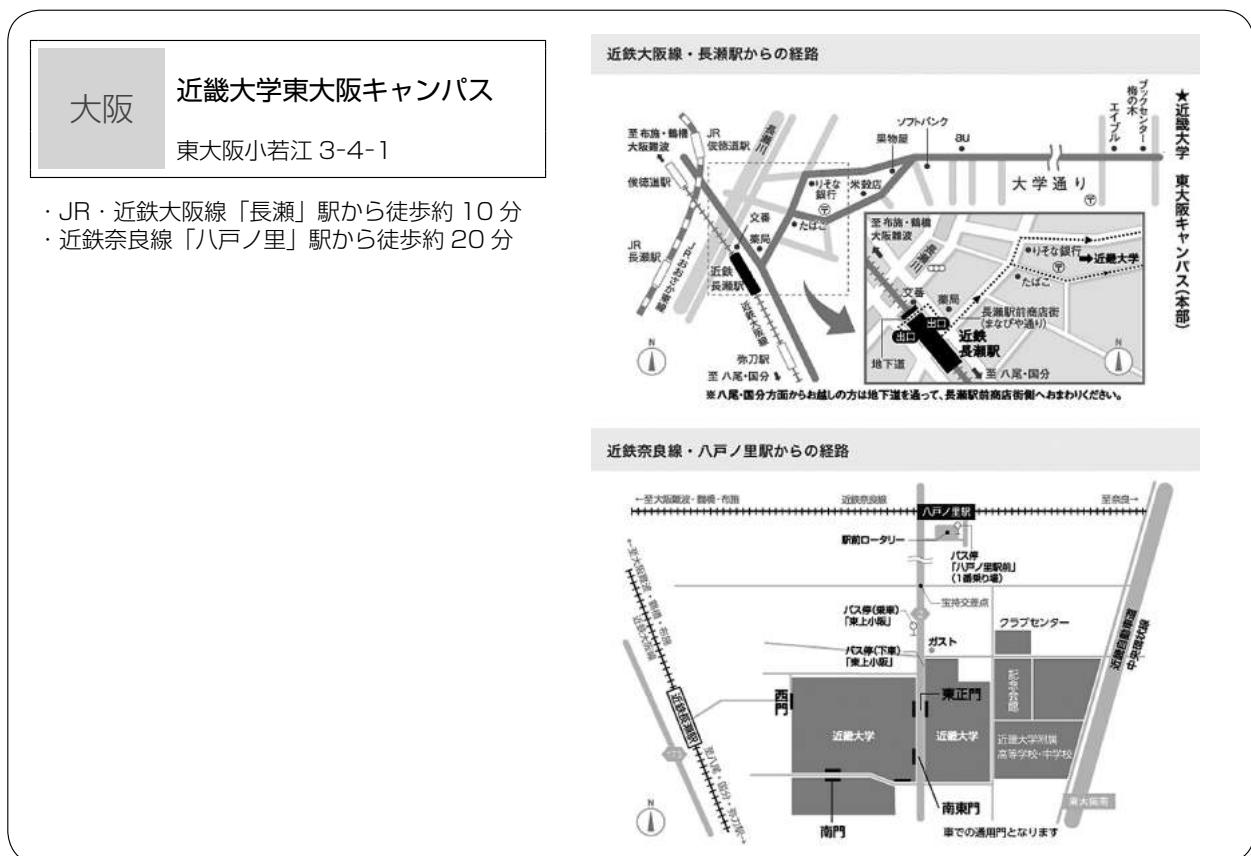
地方 6月期 大阪

日 程	授 業 時 間	備 考
6月18日 土	9:30~18:30	※時間内に昼休みを設けます。
6月19日 日	9:00~18:30	
6月20日 月	9:00~16:00 <試験も含む>	

※開講式をスクーリング初日の9時20分から行いますので、参加してください。

※以下の講座から1講座を選択してください。

講 座 コ ー ド	開 講 講 座 名	担当講師名	充 当 科 目		併 用	制 限・注 意		受 オ ー プ 講 シ
			科 目 コ ー ド	科 目 名		配 当 学 年	受 講 条 件	
F8CA	歴 史 学	関 幸 彦	B11100	歴 史 学		1 年		
F8CB	英米文学演習 B	前島 洋平	N404S0	英米文学演習 I	×	3 年	・英文学専攻のみ申込可。 ・I~IIIのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	
			N405S0	英米文学演習 II				
			N406S0	英米文学演習 III				
F8CC	経 済 開 発 論	陸 亦 群	R31400	経 済 開 発 論		2 年		



注 意
各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。
その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講座内容（シラバス）

◆歴史学誕生の歩みを考える

〔歴史学〕

開講単位：2単位 担当者：関 幸彦

◆学修到達目標 史学史的なアプローチにより、日本史を軸にわが国の歴史学がどのようにして誕生したかを、江戸・明治・大正期の動向からさぐる。とくに武家政権の見方を中心に考える。わが国の歴史学の成り立ちを考えながら、天皇・武士・貴族たちが織り成す内乱について、さまざまな角度から掘り下げて考える力の向上を目指す。

◆授業方法 講義を中心に進める。授業時の発表も若干あり。

◆準備学修 指定の教科書を読んでおくこと。

◆授業計画〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	<ul style="list-style-type: none"> ・日本史の大局を概説風に述べる。（古代史） ・つづいて、わが国の史学史の流れを近世の史論書から考える。 ・中世の武家政権の位置づけを整理する。
2日目	<ul style="list-style-type: none"> ・日本史の大局を概説風に述べる。（中世、近世史を中心に） ・明治期にいたる史学史の方法や足跡について考える。
3日目	<ul style="list-style-type: none"> ・日本史の大局を概説風に述べる。（近、現代史を中心に） ・明治～大正期の西欧史学や実証史学の流入のプロセスを考える。 ・最終試験。

◆教科書 丸沼『国史の誕生』講談社 学術文庫 907円（税込）（送料215円）

◆参考書 丸沼『武士の誕生』講談社 学術文庫 1,080円（税込）（送料215円）

◆成績評価基準 最終試験（40%）平常点（60% リポート・発表能力・参加積極度など）

◆授業相談（連絡先）：

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆サマセット・モームの短編小説を読む

〔英米文学演習 B〕

開講単位：1単位 担当者：前島 洋平

◆学修到達目標 20世紀の英国を代表するストーリーテラーであったサマセット・モームの短編小説を読むことをとおして、作品のプロットや構成、キーワードに気を配る意識を育み、最終的には小説を読む勘所を体得することを目標とする。また、モーム文学の特質についても（部分的ではあるが）理解できるようになるのがもう一つの目標である。

◆授業方法 初日は担当教員が司会役となり、語学的（英語）ならびに文学的（内容）アプローチの点から受講者に問い合わせながら授業を展開する。二日目はグループワーク形式を採用し、初日に学んだ視点から各自が意見を持ち寄り、それを交換・共有したのちに発表を行い、他の受講者との質疑応答へと進む。最終日は、当日に配布されるプリントに個人で取り組んだのち、受講者全体で議論を行う。受講者数によっては、グループの人数が極端に少なくなることもある。また、作品理解を深めるために映像を見ることがある（かもしれない）。

◆準備学修 指定された教科書を辞書を引きながら読んでおくこと。その際に、繰り返し使われるキーワードに留意したい。また、モームは作品の構成に特段の注意を払った作家であり、読者は作品の冒頭部と結末部の関連についても意識を払って読む必要がある。可能であれば、文学史的な資料に目をとおして、モームの生涯や作風、代表作についても調べておくと、そのぶん理解が深まる。

◆授業計画〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	オリエンテーション（授業形式の説明、発表の方法、モームに関する基礎知識など） グループ分けをしたのちに、担当教員が作品分析の具体例を提示する 担当教員による質疑応答① “The Poet” 担当教員による質疑応答② “French Joe” 担当教員による質疑応答③ “The Ant and the Grasshopper”
2日目	グループ発表と議論① 意見の交換、共有、選別、議論 “Louise” グループ発表と議論② 意見の交換、共有、選別、議論 “The Promise” グループ発表と議論③ 意見の交換、共有、選別、議論 “The Wash Tub” グループ発表と議論④ 意見の交換、共有、選別、議論 “Mr. Know-All” グループ発表と議論⑤ 意見の交換、共有、選別、議論 “The Judgment Seat”
3日目	プリント演習と議論① 個人の分析能力の養成 プリント演習と議論② 個人の分析能力の養成 プリント演習と議論③ 個人の分析能力の養成 テスト

◆教科書 丸沼『Cosmopolitans』 W. S. Maugham Kinseido (ISBN : 9784764700048) 950円（税込）
(送料 215円)

◆参考書 丸沼『サマセット・モームを読む』行方昭夫 岩波書店 2010年 2,376円（税込）(送料 300円)
丸沼『モームの謎』行方昭夫 岩波書店 2013年 1,058円（税込）(送料 215円)

◆成績評価基準 授業への取り組み（発表等）、テストにより総合的に評価する。

◆授業相談（連絡先）：

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆新興国の経済発展と開発理論

〔経済開発論〕

開講単位：2 単位 担当者：陸 亦群

◆**学修到達目標** 経済開発論において、経済開発の基本課題、開発問題の歴史的推移、経済開発の基礎的な理論および開発戦略について学び、新興国経済を分析する視角を磨き、考える力を養い、新興国における開発問題に対して理解する土台を築くことを目標とする。

◆**授業方法** 本講義はパワーポイントを使用して授業を進める。初日に講義資料を配布する。必要に応じて具体例や経済動向を解説するプリント資料を追加して配布する。

◆**準備学修** 経済開発論は応用経済学分野の科目である。経済学概論、経済原論（経済学原論）、経済学の何れかの科目を履修済みの上、本講義を受講することをお勧めする。事前に経済学の基礎理論を予習し、講義終了後に教材内容に付き合わせてノートを整理し復習すること。

◆**授業計画**〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	経済開発の基本課題 経済開発問題の歴史的推移 開発経済への理論的アプローチⅠ—資本蓄積と経済成長
2日目	開発経済への理論的アプローチⅡ—二重経済発展の理論 開発理論への理論的アプローチⅢ—工業化問題と都市・農村間の労働移動 開発戦略の主要なアプローチ 開発戦略の妥当性とパラダイムの転換
3日目	輸入代替と輸出志向工業化の展開 近代貿易理論と新興国のキャッチアップ 講義のまとめ

◆**教科書** 通材『経済開発論 R31400』 通信教育教材（教材コード 000350） 1,700円（送料込）

※上記は平成27年度の価格です。平成28年度は価格改定が予定されています。平成28年4月1日以降に教材を購入する場合は、『部報』4月号にて改訂価格を確認の上、購入下さい。

◆**参考書** 因沼『経済開発のエッセンス』 辻忠博 創成社 2015 2,268円（税込）（送料300円）

◆**成績評価基準** 定期試験 80%、講義態度（出席） 20%。開発経済学の基礎知識を身に付けているかを判定する。

◆**授業相談（連絡先）：**

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆ 開講講座表、会場案内及び講座内容（シラバス）

地方 7月期 名古屋

日 程	授 業 時 間	備 考
7月 16日	土	9:30～18:30
7月 17日	日	9:00～18:30
7月 18日	月	9:00～16:00 <試験も含む>

※開講式をスクーリング初日の9時20分から行いますので、参加してください。

※以下の講座から1講座を選択してください。

講 座 コード	開 講 講 座 名	担当講師名	充 当 科 目		併 用	制 限・注 意		受 考 一 部 講 演
			科 目 コ ー ド	科 目 名		配当 学年	受 講 条 件	
F9AA	民 法 V	山川 一陽	K30400	民 法 V		2年		
F9AB	英 米 文 学 概 説	堀切 大史	N20300	英米文学概説		条件 参 照	・英文学専攻のみ1学年以上申込可 ・その他は2学年以上申込可 ・履修条件あり（シラバス参照）	
F9AC	英 語 科 教 育 法 Ⅲ	隅田 朗彦	T30300	英語科教育法Ⅲ	×	2年	・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。	

名古屋 ウィンクあいち
名古屋市中村区名駅 4-4-38

名古屋市中村区名駅 4-4-38

- 名古屋駅より
- ・JR 名古屋駅桜通口から
ミッドランドスクエア方面 徒歩 5 分
- ・ユニーモール地下街 5番口 徒歩 2 分
- ※名駅地下街サンロードからミッドランドスクエア、マイケル観光ビル、名古屋クロスコートタワーを経由 徒歩 8 分



注 意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。

講座内容（シラバス）

◆家族のあり方と相続

〔民法V〕

開講単位：2単位 担当者：山川 一陽

◆学修到達目標 いわゆる家族関係の範囲とその発生・家族関係における法的義務などについて理解することと、家族の死亡に基づいての財産移転としての法定相続及び意義による財産移転について理解がされること。

◆授業方法 教科書を元にして講義方式によるが、なるべく重要な所については集中方式をとりたい。

◆準備学修 講義前に一通り教科書に目を通しておくこと。

◆授業計画〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	1 家族法の前提知識（家庭裁判所・身分登録制としての戸籍など） 2 親族概念とその発生・変更・消滅など 3 婚姻・離婚とその効果
2日目	1 親子と新しい家族制度 2 民法の認める親子の類型 3 実親子関係とその変容 4 普通養子と特別養子 5 相続の歴史と概念 6 同時存在の原則と相続の基本原則
3日目	1 相続人・相続分 2 代襲相続 3 特別受益と寄与分 4 遺言による財産処分

◆教科書 丸沼『親族法・相続法講義 第6版』山川一陽著 日本加除出版 3,888円（税込）（送料350円）

◆参考書 なし。

◆成績評価基準 出席と論文試験による。

◆授業相談（連絡先）：

◆英米文学史を読む

〔英米文学概説〕

開講単位：2単位 担当者：堀切 大史

◆学修到達目標 英米の文学作品を時代背景と関連づけて読む方法を身につけてもらうことを目標とします。

◆授業方法 基本的に講義形式。ただし、受講生のみなさんには配付資料の英文を音読してもらいます。なお、時間的な制約により、本講義では17～20世紀はじめの英米の文学作品を対象とします。

◆準備学修 配付資料をよく読んでおくこと。また、読みやすそうなイギリスおよびアメリカの歴史／文学史の本をそれぞれ一冊は読んでおくと、授業の理解がより深まるでしょう。

◆履修条件 平成27年度地方スクーリング（7月期）仙台会場「英米文学概説」との積み重ね不可。

◆授業計画〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	1. 科学革命と世界劇場 2. 宗教改革と楽園の創造 3. 啓蒙主義とコモンセンス 4. 市民革命と幸福の追求
2日目	5. ロマン主義と個人の探求 6. 都市とミステリー小説の誕生 7. 資本主義とアドベンチャー小説 8. 文学と視覚芸術のジャンル横断
3日目	9. 世纪末とユートピア思想 10. モダニズムとロストジェネレーション 11. 最終試験

◆教科書 事前資料送付 資料を事前に配付します。

◆参考書 英語辞典、イギリスおよびアメリカの歴史／文学史

◆成績評価基準 平常点（20%）、最終試験（80%）

◆授業相談（連絡先）：

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆英語科指導法の理論に基づく授業実践

〔英語科教育法Ⅲ〕

開講単位：2単位 担当者：隅田 朗彦

◆学修到達目標 英語科教育法の理論的な知識を持つ受講生が実践的な資質を養うことを目的とします。学習指導要領ではどの校種においてもコミュニケーション能力の育成を目標としています。コミュニケーション能力の育成には基礎力の育成が必要ですが、その育成には教師が多種多様な方法論を実践できることが不可欠です。当該科目ではそのようなコミュニケーション能力につながる基礎力を養成するための指導法を学びます。

◆授業方法 使用教科書に紹介されているタスクを実践することから始まり、中学校および高等学校の検定教科書に準じたレッスンの構成を考え、模擬授業として実践します。実践に当たっては簡単な概念の説明を担当教員が行い、グループで実践方法をディスカッションし、作成した活動（タスク）をクラスで実習し、担当教員からのコメントを受けます。受講生にも他の受講生の実践についてディスカッションおよびコメントを求める。

◆準備学修 指定教科書のChapter 1～2、特にChapter 1を読み、授業に臨んでください。また、中学校および高等学校の学習指導要領（外国語）（文部科学省のウェブサイトでダウンロードも可能）を読み、その内容を理解してください。

◆授業計画（1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分）

1日目	1. 日本の英語科教育における教授法の変遷とあるべき姿 2. 帯活動演習（タスクの理解と実践）1
2日目	1. 典型的な中学校・高等学校の授業法から学ぶこと 2. 帯活動演習（タスクの理解と実践）2 3. プロジェクト活動を考える
3日目	1. 検定教科書を利用したタスク活動を考える 2. タスク活動の作成と実践発表

◆教科書 丸沼『英語教師のためのフォーカス・オン・フォーム入門 成功するタスク & 帯活動アイデア』横山吉樹
大塚謙二 明治図書出版 2013年 2,224円（税込）（送料300円）
〔当日資料配布〕その他の必要な情報については資料を配布します。

◆参考書 丸沼『タスクを活用した英語授業のデザイン』松村昌紀 大修館書店 2012年 2,592円（税込）
（送料300円）
丸沼『「フォーカス・オン・フォーム」を取り入れた新しい英語教育』和泉伸一 大修館書店 2009年
2,376円（税込）（送料300円）

◆成績評価基準 授業への参加（30%）、実践演習（30%）、授業内課題（40%）により評価します。

◆授業相談（連絡先）：

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆ 開講講座表、会場案内及び講座内容（シラバス）

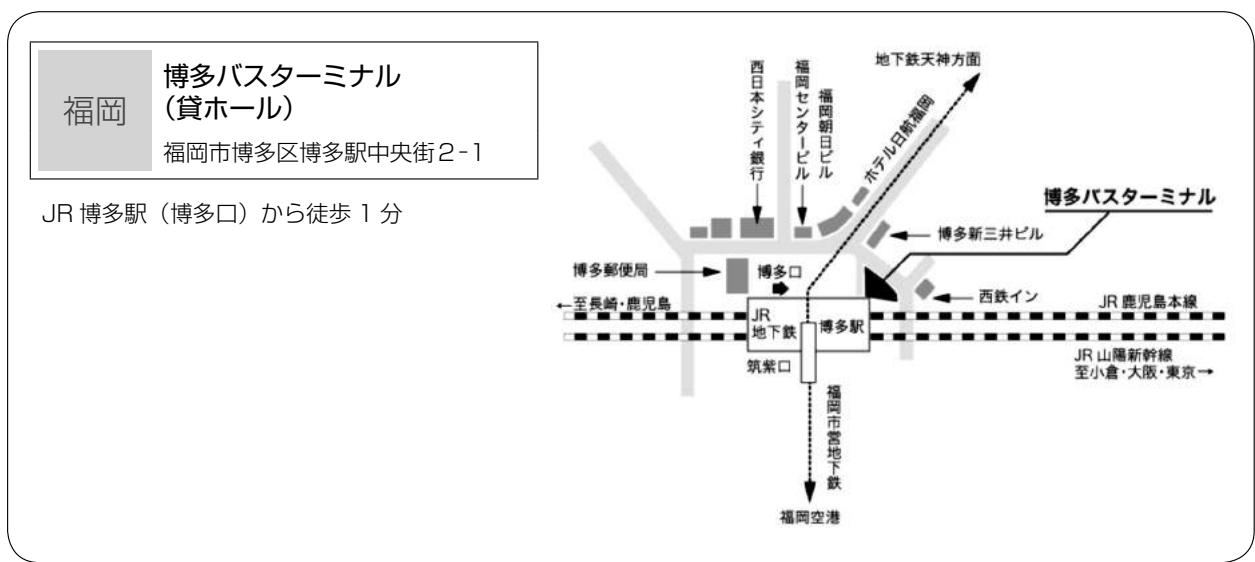
地方 7月期 福岡

日 程	授 業 時 間		備 考
7月16日	土	9:30 ~ 18:30	※時間内に昼休みを設けます。
7月17日	日	9:00 ~ 18:30	
7月18日	月	9:00 ~ 16:00 <試験も含む>	

※開講式をスクーリング初日の9時20分から行いますので、参加してください。

※以下の講座から1講座を選択してください。

講 座 コ ー ド	開 講 講 座 名	担当講師名	充 当 科 目		併 用	制 限・注 意		受 オー プ 講 ン			
			科 目 コ ー ド	科 目 名		配 当 学 年	受 講 条 件				
F9BA	英 語 F	小澤 賢司	C10100	英 語 I	1 年	· I ~ IV のいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	· 英文学専攻のみ1学年以上申込可。 · その他は2学年以上申込可。				
			C10200	英 語 II							
			C10300	英 語 III	2 年						
			C10400	英 語 IV							
F9BB	英 文 法	吉良 文孝	N20200	英 文 法	条件 参 照	· 複数条件あり（シラバス参照）					
F9BC	会 計 学	林 徳順	S32800	会 計 学	2 年	· 複数条件あり（シラバス参照）					



注意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。

その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講座内容（シラバス）

◆ Back to the Future を「読む」、「見る」、「聞く」

【英語 F】

開講単位：1 単位 担当者：小澤 賢司

◆学修到達目標 1985年公開の映画 Back to the Future を授業の題材として扱い、その中に多く含まれている会話（ときに若者）独特の英語表現を知り、見識を広げることを目標とします。実際の会話を読み進めていますので、小説などとは違った「生きた」英語を知ることにも繋がります。

◆授業方法 まずは、Back to the Future の台本（スクリプト）を「読み」進めています。その際、受講者の方に（こちらが指名して）音読・和訳をしてもらいます。台本の中にはわざわざ訳す必要のない表現もありますので、全ての英文を授業で扱うというわけではありません。その後、実際に映画を「見て」、実際の会話となると学んだ表現がいかに素早く（ときに、高速で）発声されているかを「聞き」取ります。

◆準備学修 「徹底した」予習をお願いします。

(a) 音読

本授業において、極めて重要な予習項目となります。

(b) 内容理解及び和訳

きれいな和訳にすることも重要ですが、それよりもそこに書かれている内容がしっかりと把握・理解できているかを重視してください。

(c) 文法・文構造の理解

全て会話表現ですので、中には文法的に正しくないものもあります。そのあたりのことを考慮した上で、予習するのがよいかと思います（つまり、あまり文法を意識しすぎないほうが良いということです）。

◆授業計画（1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分）

1日目	Back to the Future を「読む」 時間の許す限り読み進める。ただし、状況によっては一部割愛する可能性がある
2日目	Back to the Future を「読む」 Back to the Future を「見る」、「聞く」 時間の許す限り読み（見、聞き）進める。ただし、状況によっては一部割愛する可能性がある
3日目	Back to the Future を「見る」、「聞く」 時間の許す限り見、聞き進める。 レポート ※後日レポートの可能性もあり

◆教科書 **事前資料送付** プリント配布 ※英和辞典は必ず持参してください。

◆参考書 なし。

◆成績評価基準 授業への取り組み（予習状況・発表など）、及びレポートにより総合的に評価します。

◆授業相談（連絡先）：

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆ Tense, Aspect, そして Modality とは何か [英文法]

開講単位：2 単位 担当者：吉良 文孝

◆**学修到達目標** Tense (時制), Aspect (相), Modality (モダリティ) についての基本的な概念を理解をすること。加えて、ことばの世界に存在する大原則、すなわち、「かたちが変われば意味が変わる、意味が違えば必ずかたちが異なる」という大原則を、上記 3 領域を鳥瞰することによって実感すること。それら 2 つを本講座の学修目標とします。

◆**授業方法** 配付資料による講義形式。(配付資料内にある文献を適宜読むことによって一部演習形式も取り入れます。)

◆**準備学修** 特にはありませんが、上記 3 領域に関する概論書を予め読んでおくと、講義のより早い、そしてより深い理解へつながります。

◆**授業計画** [1日目：480 分, 2日目：510 分, 3日目：360 分]

1日目	「Tense (時制) と Time (時)」、「未来時とモダリティ (心的態度) のかかわり合い」、「モダリティの立場から見た単純現在時制の意味論」について論じます。
2日目	Aspect (相) の一つとしての「進行相」(Progressive Aspect) について論じます。具体的には、動詞の分類、状態的動詞・動態的動詞の振る舞いなどについて考察します。
3日目	Aspect (相) の一つとしての「完了相」(Perfect Aspect) について論じます。「現在との関わり (current relevance)」や「完了形と過去時制の違い」、「完了形の主語制約」などについて考察します。

◆**教科書** [当日資料配布] 配付資料。

丸沼『英文法解説 (改訂三版)』江川泰一郎著 金子書房 1,836 円 (税込) (送料 350 円)

◆**参考書** なし。

◆**成績評価基準** 授業への取り組み・最終日試験により総合的に判断します。

◆**授業相談 (連絡先) :**

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
※授業相談 (連絡先) に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆会計学の基礎知識が学修できる

[会計学]

開講単位：2単位 担当者：林 徳順

◆学修到達目標 この授業の到達目標は、「初心者が会計学の基礎知識を学修できる」ことである。すなわち、「株式会社の仕組み」及び「営利企業に係る財務会計、管理会計、税務会計及び監査の概要等」を学ぶことを通し、①「企業利益はどのように計算され、どのように利用され、その正確性はどんな方法で保証されているのか」が学修でき、②「製品などの原価はどのように決まるのか」が学修できる。

◆授業方法 授業計画に沿って、パワーポイント形式で授業を進める。授業中、①授業内容に関する練習問題を解いたり、②授業内容と関連のある新聞記事などを取り上げ、授業内容についての理解を深める。

◆準備学修 授業計画に沿って、テキストの内容を予習してくことを勧める。特に、複式簿記の計算構造に関する部分(第2章～第4章)は、初心者にとって難解な部分であるため、充分に予習することが必要である。会計に関する辞書などを利用しながら、専門用語などを理解したうえで授業に臨むと、さらに学修効果が上がる。

◆履修条件 平成27年度夏期スクーリング「会計学」との積み重ね不可。

◆授業計画 [1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分]

1日目	テキストの第1章～第4章について学び、会計の役割を含む簿記・会計の基礎知識を学修する。 第1章 現代社会と会計の役割 第2章 簿記・会計の基礎知識 第3章 複式簿記の基本的手続 第4章 財務諸表の作成—決算の手続—
2日目	テキストの第5章～第9章について学び、株式会社のしくみ及び財務諸表の仕組み、財務諸表の分析を学修する。 第5章 株式会社のしくみ 第6章 日本の企業会計制度 第7章 損益計算書のしくみ 第8章 貸借対照表のしくみ 第9章 財務会計の分析
3日目	テキストの第11章～第13章について学び、会計監査、管理会計、原価計算及び税務会計について学修する。国際会計及び連結会計等については、受講生の理解度を考慮しながら進行する。 第11章 会計の監査 第12章 管理会計と原価計算 第13章 税務会計 第10章 会計の国際化（受講生の理解度を考慮しながら進行） 第14章 企業会計の展開（受講生の理解度を考慮しながら進行）

◆教科書 『はじめての会計学 第4版』日本大学会計学研究室編 森山書店 2,592円（税込）（送料350円）

◆参考書 丸沼『基礎 財務会計 第16版』五十嵐邦正著 森山書店 3,456円（税込）（送料300円）

丸沼『財務会計講義 第15版』桜井久勝著 中央経済社 4,104円（税込）（送料350円）

◆成績評価基準 毎回出席することを前提として評価し、テスト成績により評価する。

◆授業相談（連絡先）：

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

MEMO

IV 夜間スクーリング

1 開講日程

開講期間	5月16日(月)～7月 8日(金)					
授業時間	18:30～21:25					
受講形態	月曜日から金曜日までの各曜日に開講される講座から1講座を選び、同じ曜日の8回の授業を経て、最終日に試験を受けます。 また、すべての講義に出席が求められます。					
授業日程	月	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
①：1回目	5月	① 16	① 17	① 18	① 19	① 20
②：2回目		② 23	② 24	② 25	② 26	② 27
③：3回目	6月	③ 5月30	③ 5月31	③ 1	③ 2	③ 3
④：4回目		④ 6	④ 7	④ 8	④ 9	④ 10
⑤：5回目		⑤ 13	⑤ 14	⑤ 15	⑤ 16	⑤ 17
⑥：6回目		⑥ 20	⑥ 21	⑥ 22	⑥ 23	⑥ 24
⑦：7回目	7月	⑦ 6月27	⑦ 6月28	⑦ 6月29	⑦ 6月30	⑦ 1
⑧：8回目		⑧ 4	⑧ 5	⑧ 6	⑧ 7	⑧ 8

※各曜日から1講座のみの申込みで、最多合計5講座まで受講できます。

2 実施会場

授業は主として通信教育部校舎で行います。

名 称	日本大学通信教育部1号館
所 在 地	通信教育部 東京都千代田区九段南4-8-28
交 通 案 内	市ヶ谷駅から徒歩3分

※ 授業講堂は、ポータルサイトにて事前にお知らせします。

3 開講講座

月

講 座 名	担 当 講 師 名
英 語 G	石 川 勝
民 法 III	長 谷 川 貞 之
英 米 文 学 演 習 C	岩 城 久 哲
宗 教 学 概 論	富 田 真 浩
博 物 館 資 料 論	大 塚 英 明

火

講 座 名	担 当 講 師 名
法 学	高 澤 弘 明
英 語 基 础	佐 藤 恵 一
行 政 法 I	和 知 賢 太 郎
商 法 I	高 岸 直 樹
国 文 学 史 I	加 藤 清
イ ギ リ ス 文 学 史 II	猪 野 恵 也
英 作 文 II	ダ レ ル ハ ーデ イ
経 済 史 総 論	飯 島 正 義

水

講 座 名	担 当 講 師 名
英 語 H	小 田 井 勝 彦
刑 法 I	設 楽 裕 文
国 文 学 講 義 III (中 世)	鹿 野 し の ぶ
ス ピ チ コ ミ ュ ニ ケ シ ョ ン I	パ ト リ ッ ク マ ッ コ イ
日 本 史 入 門	鍋 本 由 德
証 券 市 場 論	高 嶋 勝 平
英 語 科 教 育 法 II	市 川 泰 弘

木

講 座 名	担 当 講 師 名
政 治 学	関 根 二 三 夫
英 語 J	ア レ ク ス ブ ラ ウ ン
英 語 K	谷 村 航
地 方 自 治 論	山 田 光 矢
知 的 財 産 権 法	三 村 淳 一
英 語 学 演 習 C	真 野 一 雄
現 代 教 職 論	古 賀 徹
博 物 館 展 示 論	岡 部 幹 彦

金

講 座 名	担 当 講 師 名
英 語 L	北 原 安 治
国 文 法	鈴 木 浩
宗 教 学 基 础 講 讀	合 田 秀 行
西 洋 史 概 説	荒 木 洋 育
社 会 政 策 論	齋 藤 有 里
交 通 論	針 谷 莊 司
教 育 制 度 論	安 藤 忠
博 物 館 概 論	中 野 照 男

◆ 開講講座表及び講座内容（シラバス）

夜 間 月曜日	時間	18:30 ~ 21:25							
	授業日	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目	8回目 <試験を含む>
		5/16	5/23	5/30	6/6	6/13	6/20	6/27	7/4

※以下の月曜日開講の講座から1講座を選択してください。

講 座 コード	開 講 講 座 名	担当講師名	充 当 科 目		併 用	制 限・注 意		受オ ープ 講ン		
			科 目 コ ー ド	科 目 名		配当 学年	受 講 条 件			
B1AA	英 語 G	石川 勝	C10100	英 語 I		1年	・ I ~ IV のいずれに該当させるのか充當科目コードを必ず記入してください。			
			C10200	英 語 II						
			C10300	英 語 III		2年				
			C10400	英 語 IV						
B1AB	民 法 III	長谷川 貞之	K30200	民 法 III		2年		×		
B1AC	英米文学演習 C	岩城 久哲	N404S0	英米文学演習 I	×	3年	・ 英文学専攻のみ申込可。 ・ I ~ III のいずれに該当させるのか充當科目コードを必ず記入してください。			
			N405S0	英米文学演習 II						
			N406S0	英米文学演習 III						
B1AD	宗 教 学 概 論	富田 真浩	P30400	宗 教 学 概 論		2年				
B1AE	博 物 館 資 料 論	大塚 英明	Y20600	博物館資料論	×	2年	・ スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。			

注意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。

その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講座内容（シラバス）

◆基本的な英語力の底上げ

〔英語 G〕

月曜日

開講単位：1 単位 担当者：石川 勝

◆学修到達目標 基本的な英語力を身に着けることを目標とする。文法の説明を行った後で、平易な英文を訳していく。テキストは日本の大学生がイギリスで経験したことが書かれているもので身近に感じられると思う。

◆授業方法 文法の説明を行った後で、テキストを訳していく。一人一人指名して訳してもらうので指定された個所を全訳しておくこと。予習していないと単位は認めない。

◆準備学修 1回目の授業では事前に p.1 ~ 2 を全訳しておくこと。2回目以降は前の週に指示された個所を全訳する。

◆授業計画〔各 170 分〕

1回目	Unit 1
2回目	続き
3回目	Unit 2
4回目	続き
5回目	Unit 3
6回目	続き
7回目	Unit 4
8回目	続き 小テスト

◆教科書 丸沼『二郎のイギリス旅行』金星堂 1,674 円（税込）（送料 215 円）

◆参考書 英和辞典。

◆成績評価基準 皆出席を前提として 2 回の小テストで成績をつける。

◆授業相談（連絡先）：

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆スタートラインとしての債権法：基礎から学ぶ債権法総論 〔民法Ⅲ〕

月曜日

オープン受講：不可 開講単位：2 単位 担当者：長谷川 貞之

◆学修到達目標 民法典における債権法の基本構造を体系的に理解し、修得する。これを通じて、債権が売買や賃貸借などの各種の契約や不法行為を主たる原因として発生し、いかなる効力を有し、どのような原因によって消滅するかを具体的に知る。

◆授業方法 シラバスに沿って講義形式で行う。適宜、ソクラテスマソッド（問答方法）を用いる。できる限り、具体例を挙げながら考える授業としたい。

◆準備学修 民法典第3編債権の規定（399条～724条）を音読し、債権総論（399条～520条）と債権各論（521条～724条）の規定上の配置を確認すること。教科書を事前に購入し、開講前に2・3回程度通読しておくこと。

◆履修条件 民法Ⅰ・民法Ⅱを履修すみであることが望ましい。

◆授業計画 [各 170 分]

1回目	民法典の体系と債権法、債権法における総論と各論、債権の意義・目的、債権の法的性質 * 物権との対比を通じて債権の特質を学ぶ。
2回目	債権の種類（特定物債権・種類債権、金銭債権、選択債権）、種類債権の特定と集中、金銭債権の特殊性 * 「給付」の概念を通して各種の債権の違いと民法上の取扱いを学ぶ。
3回目	債権の効力：①履行請求、受領遅滞、債務不履行、第三者による債権侵害／②：債権者代位権と転用事例 * 債権の効力を対内的・対外的に分けて理解する。
4回目	債権の効力：③詐害行為取消権と無資力要件／④詐害取消権の効果—相対的無効とは？ * 責任財産の保全の見地から詐害行為取消権の要件と効果を学ぶ。
5回目	多数当事者の債権債務関係：①分割債権債務／②不可分債権債務、連帯債務／③保証債務 * 債権債務の共有的帰属の多様な形態を規定に即して把握する。
6回目	債権譲渡、債務引受、契約上の地位の移転 * 債権が財貨として第三者へ移転する様様とその目的を知るとともに、債務についても同様の視点から考察する。
7回目	債権の消滅①：総論—7つの消滅原因、②弁済（代物弁済、供託を含む）とその方法・場所、③相殺の意義と担保的機能 * 債権に特有の消滅原因を弁済と相殺を中心に理解する。
8回目	④相殺の担保的機能（続）／まとめ&試験 * 債権の発生・効力・消滅を「債権の一生」を通して体系的に整理するように心掛ける。

◆教科書 丸沼『民法Ⅲ—債権総論 [第3版補訂]』野村豊弘ほか〈有斐閣Sシリーズ〉有斐閣、2012年
1,836円（税込）（送料300円）

◆参考書 授業中、適宜指示する。

◆成績評価基準 毎回出席することを前提として、平常点（20%）、試験（80%）で評価する。

◆授業相談（連絡先）：

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆イギリスの近現代文学 8作品を読み理解する 【英米文学演習 C】

月曜日

開講単位：1単位 担当者：岩城 久哲

◆**学修到達目標** 辞書を使用しながらも、イギリス近現代文学を読み理解できる。さらに、その内容について、自分の考えをプレゼンができる。

◆**授業方法** 演習形式で授業を進行することを基本とする。名簿順にリーディング、日本語での表現、内容に関するプレゼンを求める。1回に1作品を読む。

◆**準備学修** 少なくとも、一週間前に教材を渡すので、十分読みこなしてくる。最初の教材に関しては、教務課から送付してもらう。それとは別にして、授業計画の作品の指定の個所を前もって読んでおくことを希望する。

◆授業計画【各 170 分】

1回目	ディキンズの作品を読む。 『サミュエル・ピクワイクの冒険』Chapter 2 (That punctual servant of all work, the sun, had just risen...)
2回目	ハーディーの作品を読む。 『フィドラー・オブ・リール』最初から ('Talking of Exhibitions, World's Fairs, and what not,' said...)
3回目	コンラッドの作品を読む。 『ロード・ジム』Chapter 1 (He was an inch, perhaps two, under six feet, powerfully built...)
4回目	Hジェームズの作品を読む。 『ロデリック・ハドソン』Chapter 1 (Rowland Mallet had made his arrangements to...)
5回目	TSエリオットの作品を読む。『荒地』Chapter 1 (The Burial of the Dead)
6回目	DHローレンスの作品を読む。 『ロストガール』Chapter 1 (Take a mining townlet like Woodhouse, with...)
7回目	Gオーウェルの作品を読む。 『空気をもとめて』Part 1, Chapter 1 (The idea really came to me the day I got my new false...)
8回目	Gグリーンの作品を読む。 『落ちた偶像』Chapter 1 (When the front door had shut them out and the butler Baines...)

◆**教科書** 教材プリントなど。その他、各自ペーパーバックなどを準備しておくのが望ましい。

◆**参考書** 前もって、近現代イギリスの流れが理解できている。

◆**成績評価基準** 教務課が定める出席条件を満たすことを前提として、毎時間の授業への積極的な参加度（50%）、コメントシート・小テスト・レポート（50%）とする。

◆**授業相談（連絡先）：**

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆宗教の構成要素から宗教学の基礎を学ぶ

〔宗教学概論〕

月曜日

開講単位：2 単位 担当者：富田 真浩

◆**学修到達目標** 「宗教」と呼ばれるものには、その構成要素としてさまざまな分類に基づくものが挙げられるが、個人の内面にある信仰が外面に現れた現象や機能などを通して科学的・客観的に捉える視点を持つことや、特定の宗教の教義・思想ではなく、「宗教全般」に対する網羅的な知識を獲得することを目的とする。

◆**授業方法** 指定テキスト (pp.79 ~ 157) を使用する講義形式で進めることを中心とするが、毎授業で学生に記入させるリアクションペーパーの内容に次の回の講義で回答する形式を探る。ただし、受講生の人数と講義の進度によっては全てに回答できない場合もある。受け身の姿勢で講義に臨むのではなく、概論から身近な内容へと視線を移し、身近な宗教へと関心を広げて考えることを望む。

◆**準備学修** その回の講義で学習予定となっている指定テキストの範囲を事前に一読しておくこと。また、第2回目以降の講義を受講する際は、その回の学習予定範囲となっている指定テキストの範囲を一読するだけではなく、前回の講義の内容を復習し、前回の講義で学んだ宗教学の用語を理解した状態で、次の講義に臨むように心がけること。

◆授業計画〔各 170 分〕

1回目	宗教行動①（宗教儀礼、祈り） ※宗教行動には内面的なものと外的的なものがありますが、外的であり、かつ定型的な宗教行動の代表例である儀礼と祈り（礼拝）について学びます。
2回目	宗教行動②（修行、呪術、布教伝道と宗教的奉仕活動） ※外的宗教行動のうち、定型的な修行と呪術、そして非定型的な布教伝道などについて学びます。
3回目	宗教集団①（宗教集団の類型、宗教集団の組織化） ※宗教の成立過程や信仰対象などにより、宗教集団の在り方は異なっています。その分類や、組織化について学びます。
4回目	宗教集団②（宗教と経済、宗教と政治、宗教と社会変動） ※一般に、この世の中は「聖なる世界」と「世俗の社会」に分けることができますが、聖なる世界に属する宗教と世俗的な現実の日常生活との関わりについて学びます。
5回目	宗教体験①（宗教体験の特徴、宗教神秘主義） ※人間が宗教的態度をとり、宗教行動をとるには、その根底となる宗教体験があります。その特徴と狭義の宗教体験である神秘主義の修行や体験について客観的に学びます。
6回目	宗教体験②（宗教体験と無意識、宗教的人格の形成と成熟） ※心理学的な立場によれば、宗教行動の根底には無意識の領域からの働きかけがあります。その理論と、理想的な宗教的人格について学びます。
7回目	宗教の機能①（宗教と人間、宗教と社会） ※宗教と人間のかかわり、宗教と社会の関係について宗教がもっている機能としてどのようなものがあるかを学びます。
8回目	宗教の機能②（宗教と文化）／授業内試験 ※私たちの生活にかかわりのある文化としての側面から宗教をみると、宗教のもっている機能の一つを学びます。

◆**教科書** 通材『宗教学概論 P30400』 通信教育教材（教材コード 000139） 1,550 円（送料込）

※上記は平成 27 年度の価格です。平成 28 年度は価格改定が予定されています。平成 28 年 4 月 1 日以降に教材を購入する場合は、『部報』4 月号にて改訂価格を確認の上、購入下さい。

◆**参考書** 指定しない。

◆**成績評価基準** 試験 (60%)、最後の授業内で実施、教科書・ノート等全て持ち込み不可とします。
毎回配布するリアクションペーパー (40%)、毎回出席することを前提として評価します。

◆**授業相談（連絡先）：**

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆博物館資料が語るもの

〔博物館資料論〕

月曜日

開講単位：2 単位 担当者：大塚 英明

◆**学修到達目標** テーマを「博物館資料が語るもの」と設定し、多様化する博物館資料の保存と活用の在り方について検討するとともに、これを取り巻く今日的な課題を探り、基礎的な能力を構築する。

◆**授業方法** 上記の「目標」を視野に入れて、以下の項目を基軸に講義を基調として、必要に応じて質疑応答を行ない理解の進化を図る。①博物館資料の概念を理解する。②博物館資料の調査・研究を考える。③博物館資料の保存と活用の在り方を考える。

◆**準備学修** わが国の国公私立の博物館・美術館などの公開施設の内、1館を選定して当該館の所蔵する博物館資料を概観し最も関心のある博物館資料について調べておくこと。館案内及び資料の映像を用意しておくこと。授業内で各自の報告を予定している。

◆授業計画〔各 170 分〕

1回目	博物館資料とは何か。博物館資料化へのプロセスを探る。
2回目	博物館資料の種類と分野。博物館資料（人文系）の収集。
3回目	博物館資料（人文系）の調査・研究と保存対応。
4回目	博物館資料（自然系）の収集。博物館資料（自然系）の調査・研究。
5回目	質疑応答。課題について各自の報告を行なう。
6回目	画像形成と保存科学的調査の確保。
7回目	展示公開における博物館資料の存在と意義。
8回目	博物館資料の現状把握と今後の課題。

◆**教科書** 当日資料配布 使用しない。事業時に関連資料を配布する。

◆**参考書** なし。授業時に指示する。

◆**成績評価基準** 出席 20%, 授業内報告 30%, 試験 50%を基準として総合的に評価する。

◆**授業相談（連絡先）：**

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆ 開講講座表及び講座内容（シラバス）

夜 間 火曜日	時間	18:30 ~ 21:25							
	授業日	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目	8回目 <試験を含む>
		5/17	5/24	5/31	6/7	6/14	6/21	6/28	7/5

※以下の火曜日開講の講座から1講座を選択してください。

講 座 コ ー ド	開 講 講 座 名	担当講師名	充 当 科 目		併 用	制 限・注 意		受オ ープ 講ン
			科 目 コ ー ド	科 目 名		配当 学年	受 講 条 件	
B1BA	法 学	高澤 弘明	B11500	法 学 (日本国憲法2単位を含む)		1年		
B1BB	英 語 基 础	佐藤 恵一	C10600	英 語 基 础		1年		
B1BC	行 政 法 I	和知 賢太郎	K30900	行 政 法 I		2年	・履修条件あり（シラバス参照）	
B1BD	商 法 I	高岸 直樹	K30500	商 法 I		2年	・履修条件あり（シラバス参照）	
B1BE	国 文 学 史 I	加藤 清	M30100	国 文 学 史 I		2年		
B1BF	イギリス文学史 II	猪野 恵也	N30100	イギリス文学史 II		2年	・履修条件あり（シラバス参照）	
B1BG	英 作 文 II	ダレル ハーディー	N30500	英 作 文 II	×	2年	・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。	
B1BH	経 済 史 総 論	飯島 正義	R20200	経 済 史 総 論		条件 参 照	・経済学部のみ1学年以上申込可。 ・その他は2学年以上申込可。	

注意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。

その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講座内容（シラバス）

◆法学の基礎を学ぶ

〔法学〕

火曜日

開講単位：2 単位 担当者：高澤 弘明

◆学修到達目標 この授業では、法学的な基礎知識の修得を目的とする。具体的には日本国憲法をはじめに、民法・刑法など、われわれの日常生活に密接に関連する法的事例をあげながら、法学の基礎を講義形式で説明してゆく。最終的には、法学上問題に関して、自身の見解を述べられるような能力の習得をも目指す。

◆授業方法 講義形式で行う。また理解度を把握するために、レポートを2回提出してもらう。

◆準備学修 新聞を読み、社会の動向を注視すること。特に、紙面で取り上げられた裁判については、事件内容を問わず、熟読しておくこと。初回の授業以降は、前回の復習をすること。

◆授業計画〔各 170 分〕

1回目	法学の基礎1（法の意義と価値） 法と道徳、法の妥当性、成文法と不文法、法の体系。 ※なぜ法を守らないといけないのか、そしてその法にはどのような種類があるのかといった法学の基礎を学びます。
2回目	法学の基礎2（法の解釈方法） 文理解釈と論理解釈、拡大解釈と類推解釈 ※条文の読み方には、細かい約束事があります。ここでは法解釈の方法や、特に刑法に関する法解釈の方法を学びます。
3回目	民法（総則） 権利能力、自然人と法人、行為能力、意思表示 ※民法はわれわれの日常生活に密接に関わる基本法規です。ここでは民法に関する基本原則について学びます。
4回目	民法（債権・物権） 契約の種類、契約自由の法則、財産権の種類 ※民法は物権や債権といった財産権を規定しており、授業ではこれら財産権の概要を学びます。
5回目	刑法（総論） 構成要件該当性、違法性、有責性 ※裁判員制度が導入された今日、一般市民であっても刑法の知識が必要となる場合がでてきました。ここでは刑法に関する基礎理論について学びます。
6回目	刑法（各論） 生命・身体に対する罪、財産に対する罪 ※ここでは殺人罪や窃盗罪といった、刑法が定める個別の犯罪について学びます。
7回目	憲法（人権） 日本国憲法の基本理念、包括的権利、個別的権利 ※ここでは国家の最高法規である日本国憲法のうち、人権論について勉強します。
8回目	憲法（統治） 第9条、統治機関 ※ここでは国会、内閣、裁判所といった統治組織の概要と、昨今、注目を集めている平和主義についても勉強します。

◆教科書 なし。

◆参考書 丸沼『プラクティス法学実践教室Ⅰ』高乗 正臣他編 成文堂 2,592円（税込）（送料350円）
丸沼『公法基礎入門』名雪 健二他 八千代出版 2,592円（税込）（送料300円）

◆成績評価基準 2回のレポートで評価します（100%）。内容的に不充分の場合は再提出を求めます。

◆授業相談（連絡先）：

◆ Refreshing English Grammar

〔英語基礎〕

火曜日

開講単位：1単位 担当者：佐藤 恵一

◆**学修到達目標** 英語コミュニケーションに必要な基本的表現を学ぶことを目指します。文法解説から練習問題へ、その後にショートリーディングを通して表現を確認し応用していくステップ構成です。

◆**授業方法** 文法解説と例文で学習した内容を練習により確実に自分のものにしていくことを目指し、平易な基本英文法を確認し基本的な読解力を高めるようにします。

◆**準備学修** 授業では大学英語の入門としての学習がメインです。そのため基礎学習である文法や語彙力を準備段階で高めていただくことでより授業が活性化します。

◆授業計画〔各 170 分〕

1回目	名詞・冠詞・代名詞 Exercises Short Reading
2回目	進行形・完了形・助動詞 Exercises Short Reading
3回目	分詞・形容詞・副詞 Exercises Short Reading
4回目	比較・前置詞 Exercises Short Reading
5回目	関係詞 Exercises Short Reading
6回目	仮定法 Exercises Short Reading
7回目	Exercises Short Reading の補足 Review 及び確認テスト
8回目	総仕上げと本試験

◆教科書

〔当日資料配布〕

丸沼『Refreshing English Grammar with Short Readings』Asahi Press 1,728円（税込）
(送料 300円)

◆参考書

なし。

◆成績評価基準 形成的な評価（授業への意欲・参加度・課題・小テストなど）40%・本試験 60%で総合的に評価。

◆授業相談（連絡先）：

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆行政法仕組みとその諸活動

〔行政法Ⅰ〕

火曜日

開講単位：2単位 担当者：和知 賢太郎

◆**学修到達目標** 本講義は行政法体系の概略、特に、その制度と理論を把握することができるようになることを目標としています。「行政法とは」、「法律による行政の原理」、「行政を行う組織・活動」を中心とした行政法理論についてできるだけ平易に説明したいと思います。その過程で行政と行政法への関心を深め、行政法を支える理論の概要を理解してもらいたいと思います。

◆**授業方法** 主として講義が中心となります。毎回、それぞれのテーマに応じて講義のレジメおよび必要な資料（プリント）を配布します。講義内容はあらかじめパワー・ポイント原稿にしてありますので、プロジェクターを使用して講義を行います。

◆**準備学修** 原則として、毎週配布するプリントは次回の授業内容を含めたものになっています。講義時には、パワー・ポイントによってプリントの内容を補った部分を各自が確認して下さい。次回の講義の準備としては講義で紹介する参考書などを読んで下さい。

◆**履修条件** 平成27年度夜間スクーリング（春期）「行政法Ⅰ」との積み重ね不可。

◆**授業計画** [各170分]

1回目	①ガイダンス ②行政・行政法とは何か、行政法の特質、行政法の法源など
2回目	①行政上の法律関係 ②「法律による行政の原理」
3回目	①行政の仕組みと行政活動の主体 ②中央と地方の行政組織
4回目	①行政機関（行政庁とその他の行政機関、権限等） ②行政立法（法規命令と行政規則）
5回目	①行政計画（類型、行政計画と「法律による行政の原理」、策定手続等） ②行政契約
6回目	①行政指導（類型、法的統制、行政手続との関係、要綱行政との関係等） ②行政行為（1）（行政行為の概念、行政行為の分類、行政行為と裁量）
7回目	①行政行為（2）（行政行為と裁量、行政行為の附款） ②行政行為（3）（行政行為の諸効力など）
8回目	①行政行為（4）（行政行為の瑕疵、行政行為の取消と撤回） ②最終試験の実施

◆**教科書** 指定しません。

◆**参考書** 指定しません。

◆**成績評価基準** 毎回出席することを前提とし、講義時に実施する5回の小テスト（40%）、最終試験（60%）で総合的に判断します。

◆**授業相談（連絡先）：**

◆ビジネス法入門～企業活動のルールとは

〔商法Ⅰ〕

火曜日

開講単位：2単位 担当者：高岸 直樹

◆学修到達目標 企業活動に関するルールを法律の観点から学ぶことにより、ビジネス上の具体的なシーンで、法的な問題点を指摘し、その解決の糸口を述べることができるようになることを目的とします。商法総則・商行為法を中心に、登記、企業会計、国際取引など企業実務の基礎について修得します。

◆授業方法 入門編から講義形式で行います。また、毎回、授業の最後に論述式の小テストを行います。単なる知識の習得だけではなく、問題点に対し、法律がどのように解決策を提示しているのか考え、説明することが求められます。

◆準備学修 授業範囲につき、テキストを一読し、参照する条文を六法で確認してください。具体的な事例につき、図書館等で文献を調べ、検討しておきましょう。なお、小テストは翌週に返却しますので、必ず復習しましょう。

◆履修条件 平成26年度・平成27年度夜間スクーリング（春期）「商法Ⅰ」との積み重ね不可。

◆授業計画〔各170分〕

1回目	法体系のなかでの企業法制 企業とはなにか、商法の意義、必要性、適用範囲を考えます。
2回目	商人と商行為 商行為とはなにか、商人概念、商人資格の得喪、営業の意義を学びます。
3回目	営業の物的設備1 公示制度としての商業登記、商号の保護の必要性、名板貸を考えます。
4回目	営業の物的設備2 商業帳簿の意義と法的効果、営業譲渡の意義と第三者保護を考えます。
5回目	営業の人的設備 企業取引の補助者を考えます。
6回目	企業と売買取引 企業の売買取引に関する特則について民法の規律と比較し学びます。
7回目	企業取引における注意義務と責任 運送・倉庫・場屋取引に関する規律から、企業取引での注意義務と責任を考えます。
8回目	講義のまとめと試験

◆教科書 〔当日資料配布〕当日プリント配布。

丸沼『現代商取引法』藤田勝利=工藤聰一編 弘文堂 3,024円（税込）（送料300円）

◆参考書 隨時指示します。

◆成績評価基準 平常点20%、1回目から7回目までに実施する小テスト20%、最終試験60%。授業に毎回出席することを前提に評価します。

◆授業相談（連絡先）：

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆日本文学史の初期を理解しよう

〔国文学史Ⅰ〕

火曜日

開講単位：2単位 担当者：加藤 清

◆**学修到達目標** 奈良から平安までの時代を概観しながら、日本文学の歴史的変遷・展開の基礎的な知識をもつことを目標としています。また、そのような展望から、特に散文（古代伝承・物語）を中心として各作品の特質をとおし、文学作品全般について有する諸問題の基礎的な知識が発見できるような考え方を習得することも目標にします。

◆**授業方法** 講義形式での授業となります。文学史ではあるが、授業ではできるだけ作品にふれ講読（解釈と解説）を加えながら、その特色と展開を考えます。そのことから、個別の作品と向かいあったときの周辺知識を確立できるような講義をします。

◆**準備学修** 講読型式の授業内容ではあるが、奈良・平安時代の歴史的事項や文学ジャンルについて、どのような事例があるのか、表面的にでも予備知識があれば、より深く考察できます。

◆**授業計画** [各 170 分]

1回目	〔文学史の立場（はじめに）〕 一科の学問として「文学史」にはどのような視点が求められるのか理解を深めてゆきます。
2回目	「文学の発生」文学史の基礎となる文学の発生各説と文学ジャンルとの関わりについて理解します。
3回目	「『古事記』『日本書紀』『風土記』の成立と特質」神話・古伝承についてその特質を学びます。
4回目	「文字と文学」文字の獲得による文学の変質についての基礎的な視点を学びます。
5回目	「『懐風藻』の成立と特質」漢詩文の展開とその意義について理解します。
6回目	「『竹取物語』の成立」平安時代の物語文学の成立とその時代背景について学びます。
7回目	「『土佐日記』の成立と展開」新しい散文世界について、新たな特質にはどのようなものがあるのか理解します。
8回目	「まとめと試験」それまでの講義の内容を総括して文学史の問題点を理解します。

◆**教科書** [当日資料配布] 当日プリント配布。

◆**参考書** 通材『文学 B11300』 通信教育教材（教材コード 0000406） 2,700 円（送料込）

〈この教材は市販の『文学概論』吉田精一著作集 第24巻』吉田精一（おうふう）と同一です〉

通材『国文学史Ⅰ M30100』 通信教育教材（教材コード 0000087） 2,650 円（送料込）

〈この教材は市販の『日本文学の歴史』高木市之助（武蔵野書院）と同一です〉

※上記は平成27年度の価格です。平成28年度は価格改定が予定されています。平成28年4月1日以降に教材を購入する場合は、『部報』4月号にて改訂価格を確認の上、購入下さい。

◆**成績評価基準** 皆出席を前提として、試験 100%

◆**授業相談（連絡先）** :

◆ 18世紀の英文学からヴィクトリア朝時代まで

〔イギリス文学史Ⅱ〕

火曜日

開講単位：2単位 担当者：猪野 恵也

◆**学修到達目標** 18世紀の英文学からヴィクトリア朝時代までの代表的な作家について知る。

◆**授業方法** レジュメを配布し、それらを読み上げてゆく。

◆**準備学修** 取り上げる作品を翻訳でもいいので一つでも多く読んでおいてほしい。

◆**履修条件** 平成28年度東京スクーリング（6月期）との積み重ね不可。

◆**授業計画** [各 170 分]

1回目	18世紀の英文学概観 / Wordsworth と Coleridge
2回目	John Keats / Jane Austen <i>Pride and Prejudice</i>
3回目	Charlotte Bronte <i>Jane Eyre</i> / Emily Bronte <i>Wuthering Heights</i>
4回目	Charles Dickens <i>Oliver Twist</i> / Thackeray <i>Vanity Fair</i>
5回目	George Eliot <i>Middlemarch</i> / George Meredith <i>The Egoist</i>
6回目	Thomas Hardy <i>Tess</i> / Henry James <i>The Portrait of a Lady</i>
7回目	Joseph Conrad <i>Heart of Darkness</i> / Oscar Wilde <i>The Picture of Dorian Gray</i>
8回目	E.M. Forster <i>Howards End</i> / 試験

◆**教科書** [当日資料配布] 当日レジュメ配布。

◆**参考書** 授業中指示する。

◆**成績評価基準** 試験 70% 平常点 30% 皆出席を前提とする。

◆**授業相談（連絡先）** :

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆ English Composition 2

〔英作文Ⅱ〕

火曜日

開講単位：2 単位 担当者：ダレル ハーディ

◆学修到達目標 In this course we will focus on academic writing skills and composing a cohesive five-paragraph essay. The course objectives are to define academic writing, and review and practice paragraph and essay writing. By the end of the course, students will have more confidence to write a coherent five-paragraph essay.

◆授業方法 We will follow the process writing method for generating topics and ideas for writing, drafting, and revision. We will review the components of a paragraph and five-paragraph essay and look at ways to improve coherence and cohesion. Students are required to attend all classes and submit two essays.

◆準備学修 No preparation is required. Students should have a good understanding of basic sentence structure and be willing to work in groups or pairs.

◆授業計画〔各 170 分〕

1回目	Orientation; introduction to academic writing; and review of paragraph structure.
2回目	From a paragraph to an essay; what is an essay; the structure of an essay; and writing a thesis statement.
3回目	Writing topic sentences of body paragraphs; transitional expressions; and making an essay outline.
4回目	Writing an essay; developing body paragraphs; and writing an introduction. Work on first draft of essay one.
5回目	Supplementary material for the introductory paragraph; and writing a concluding paragraph. Complete first draft of essay one.
6回目	Editing an essay; using pronouns; editing check list. Revise essay one. Create an outline of essay two.
7回目	Peer editing of essay two; and revision.
8回目	Revise and submit essay two.

◆教科書 Course handouts will be provided.

◆参考書 A good dictionary may be useful.

◆成績評価基準 Essay 1 = 40% ; Essay 2 = 40% ; Participation = 20%

◆授業相談（連絡先）：

◆欧米資本主義とアジア・アフリカ

〔経済史総論〕

火曜日

開講単位：2 単位 担当者：飯島 正義

◆学修到達目標 19世紀半ばまでにイギリスを中心とする資本主義的世界体制が形成されたが、その後ドイツ・アメリカなどの経済発展によって世界経済は多極化時代を迎えた。こうした世界資本主義の変化の中で日本をはじめとするアジアやアフリカ諸国がどのように関係してきたのかについて理解を深めていくことを目標とする。

◆授業方法 講義形式。授業は当日配布するプリントを中心に進めていくが、授業時における理解を確認するために数回確認プリント等を行う予定である。

◆準備学修 授業内容が世界史と関連するので高校の世界史の参考書などを事前に読んでおくと理解が深まると思われる。また、通信教材では関係する部分（第13章）が少ないので、参考図書などを事前に読んでおいてほしい。

◆授業計画〔各 170 分〕

1回目	資本主義的世界体制の形成と後進資本主義国の対応 ・イギリスを中心とした資本主義的世界体制の形成と構造について学びます。
2回目	資本主義的世界体制と日本の資本主義化
3回目	帝国主義体制と植民地分割 ・帝国主義体制と植民地支配について学びます。
4回目	欧米資本主義とアジア（1） ・欧米列強とインド・東南アジアについて学びます。
5回目	欧米資本主義とアジア（2） ・欧米列強と中国について学びます。
6回目	欧米資本主義とアフリカ（1） ・欧米列強とアフリカの植民地分割について学びます。
7回目	欧米資本主義とアフリカ（2） ・欧米列強（特に英仏）におけるアフリカの植民地支配について学びます。
8回目	まとめ・筆記試験 ・これまでの総まとめを行います。

◆教科書 **〔当日資料配布〕**教科書は使用しません。当日資料を配布します。

◆参考書 **〔丸沼〕『二〇世紀の歴史』木畠洋一 岩波書店（新書）2014年 928円（税込）（送料 215円）**

◆成績評価基準 平常点（取組み・確認プリント等）：40%，筆記試験：60%

◆授業相談（連絡先）：

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆ 開講講座表及び講座内容（シラバス）

夜間 水曜日

授業日	18:30~21:25							
	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目	8回目 <試験を含む>
	5/18	5/25	6/1	6/8	6/15	6/22	6/29	7/6

※以下の水曜日開講の講座から1講座を選択してください。

講座コード	開講講座名	担当講師名	充当科目		併用	制限・注意		受才 オープン 講演			
			科目コード	科目名		配当学年	受講条件				
B1CA	英語	H 小田井 勝彦	C10100	英語 I	1年	・I~IVのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。					
			C10200	英語 II							
			C10300	英語 III	2年						
			C10400	英語 IV							
B1CB	刑法 I	設楽 裕文	K20300	刑法 I	条件参照	・法律学科のみ1学年以上申込可。 ・その他は2学年以上申込可。					
B1CC	国文学講義Ⅲ（中世）	鹿野 しのぶ	M30700	国文学講義Ⅲ (中世)	2年						
B1CD	スピーチコミュニケーションI	パトリック マッコイ	N30900	スピーチコミュニケーションI	2年						
B1CE	日本史入門	鍋本 由徳	Q20100	日本史入門	条件参照	・史学専攻のみ1学年以上申込可 ・その他は2学年以上申込可 ・履修条件あり（シラバス参照）					
B1CF	証券市場論	高嶋 勝平	S30800	証券市場論	2年						
B1CG	英語科教育法 II	市川 泰弘	T21000	英語科教育法 II	×	2年	・英文学専攻のみ申込可。 ・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。				

注意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。

その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講座内容（シラバス）

◆英文法を学び、読解力向上①

〔英語 H〕

水曜日

開講単位：1 単位 担当者：小田井 勝彦

◆学修到達目標 この授業は、下記に記載のテキストを使用し、高校までに学習した基本的な英文法を復習しながら、短い英語の文章の読解に挑戦していただきます。それにより、正確に英文を理解する力を培い、語彙力、英文読解力を向上させることを目指していきます。

◆授業方法 各章まずは文法事項の解説をし、受講者を指名し、文法問題に挑戦していただきます。その後、ショートリーディングをCDで音声を確認し、指名された受講者に一文ずつ音読し、日本語に訳していただきます。

◆準備学修 事前に文法問題に解答し、ショートリーディングの英文を日本語に訳して下さい。

◆授業計画〔各 170 分〕

(以下の計画は進度により変更となる場合があります)	
1回目	ガイドンス Unit 1 名詞 (pp.2-3, p.56) Unit 2 冠詞 (p.4-5, p.57)
2回目	Unit 3 代名詞 (1) (pp.6-7, p.58) Unit 4 代名詞 (2) (pp.8-9, p.59)
3回目	Unit 5 基本時制 (pp.10-11, p.60) Unit 6 進行形 (pp.12-13, p.61)
4回目	Unit 7 完了形 (pp.14-15, p.62) Unit 8 助動詞 (1) (pp.16-17, p.63)
5回目	Unit 9 助動詞 (2) (pp.18-19, p.64) Unit 10 受動態 (1) (pp.20-21, p.65)
6回目	Unit 11 受動態 (2) (pp.22-23, p.66) Unit 12 不定詞 (1) (pp.24-25, p.67)
7回目	Unit 13 不定詞 (2) (pp.26-27, p.68)
8回目	復習 期末テスト

◆教科書 福井慶一郎ほか『読解力をみがく基本英文法』朝日出版社、201 1,728円（税込）（送料300円）

◆参考書 なし。

◆成績評価基準 期末テスト 70%、平常点 30%（予習の有無、授業への参加度など）により評価します。

◆授業相談（連絡先）：

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆刑法の考え方を学ぶ

(刑法 I)

水曜日

開講単位：2 単位 担当者：設楽 裕文

◆学修到達目標 「刑法ないし刑法学は何のためにあるのか」という視点から、刑法ないし刑法学一通りわけ刑法解釈のあるべき姿を求め、刑法の解釈適用について、その妥当性を批判的に検討できる力（このような力は、裁判員裁判の行われる現代社会において必要不可欠である）の獲得を目標とする。また、「法学」を学んでいることが望ましい。

◆授業方法 1日目から7日目までは講義+小テスト（解答時間30分）、8日目は講義+試験（解答時間60分）

◆準備学修 事前に教科書をよく読んで問題点を見つけておくとよい。参考書『現代の判例と刑法理論の展開』の1～14（1～208頁）、17（235～247頁）は目を通しておくことが望ましい。

◆授業計画【各170分】

1回目	授業全体の説明、刑法を学ぶにあたって注意すべきこと、刑法の意義・性格、刑法の機能、刑法の解釈、刑法の基本原則、刑法の適用範囲、 小テスト ※刑法ないし刑法学は何のためにあり、罪刑法定主義などなぜ基本原理になっているか等を学ぶ。
2回目	犯罪論総説、行為、構成要件総説、実行行為、因果関係、 小テスト ※主として、犯罪論のうち構成要件関係の諸事項を因果関係まで学ぶ。
3回目	主觀的構成要件要素、早すぎた構成要件実現等、違法性阻却事由の意義等、正当行為、 小テスト ※2日目に統いて構成要件関係の諸事項を検討し、違法性に関し正当行為までを学ぶ。
4回目	正当防衛、緊急避難、責任能力、原因において自由な行為の理論、責任故意、責任過失期待可能性、 小テスト ※違法性阻却事由のうち正当防衛、緊急避難、責任関係の諸事項について学ぶ。
5回目	未遂犯総説、実行の着手、中止未遂、共犯論総説、共同正犯、 小テスト ※未遂犯の諸事項のほか、共犯論について共同正犯までの諸事項を学ぶ。
6回目	教唆犯、従犯、共犯と身分、 小テスト ※主として、教唆犯、従犯に関する諸事項を学び、共犯と身分について考える。
7回目	不作為と共犯、予備と共犯、共犯と錯誤、共犯と正当防衛・過剰防衛、 小テスト ※6日目に統いて任意的共犯全体にかかる諸事項を共犯と正当防衛・過剰防衛まで学ぶ。
8回目	共犯関係からの離脱、共犯と中止未遂、罪数論、刑罰論、まとめ、 試験 ※主として、共犯関係からの離脱について学ぶ。罪数論、刑罰論については簡潔に触れるにとどめる。

◆教科書 丸沼『法学刑法1総論』 設楽裕文編 信山社 1,296円（税込）（送料300円）

◆参考書 丸沼『現代の判例と刑法理論の展開』板倉宏監修・著 八千代出版 4,104円（税込）（送料300円）

丸沼『法学刑法5判例インデックス1000』 設楽裕文編 信山社 3,456円（税込）（送料300円）

◆成績評価基準 小テスト49%（1回7%）、試験51%とする。最低限、2回分の小テストと試験を受験しないと（60%に達しないため）単位はつかない。なお、小テスト・試験の追試験やレポートへの変更等は行わない。

◆授業相談（連絡先）：

◆鴨長明の作品から中世の隠者の思想を学びましょう 〔国文学講義Ⅲ（中世）〕

水曜日

開講単位：2 単位 担当者：鹿野 しのぶ

◆学修到達目標 亂世を生きた鴨長明の作品の特質について学びます。俗世を捨てた鴨長明がたどり着いた心穏やかな生活を理解し、現代を生きる私たちの生活を顧み通じる部分などについて考えます。

◆授業方法 プリントを用いて、講義形式で授業を行うことが中心となります。テーマによっては質疑や感想・意見を述べる、また、本文の朗読など受講生が発言する時間を設けます。作品ごとに小テストを行います。

◆準備学修 その回で取り上げる作品について、文学辞典などで調べておくと良いでしょう。また、その本文（前の回にプリントを配布します）を事前によく読んでおきましょう。

◆授業計画〔各 170 分〕

1回目	鴨長明の伝記とその周辺。 鴨の氏人、賀茂祭、賀茂行幸、長明の祖父・父母などについて学びます。
2回目	鴨長明の和歌。歌人としての長明に注目します。 無名抄について①内容読解（前回配布するプリントをよく読んでください。）
3回目	無名抄について②その内容を理解し、長明の人物像について考えます。
4回目	方丈記について①隨筆というジャンルについて学び、内容読解をします（前回配布するプリントをよく読んでください。）
5回目	方丈記について②その内容から、長明の思想について考えます。
6回目	発心集について①仏教説話の特質について学び、内容を読解します（前回配布するプリントをよく読んでください。）
7回目	発心集について②長明が心の安定のために求めた数寄の境地と無常観について考えます。
8回目	まとめ これまでの講義をまとめます。ノート・プリントをよく読んでください。 到達度の確認テストを行います。

◆教科書 **〔当日資料配布〕** 使用しません（担当者が用意したプリントを使います）。
古語辞典を持参すると良いでしょう。

◆参考書 講義の中でできるだけ多く紹介します。

◆成績評価基準 試験（50%）、小テスト（20%）、平常点〈積極的な発言など〉（30%）。毎回出席することを前提として評価します。

◆授業相談（連絡先）：

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆ Speech Communication I

水曜日

〔スピーチコミュニケーション I〕

開講単位：1 単位 担当者：パトリックマッコイ

◆**学修到達目標** Since this is a speech communication class, I expect you to try your best to speak English at all times (part of your grade will be based on participation)

There are no prerequisites for this class, so I expect there will be a mixture of students with a variety of language ability in English. For students who have had little experience studying English communication, this class may seem quite difficult – please try your best. For students who have studied English communication or have lived abroad, this course may seem rather easy; however, I expect you to do your best and help other students. Your grade for the speaking test will be based on your effort to communicate using the Language covered in this course. Your grade will NOT be based on your overall language ability.

◆**授業方法** 1. To use English for communication with a focus on fluency.

2. To review basic language to talk about general themes.

3. To reduce student apprehension towards communicating in English.

◆準備学修

◆授業計画〔各 170 分〕

1回目	Orientation; introducing your partner (<i>Getting To Know You</i>) ; Talking About Interests, Values Topics discussion.
2回目	<i>Famous Firsts</i>
3回目	<i>Talking About Routines</i>
4回目	<i>Talking About Appearance and Personality</i>
5回目	<i>Culture and Communication 1</i> : Individual Characteristics and Communication Styles
6回目	<i>Culture and Communication 2</i> : Communication at Work
7回目	<i>First half</i> : Speech Example: Alex Kerr's TEDXTALK : Sustainable Tourism. <i>Second half</i> : Preparation for presentations of topics from previous lessons.
8回目	Written and Oral Tests.

◆**教科書** No text-handouts provided by instructor.

◆参考書

◆**成績評価基準** Class participation : 60% Written test : 20% Speaking test : 20%

◆授業相談（連絡先）：

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆日本史研究へのアプローチ

〔日本史入門〕

水曜日

開講単位：2 単位 担当者：鍋本 由徳

◆学修到達目標 本科目は日本史研究のための基礎科目です。「入門=簡単」との意味ではありません。研究入門としての専門的理解を深めます。特に、日本史研究での着眼、研究方法の理解・修得を主たる目的とします。本講義は昼間スクーリング前期「日本史入門」と同じ内容です。

◆授業方法 原則として講義形式です。教科書とは異なる事例を使うことも多いので、プリント、スクリーンなどを併用しながら要点を説明します。

◆準備学修 教科書の内容を事前把握していることが前提となりますので、教科書を読んでおいてください。教科書を読む時は、「どのように考えるのか」を意識しながら読むとよいでしょう。

◆履修条件 平成 28 年度昼間・土曜スクーリング（前期）「日本史入門」との積み重ね不可。

◆授業計画〔各 170 分〕

1回目	文学と歴史学／映画で学ぶ歴史
2回目	時代劇と史実の違い／祭と地域社会
3回目	盛り場と都市論／開発と近代の発展
4回目	歴史からみる借金問題／中世村落から近世村落へ
5回目	職業と「伝統」と地域／住まいからみる日本社会
6回目	天変地異からみる日本史／近代教育と音楽
7回目	人生儀礼／宗教と日本史
8回目	日本史の学修と研究／最終試験

◆教科書 **〔当日資料配布〕** 必要に応じて、当日参考プリントを配布。

通材『日本史入門 Q20100』通信教育教材（教材コード 000484）3,500 円（送料込）

〈この教材は市販の『方法教養の日本史』竹内誠他著（東京大学出版会）と同一です〉

※上記は平成 27 年度の価格です。平成 28 年度は価格改定が予定されています。平成 28 年 4 月 1 日以降に教材を購入する場合は、『部報』4 月号にて改訂価格を確認の上、購入下さい。

◆参考書 **〔丸沼〕**『史料 教養の日本史』竹内誠他編 東京大学出版会 2,592 円（税込）（送料 300 円）

※購入義務はありません

◆成績評価基準 最終試験（70%）、授業内小テスト（30%）の総合評価 ※全回出席を前提とした評価です。

◆授業相談（連絡先）：

◆真の証券市場の理解と身近なものにするため

〔証券市場論〕

水曜日

開講単位：2 単位 担当者：高嶋 勝平

◆学修到達目標 ・証券業界の全体像を把握・理解する。また、関係する団体等の関係者について理解する。

・証券会社が取扱っている商品知識を習得し、どのように取扱われているかを理解する。

◆授業方法 ・基本は授業計画に沿った講義方式を採る。

・その中で新聞（特に日経紙）、雑誌等に掲載された業界関連記事についての質疑応答、解説を踏まえたディスカッション方式を採る。

◆準備学修 証券界に関連する新聞記事、雑誌記事をスクラップしておくこと。

◆授業計画〔各 170 分〕

1回目	・講義の方向性について ・証券市場論について ・証券会社について（証券会社の定義）
2回目	・証券会社について（業務の機能と教訓、実態）
3回目	・証券会社について（証券会社の業務内容） ・〃（取扱う商品：エクイティ、債権）
4回目	・証券会社について（取扱う商品：証券投資信託、デリバティブ、他） ・中間試験
5回目	・証券会社について（取引の実際：流通市場、発行市場） ・〃（リスクマネジメント、コンプライアンス等）
6回目	・証券市場における利害関係者（自主規制団体、監督官房、その他）
7回目	・証券市場における雑賀関係者（証券取引所）
8回目	・証券市場と取りまく環境の変遷 ・試験

◆教科書 **〔事前資料送付〕** **〔当日資料配布〕** 資料配布。通信教育部の教科書は内容が古いので使用せず。

◆参考書 特になし。

◆成績評価基準 ・試験（中間と最終日）を重視（80%程度）

・講義中の平常点（質疑応答の内容、ディスカッションへの参加等）も考慮（20%程度）

◆授業相談（連絡先）：

◆新しい英語教員をめざして

〔英語科教育法Ⅱ〕

水曜日

開講単位：2単位 担当者：市川 泰弘

◆**学修到達目標** 本講義ではこれまで行われてきた英語教育、さまざまな教授法を概観しながら、日本の英語教育の現状を理解し、教える側の資質、能力はどのようなものであるべきかを考えていきます。また、学校で英語を教える場合のソフト面・ハード面についても考察していきます。

◆**授業方法** グループディスカッションを中心にテーマごとにまとめてもらい発表してもらいます。したがって、事前に教科書を熟読して、積極的に講義に参加してもらいたいと思います。

◆**準備学修** 講義では事前に学習し、理解した内容に踏まえ、新たな資料等を用いて、テーマディスカッションをしてもらうことになります。従って、教科書は事前にそれぞれのテーマに関わる部分を読み、自分でまとめてみてください。

◆授業計画〔各 170 分〕

1回目	オリエンテーション、日本の英語教育の歴史－明治時代と日本の英語教育、戦前・戦中の英語教育、戦後の英語教育、テーマディスカッション レポート作成
2回目	学習指導要領について：目的、言語教材、受験英語 テーマディスカッション レポート作成
3回目	英語教授法について：教授法とは？ テーマディスカッション レポート作成
4回目	英語教授法について（1）：Grammar Translation Method, Direct Method, Eclectic Method テーマディスカッション レポート作成
5回目	英語教授法について（2）：Communicative Approach, Audio-lingual / Audio Visual テーマディスカッション レポート作成
6回目	最近の英語教育の動向：Task – based, Situation based approach テーマディスカッション レポート作成
7回目	指導方法の改善と英語教員 テーマディスカッション レポート作成
8回目	英語教員の役割と要件 テーマディスカッション レポート作成

◆教科書 事前資料送付〔当日資料配布〕資料配付（事前および当日行います）。

通材『英語科教育法Ⅱ T21000』 通信教育教材（教材コード 000490） 3,300円（送料込）

〈この教材は市販の『新しい時代の英語科教育の基礎と実践』JACET 教育問題研究会編（SANSHUSA）と同一です〉

※上記は平成 27 年度の価格です。平成 28 年度は価格改定が予定されています。平成 28 年 4 月 1 日以降に教材を購入する場合は、『部報』4 月号にて改訂価格を確認の上、購入下さい。

◆参考書 因沼『英語授業改善のための処方箋：マクロに考えミクロに対処する』金谷 憲著 大修館書店 1,944円（税込）（送料 300円）

丸沼『Teaching by Principles – An Interactive Approach to Language Pedagogy (3rd Edition)』
Brown, H.D. Longman 5,389円（税込）（送料 350円）

◆成績評価基準 出席・発表・レポートなどで総合的に判断します。詳細は第1回目の講義で説明します。 特に、テーマディスカッションを行うので、講義内での発表やレポートが重要となります。

◆授業相談（連絡先）：

◆ 開講講座表及び講座内容（シラバス）

夜 間 木曜日	時間	18:30 ~ 21:25							
	授業日	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目	8回目 <試験を含む>
		5/19	5/26	6/2	6/9	6/16	6/23	6/30	7/7

※以下の木曜日開講の講座から1講座を選択してください。

講 座 コード	開 講 講 座 名	担当講師名	充 当 科 目		併 用	制 限・注 意		受オ ープ 講ン		
			科 目 コ ー ド	科 目 名		配当 学年	受 講 条 件			
B1DA	政 治 学	関根 二三夫	B11700	政 治 学		1年				
B1DB	英 語 J	アレックス ブラウン	C10100	英 語 I		1年	・ I ~ IV のいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。			
			C10200	英 語 II						
			C10300	英 語 III		2年				
			C10400	英 語 IV						
B1DC	英 語 K	谷村 航	C10100	英 語 I		1年	・ I ~ IV のいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。			
			C10200	英 語 II						
			C10300	英 語 III		2年				
			C10400	英 語 IV						
B1DD	地 方 自 治 論	山田 光矢	L30800	地 方 自 治 論		2年				
B1DE	知 的 財 産 権 法	三村 淳一	K31400	知的財産権法		2年				
B1DF	英 語 学 演 習 C	真野 一雄	N401S0	英語学演習 I		× 3年	・ 英文学専攻のみ申込可。 ・ I ~ III のいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。			
			N402S0	英語学演習 II						
			N403S0	英語学演習 III						
B1DG	現 代 教 職 論	古賀 徹	T10100	現 代 教 職 論	×	2年	・ スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。			
B1DH	博 物 館 展 示 論	岡部 幹彦	Y20800	博物館展示論	×	2年	・ スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。			

注意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。

その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講座内容（シラバス）

◆政治を基礎から学びましょう

〔政治学〕

木曜日

開講単位：2単位 担当者：関根 二三夫

◆学修到達目標 基礎教育としての講義を行います。議会及び内閣若しくは大統領の動きを見ますと、政治が難しい事のように思われます。しかし、法律や予算の制定や執行は、国家や社会や個人の発展に寄与するものです。この講義においては、政治が我々の生活に大きな影響を及ぼすと同時に、政治が我々にとって身近な現象であることを学びます。

◆授業方法 講義形式で行います。講義においては、政治に関する受講生の問題意識を高め、それに対する解決能力を啓発するように進めて行きます。講義で知り得た内容が如何なる意義を有するのか、それが個人や社会や国家にとってどのように関係してくるのかを理解しなければなりません。受講に際しては、予習や復習が必要になります。

◆準備学修 政治学は社会科学のカテゴリーに入り、人間社会を対象にする学問です。現実の社会を理解し、社会における問題を解決して、あるべき社会を築く必要があります。学修の準備として、メディアの情報に关心を持ち、テキストを参考に各単元2時間程度の予習と、2時間程度の復習が必要になります。

◆授業計画〔各 170 分〕

1回目	政治学の変遷、政治の概念 ※政治学は長い歴史を有していること、現実の政治とは何かを学びます。
2回目	政治の本質、政治権力（概念・構造） ※あるべき政治とは何か、政治の世界における力関係や影響力、政治権力の仕組みを学びます。
3回目	政治権力（支配の手段）、国家（成立の要素・分類） ※支配の典型的な手段、国家を成立させる要素、一定の基準に基づく国家の分類を行います。
4回目	議会政治（沿革・原理）、議会の構成、立法部と行政部 ※議会政治の歴史や議会政治の基本的な考え方、一院制や二院制、議院内閣制や大統領制について学びます。
5回目	選挙制度の原則、選挙区の画定、選挙区制、代表選出の形態 ※選挙の仕組みを支える基本的な原則、選挙区を作成し決定するための基本的な考え方、代表を選出する方法などを学びます。
6回目	政党（概念・特徴・発展過程・機能・問題点） ※政党とは如何なるものか、特徴や沿革、機能や問題点を学びます。
7回目	圧力団体（概念・特徴・活動・問題点） ※圧力団体とは如何なるものか、特徴や活動、問題点を学びます。
8回目	コミュニケーションとリーダーシップ ※コミュニケーションの機能、類型、方向、リーダーの役割について学びます。

◆教科書 通材『政治学 B11700』通信教育教材（教材コード 000279）1,800円（送料込）

※議会、内閣、裁判所の統治機構に関する解説、選挙、政党、圧力団体などの政治過程に関する解説に重点が置かれています。

※上記は平成27年度の価格です。平成28年度は価格改定が予定されています。平成28年4月1日以降に教材を購入する場合は、『部報』4月号にて改訂価格を確認の上、購入下さい。

◆参考書 丸沼『教養政治学』岩井奉信、黒川貢三郎、関根二三夫他 南窓社 3,132円（税込）（送料350円）

※政治学の変遷、政治の概念、統治機構、政治過程などの解説に重点が置かれています。

◆成績評価基準 試験 70%，平常点 30%

※試験同様、質問や理解度テストへの解答等平常点も重視しますので、受講に際しては欠席をしないよう注意して下さい。

◆授業相談（連絡先）：

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆ English Communication Skills

〔英語 J〕

木曜日

開講単位：1単位 担当者：アレックス ブラウン

◆学修到達目標 In this course we will study, comprehend and use natural English dialogue from scenes of a popular movie, Notting Hill, starring Julia Roberts and Hugh Grant.

◆授業方法 We will use the scenes from the movie for listening comprehension, vocabulary usage and expansion with further practice of idioms and expressions used in the dialogue of the movie.

◆準備学修 Prepare to discuss comprehension questions provided by the teacher in a group format.

◆授業計画〔各 170 分〕

1回目	Introduction, Movie viewing Scene 1 vocabulary study
2回目	Scenes 1 & 2 comprehension questions and role play
3回目	Scenes 3 & 4 vocabulary study
4回目	Scenes 3 & 4 comprehension questions and role play
5回目	Movie viewing Scenes 5 & 6 vocabulary study
6回目	Comprehension questions and role play
7回目	Vocabulary quiz, Review for Final
8回目	Final Test

◆教科書 No text will be required. Students will be provided with handouts. students are expected to bring a notebook, dictionary and a folder for notes.

◆参考書 None.

◆成績評価基準 Grades will be based on attendance, class activities, participation and the final written comprehension test.

◆授業相談（連絡先）：

◆『クリスタルのことばの世界』を読む（1）

〔英語 K〕

木曜日

開講単位：1単位 担当者：谷村 航

◆学修到達目標 本講座は英語のリーディングに焦点を当てた講座です。外国語で書かれた本を読むとなると、本の内容を理解する前にその外国語の「ことばに関する知識」を知っている必要があります。本講義では英語を読む際に必要となる基礎的な文法、語法を確認しながら丁寧に読んでいき、授業終了後に基礎的なくことばに関する知識>が身に着くことを目標とします。

◆授業方法 輪読形式で授業を行います。毎授業で、教員が任意に分担を決め、学生のみなさんに訳を読み上げてもらいます。その後、教員が解説、補足をおこない、各 Chapter の終わりの EXERCISES を通して、理解を深めます。

◆準備学修 授業で使用する教科書の予習をしてきてください。具体的な手順としては、①知らない語句・表現を辞書で調べる、②本文を読んでくる、以上 2 点の予習をしてきてください。

◆授業計画〔各 170 分〕

1回目	リーディング・スキル（1）：単語の推測の仕方、代名詞について、文脈の影響 リーディング・スキル（2）：主題の把握の仕方、パラグラフの構造について、小テスト
2回目	CHAPTER 1 Discovering Grammar (子供の文法の発見), 小テスト
3回目	CHAPTER 2 Grammar Rules and Variations (文法規則と文法変異), 小テスト
4回目	CHAPTER 3 Accents and Dialects (なまりと方言), 小テスト
5回目	CHAPTER 4 Being Bilingual (バイリンガリズム), 小テスト
6回目	CHAPTER 5 The Languages of the World (世界の言語), 小テスト
7回目	CHAPTER 6 Sign Language (サイン言語), 小テスト
8回目	総まとめ、最終（期末）試験

◆教科書 丸沼『The Wonderful World of Language クリスタルのことばの世界』
David Crystal (著) 岡田伸夫 (編訳) 成美堂 1,974 円 (税込) (送料 300 円)

◆参考書 使用しません。

◆成績評価基準 最終（期末）試験（70%）、小テスト（30%）で評価します。

◆授業相談（連絡先）：

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆地方自治制度の実態と改革の方向性を探る

(地方自治論)

木曜日

開講単位：2 単位 担当者：山田 光矢

◆**学修到達目標** 人類の歴史と家族や集落や地方組織や国家の誕生と発展から地方自治制度展開の歴史と現状をヨーロッパ諸国と日本の比較、主権と自治権と人権の関係からの自治権の本質の分析、次いで明治維新から現在までの日本の地方自治制度の確立と変遷の理解、日本の地方自治制度改革の目的と政策の各時代の特徴の分析などを通じて、日本の地方分権改革の現状と今後のあり方に対する自分の考えを確立する。

◆**授業方法** 講義形式を中心に行いますが、一方的な講義にならないように、受講生に質問をしたり、受講生の考えを述べてもらったりして、皆さんの知識や理解度を高めていくことを前提にして行います。必要に応じて資料を配布し、受講生の考え方や判断を聞いてそれに答えるような形で講義を進めます。また必要に応じて小テストやアクションペーパーの提出を求め、皆さんの理解度や興味なども勘案した講義を行います。

◆**準備学修** 日本の地方自治制度改革の必要性とそのあるべき方向性に関する受講生の考えを確立してもらうことを目的にしています。そのためには基礎知識の積み重ねが必要となりますので、少なくとも教科書の関連ある部分に目を通してきてください。また今後のこととも考えもらいますので、マスコミの地方行政に関する記事に目を通して、今行われている地方自治制度改革の実態や現状に関する知識も身に着けてきてください。

◆授業計画【各 170 分】

1回目	「take off の原理」を通してみる国家と地方公共団体の関係 国民国家の誕生と地方自治制度、地方公共団体と自治権等
2回目	ヨーロッパの主要国と日本の地方自治制度の比較 発展の歴史および法制度等による相違や選挙等を通してみた地方行政政策の相違等
3回目	明治維新後の日本の地方自治制度の変遷 廃藩置県、大区・小区制、三新法、明治の大合併、大日本帝国憲法と自治制度
4回目	日本国憲法と自治制度 日本国憲法第八章と地方自治制度、地方自治法
5回目	地方自治法と地方自治制度 国と地方公共団体の関係、地方公共団体の種類等
6回目	広域合併と地方自治制度 I 昭和の大合併と全国総合開発計画、広域市町村圏と大都市周辺地域広域行政圏
7回目	広域行政と地方自治制度 II 平成の大合併と定住自立圏・地域自治組織等
8回目	地方自治制度改革の二つの流れ：広域行政の推進とコミュニティ再興 試験

◆**教科書** 当日資料配布 必要に応じて配布します。

内沼『地方自治論』山田光矢・代田剛彦編 弘文堂 2,160 円（税込）（送料 300 円）

◆**参考書** 必要に応じて紹介します。

内沼『政治学』山田光矢 弘文堂 2,160 円（税込）（送料 300 円）

◆**成績評価基準** 試験を 60% 程度、小テストやアクションペーパー等を 20% 程度、出席や受講姿勢等を 20% 程度として、総合的に判断して評価します。自主的にレポートを提出した場合には内容に応じて加点します。

◆**授業相談（連絡先）：**

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆特許・意匠・商標・著作権の基礎知識

〔知的財産権法〕

木曜日

開講単位：2 単位 担当者：三村 淳一

◆学修到達目標 知的財産権は、企業の運命を左右する重要な財産である。本講義は、知的財産権の中でも中核をなす特許法・実用新案法を中心に、概要及び制度を理解することを目的とし、また意匠法・商標法・著作権法・関連条約についても基礎的な知識の習得を行うことを目的とする。さらに、知的財産権を巡り、どのような争いがなされているのかを理解する。

◆授業方法 講義形式による授業を行う。講義では、各法毎に、法目的などの基本的な解説から始め、さらに、PPT を用いることにより視覚を通じて法律の理解を深めるような工夫をしている。従い、各法の予備知識が無くても講義内容が理解できるような形態としている。尚、授業では、受講者に逐次質問する予定である。また、授業では条文を参照することが多いので、工業所有権法令集を持参すること。

◆準備学修 スクーリング開始前に、教科書は一読して置き、知的財産権法の概略を掴んでおく。また、参考書を利用し、各講義前に、講義内容に関する該当箇所を読んでおく。

◆授業計画〔各 170 分〕

1回目	知的財産権法の概要 特許法（1）：特許法の目的及び特許権成立までの概略
2回目	特許法（2）：特許要件（発明性、産業上の利用可能性） 特許法（3）：特許要件（新規性、進歩性）
3回目	特許法（4）：新規性喪失の例外及び不特許事由 特許法（5）：先願主義と拡大された先願の地位
4回目	特許法（6）：出願公開制度と補償金請求権 特許法（7）：特許権の効力と効力が及ばない範囲
5回目	特許法（8）：職務発明 実用新案法：権利取得までの概略、技術評価書、特許法との相違
6回目	条約：パリ条約と特許協力条約 意匠法：概要、登録要件、特殊な意匠
7回目	商標法：概要、登録制度、マドリッドプロトコル 著作権法：概要、著作権、著作権の制限、著作隣接権、二次的著作物
8回目	知的財産権の活用：ライセンス、訴訟 試験

◆教科書 丸沼『知的財産権法入門（第15版）』土肥一史 中央経済社 3,672円（税込）（送料350円）

◆参考書 『産業財産権標準テキスト（総合編）第4版』工業所有権情報・研修館
※知財という用語さえ知らない人用。増刷しないらしいので、必要に応じ、Amazonで購入してください。
丸沼書店でも取り扱いはありません。

◆成績評価基準 毎回出席することを前提に、試験（60%）、授業への参加や貢献による平常点（40%）により行う。

◆授業相談（連絡先）：

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆英語学を基礎から学びましょう

〔英語学演習 C〕

木曜日

開講単位：1単位 担当者：真野 一雄

◆学修到達目標 英語という言語がどういう仕組みになっているのか、音、語、文それぞれのレベルで、英文学専攻の学生として必要な知識を修得し、説明できるようになることを目的とします。

◆授業方法 テキストの解説、補足説明を行い、用例を正しく認識し、理解を深めていきます。

◆準備学修 重要語、用例については特に注意して、テキストを読み、理解できるところ、できないところを自覚しておいてください。

◆授業計画〔各 170 分〕

1回目	第4章 統語論 機能的構文論 1. はじめに 2. 文の情報構造 3. 視点
2回目	第4章 統語論 機能的構文論 3. 視点
3回目	第5章 語彙意味論 1. 語の意味 2. 意味関係 3. 多義
4回目	第5章 語彙意味論 4. 名詞の意味：可算と不可算 5. 動詞の意味
5回目	第6章 認知意味論 1. 認知言語学 2. カテゴリー化とプロトタイプ 3. メトニミー 4. 語の意味
6回目	第6章 認知意味論 5. 抽象概念とメタファー 6. 事態の解釈 7. 概念融合
7回目	第7章 語用論 1. 語用論という領域 2. 発話の論理形式 3. 表意 4. 推意 5. 概念的情報を持つ表現
8回目	第7章 語用論 6. 手続き的情報を持つ表現 7. 記述的使用と帰属的使用 8. 日英比較 試験+質疑応答

◆教科書 丸沼『日英対照 英語学の基礎』くろしお出版 1,944円（税込）（送料300円）

◆参考書 通材『英語学概説 N30700』通信教育教材（教材コード000400）3,050円（税込）
(※学修指導書付き)

※上記は平成27年度の価格です。平成28年度は価格改定が予定されています。平成28年4月1日以降に教材を購入する場合は、『部報』4月号にて改訂価格を確認の上、購入下さい。
その他の英語学入門書、概説書など。

◆成績評価基準 試験（100%）で評価します。（試験は途中退出なしです）毎回出席することを前提として評価します。

◆授業相談（連絡先）：

◆教師としての考え方

〔現代教職論〕

木曜日

開講単位：2単位 担当者：古賀 徹

◆学修到達目標 教職の意義、教員の資質、及び教員の役割、教員の職務内容（服務）、等に関する理解を深めることをねらいとする。自らの教職者としての適性を問い合わせ、教員に必要なものとは何かを考え深めることとする。現代の教育の現実的問題に焦点をあてて考察していく。

◆授業方法 講義形式を中心とするが、アクティブラーニング型の授業方式もとりいれる。活動・学習ごとにワークシート（ミニレポート）を書くこととそのフィードバックにより、さらに学習効果があがるよう試みる。

◆準備学修 この授業では、教員養成の段階で学んでおくべき事項や学校現場で直面する課題を《題材》としてとりあげ、諸々の課題に対して“教員としてどのように考えるのか”という意識・心得をつくりあげられるようにするのがねらいです。授業以外にも、様々な教育問題、教育に関する話題・情報について関心をもち、のぞんでください。2回目までに、各々過去に受けた教育から判断できる「教師に必要とされる能力」について考え、ノート等に記し、発言の準備をしておくこと。10回目までの内容では「教師としてどのように動くべきか」という判断力について考えていくので、事前に様々なケースを想定してシミュレーションしておくこと。

◆授業計画〔各 170 分〕

1回目	① 教職を履修する意味（学習指導・生活指導） ② 教師の他者理解能力
2回目	① 教師の一日常・教師の成長 ② 理想の教師とは？（グループワーク）
3回目	① 仮想・教職員会議（ロールプレイ） ② 学級運営・学習指導
4回目	① 最近の子ども事情（非行） ② 最近の子ども事情（いじめ）
5回目	① 最近の子ども事情（不登校） ② 最近の子ども事情に関する総括的ロールプレイ
6回目	① 教師観・教員養成の歴史的変遷（近代以降） ② 諸外国の教師養成のしくみ
7回目	① 法律上の教師（教員） ② 教員の研修（向上するための現職教育）
8回目	① 現場で求められる力とは？

◆教科書 [当日資料配布] 資料・レジュメを配布する。

◆参考書 授業中に指示する。適宜に資料・レジュメを配布する。

◆成績評価基準 この授業の評価は、授業への参加（グループ学習含む）、提出物・課題、試験成績の総合的評価とする。出席状況の悪いもの、課題未提出の場合は評価を行なわない。

◆授業相談（連絡先）：

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆モノ・コト・ヒトのストーリーを紡ぐ

〔博物館展示論〕

木曜日

開講単位：2単位 担当者：岡部 幹彦

◆学修到達目標 「有形、無形の人類の遺産とその環境」をキーワードに博物館の主要な機能の一つである展示とは何か、加速する情報社会にあって、モノを観ること、モノを展示することの意味を探り、展示の意義および理念について理解する。また、内外の展示事例を通じて展示および展示のプロセスの実際を学び、展示に係る基礎的な能力を身につける。

◆授業方法 毎回の授業用に作成した資料プリントを配布し、スライドを用いて講義形式で進行することを基本とする。積極的な学修姿勢と理解を促すため、適宜テーマを設けて意見を求める。また、映像資料や実物資料を用いて多様な視点を提供するとともに、展示計画の作成体験をする。

◆準備学修 多くの博物館・美術館のウェブサイトを見、身近な博物館・美術館を訪れて館案内リーフレットや展示リスト等を入手し、少なくとも利用者として博物館・美術館を理解しておくこと。また、特別展（企画展）や常設展を観覧して、展示テーマや展示構成、展示方法、展示設備等と、観覧者の反応などを観察すること。

◆授業計画〔各170分〕

1回目	《ガイダンス》授業の進め方と留意点 《展示とは何か》をテーマに以下の項目を学修する。 博物館の機能と展示の定義、館種と展示の種類・方法
2回目	《展示と観る行為》をテーマに以下の項目を学修する。 観る行為と情報との関係、展示と資料情報、モノを観るとはどういうことか（実物資料を使用）、循環・発展する観覧のサイクルを作る
3回目	《展示とテーマ》をテーマに以下の項目を学修する。 モノ・コト・ヒト・環境、個々の資料と資料群、空間軸・時間軸とテーマの設定、テーマを構成するセクションとその要素
4回目	《展示環境とリスクマネジメント》をテーマに以下の項目を学修する。 資料劣化の要因と展示環境、展示施設と展示設備、ファシリティーレポート、展示のリスクマネジメント、保険と国家補償、展示と関連法規
5回目	《展覧会》をテーマに以下の項目を学修する。 常設展・特別展・企画展、展覧会の型式、展覧会の経費と収入、常設展の新たな可能性、
6回目	《展示の実務—構想・計画から展示作業》をテーマに以下の項目を学修する。 展示構想の要点、準備プロセスと各種の交渉・連携、展示と演出、展示計画とセクション・順路の設定、企画展実施計画書の作成実習
7回目	《展示と教育》をテーマに以下の項目を学修する。 展示による教育活動と自由な学び、展示解説・情報提供のあり方と学芸員の役割、展示と情報機器、展覧会関連事業
8回目	《まとめ》今日の博物館の課題と展示の可能性、学芸員の果たす役割 《試験》

◆教科書 〔当日資料配布〕 使用しない。資料プリントを当日配布

◆参考書 **通材**『博物館概論 Y20300』 通信教育教材（教材コード 000492） 2,500円（送料込）

〈この教材は市販の『新時代の博物館学』全国大学博物館学講座協議会編（芙蓉書房出版）と同一です〉

※上記は平成27年度の価格です。平成28年度は価格改定が予定されています。平成28年4月1日以降に教材を購入する場合は、『部報』4月号にて改訂価格を確認の上、購入下さい。

◆成績評価基準 授業への取り組みと試験により総合的に評価する。

◆授業相談（連絡先）：

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆ 開講講座表及び講座内容（シラバス）

夜間 金曜日

授業日	18:30~21:25							
	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目	8回目 <試験を含む>
	5/20	5/27	6/3	6/10	6/17	6/24	7/1	7/8

※以下の金曜日開講の講座から1講座を選択してください。

講座コード	開講講座名	担当講師名	充当科目		併用	制限・注意		受才 一 オ ン プ 講 シ			
			科目コード	科目名		配当学年	受講条件				
B1EA	英語	L 北原 安治	C10100	英語 I	1年	・I~IVのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。					
			C10200	英語 II							
			C10300	英語 III	2年						
			C10400	英語 IV							
B1EB	国文法	鈴木 浩	M30300	国文法	2年						
B1EC	宗教学基礎講読	合田 秀行	P30100	宗教学基礎講読	2年						
B1ED	西洋史概説	荒木 洋育	Q30400	西洋史概説	2年	・文理・経済・商学部のみ申込可。 ・履修条件あり（シラバス参照）					
			K32400	西洋史概論		・法学部のみ申込可。 ・履修条件あり（シラバス参照）					
B1EE	社会政策論	齋藤 有里	R32100	社会政策論	2年	・文理、経済、商学部のみ申込可。					
			L31600	社会政策		・法学部のみ申込可。					
B1EF	交通論	針谷 莊司	S30700	交通論	2年						
B1EG	教育制度論	安藤 忠	T20200	教育制度論	×	2年	・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。				
B1EH	博物館概論	中野 照男	Y20300	博物館概論	×	2年	・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。				

注意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。

その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講座内容（シラバス）

◆英文の基本構造を理解する

〔英語 L〕

金曜日

開講単位：1単位 担当者：北原 安治

◆学修到達目標 五文型に基づき、英文の構造を把握して初学者でも正しい訳ができるようになることを目標とする。

◆授業方法 予習段階で英文を8行ほどの間隔でノートに写す。その英文の下にS(主語)、V(動詞)などを書いてもらい、訳を付ける。細かく板書するので訳が書き取れないということはない。予習の段階で必ず本文をノートに写していくこと。各色のマーカーなど持ってくると良い。受講者の速度に合わせるので、かならずしも授業計画どおりにはならない。本文のみやり練習問題はやらない。ノート検査は抜き打ちで行うのでかならずノートは書いておく。ノートはルーズリーフでもよいが、必ず書いた分は全てのページを毎回持つて来ておくこと。ノート無きものは単位を与えない。および板書事項を正確にすべて写していないノートは不可とし単位を与えない。第5章から始める。

◆準備学修 予習段階で英文を8行ほどの間隔でノートに写す。板書のときは英文の下に訳を書くが、ノートの見開きの左のページに英文を写し、右のページに訳をつけても良い。単語を調べてくること。毎回和訳小テストをするので辞書を持ってくること。教科書を毎回持つてくること。教科書を持って来ているか調べる。

◆授業計画〔各170分〕

1回目	第5章（米1&2）の英文構造と和訳
2回目	第5章（米1&2）の英文構造と和訳
3回目	第5章（米1&2）の英文構造と和訳
4回目	第5章（米1&2）の英文構造と和訳
5回目	第5章（米1&2）の英文構造と和訳
6回目	第5章（米1&2）の英文構造と和訳
7回目	第5章（米1&2）の英文構造と和訳
8回目	第5章（米1&2）の英文構造と和訳と試験

◆教科書 丸沼『Major Countries in the World～世界の主要国～』小泉和弘編 凤書房
(Tel/Fax (03) 3483-3723) 1,944円(税込)(送料300円)

◆参考書 丸沼『ロイヤル英文法』旺文社 1,944円(税込)(送料350円)この本は講義では使わない。辞書は毎回持つてること。辞書を持って来ているか検査をする。

◆成績評価基準 試験、実力テストなどの総合評価。皆出席を望むが突然仕事が入った場合などはメールを送ること。欠席1回で何点か引く。出席点とノート点は加点しない。出席してノートを取るのは当然のことだからである。抜き打ちの実力テストも行う場合がある。板書事項を全部書いているかを調べる。ノート検査をして不備の者は不合格。

◆授業相談（連絡先）：

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆文法のわかりかたを身につける

(国文法)

金曜日

開講単位：2 単位 担当者：鈴木 浩

◆**学修到達目標** 文法を理解するには、ことばを文法の側面からとらえる考え方を身につける必要がある。たとえば、あることばについて論じるとき、そのことばひとつで考えるのでなく、そのことばが他のどんなことばとつながるかに着眼する、というのがその一例である。この授業では、こうした文法を理解するために必要な考え方を獲得し、それを運用する力を養うことを目標とする。

◆**授業方法** 講義に「話し合い学習」を組み合わせる。「話し合い学習」とは、その回の授業内容に関してその理解を受講生同士が確認したり自分たちなりに適用したりする、一種の討議である。「話し合い学習」の結果は「学習記録用紙」にまとめ、事後のフィードバックができるようにする。

◆**準備学修** 【事前】各回の授業内容を予習する。具体的には、次回分の話題に関する準備的な課題(予習課題)を出すので、それをおこなってくる。なお1日目の予習課題は開講1週間前をめどに配布する。【事後】授業内容を補完するプリントを毎回配布するので、それを通読し、理解を確認・修正する。

◆授業計画【各 170 分】

1回目	文法的な考え方 ——単語ひとつで発想しない——
2回目	「かかる・うける」およびそれと区別すべきこと ——倒置、スコープ——
3回目	「文」の理解 ——「文相当のまとめ」や「文章」との区別——
4回目	単語か、単語未満か ——何の「最小単位」か——
5回目	修飾語と形容詞 ——文法現象とそのレベル差——
6回目	主体と対象(1) ——判断の表現から属性規定の表現へ——
7回目	主体と対象(2) ——属性規定から判断の表現形式へ——
8回目	試験 ——自己の理解を他者に伝えることができるか——

◆**教科書** **【当日資料配布】**当日、プリントを配布する。

◆**参考書** 授業の進行にともない、隨時紹介する。

◆**成績評価基準** (1) 試験 20%、(2) 予習課題 35%、(3) 話し合いの成果(学習記録用紙) 30%、(4) 参加行動 15%。「予習課題」と「学習記録用紙」は上記参照。参加行動とは授業内での自発的な発言・質問等である。

◆**授業相談(連絡先) :**

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
※授業相談(連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆『大乗起信論』を読み解く

〔宗教学基礎講読〕

金曜日

開講単位：2単位 担当者：合田 秀行

◆**学修到達目標** 紀元前後のインドに起こった仏教革新運動を大乗仏教と呼びますが、この流れが中国を経て、日本に伝播しました。この大乗仏教の根本教義を理論と実践の両面から手際よく要約したのが、5～6世紀に成立した『大乗起信論』であり、中国・日本の読者に愛読され、大きな影響を与えてきました。今回は、このテキストの講読を通して、大乗仏教の本質を理解することを目標とします。

◆**授業方法** 指定したテキストを輪読しながら、基本的に講義形式で解説していきます。原文の書き下し文と訳者の現代語訳を並行させて、進めていきます。仏教用語の特殊な読み方にも慣れてもらいます。また、講義の中では積極的に質問するように心がけて下さい。テーマによっては、討論形式でより理解を深めていく予定です。

◆**準備学修** 2回目以降については、具体的にテキストを講読（受講生に少しずつテキストを読んでもらいます）していきますので、予め指示した範囲の原文と現代語訳を読んで予習しておくこと。可能な限り、仏教用語の意味や読み方にについては、仏教辞典やインターネットを活用して調べた上で、講義に臨むことを推奨します。

◆授業計画〔各 170 分〕

1回目	ガイダンス（講義の進め方、使用テキストおよび主な参考文献の紹介）／『大乗起信論』とはどのようなテキストであるのか、仏教思想史の流れを概説し、その位置づけを解説します。
2回目	序分・因縁分・立義分／三宝への帰依を表す序分、この論を著述する動機を説いた因縁分、さらに大乗とは何かを示す立義分を講読します。また、仏教の基本的な立場を理解します。
3回目	解釈分（1）／全体の約3分の2に相当する解釈分（げしゃくぶん）を4回に分けて講読していきます。最初に、「心真如」（心の真実のあり方）という不生不滅の心性を理解します。
4回目	解釈分（2）／続いて、「心生滅」（心の生滅変化する様相）の解明を通して、「覚」（悟り）と「不覚」（迷い）の様相を理解します。ここでは、「如來藏」という思想についても言及します。
5回目	解釈分（3）／悟りと迷いを成立させる構造として、唯識説で提唱されたアーラヤ識の機能を解明します。これに関しては、唯識派の心識説についても補足しながら進めていきます。
6回目	解釈分（4）／悟りと迷いの相関性と四種の熏習（働きかけ）の説明を踏まえ、悟りの力としての心の真実のあり方、さらにそれを具現した存在である仏とはいかなるものかを理解します。
7回目	修行信心分・勸修利益分・流通分／解釈分での教説を踏まえて、信心を起こすための修行論、そして、本論における主題ともいべき「大乗への信」が成り立つ構造を把握します。
8回目	総括と質疑応答／試験は、講義内容を踏まえた上で、『大乗起信論』について、各自の視点で自由に論じてもらう形式の論述試験を行います。テキストやノートの参照を認めます。

◆**教科書** 丸沼『大乗起信論』宇井伯寿・高崎直道訳注 岩波書店（岩波文庫青 308-1）907円（税込）
(送料 215円)

◆**参考書** 丸沼『東洋哲学覚書 意識の形而上学一大乗起信論の哲学』井筒俊彦 中公文庫 740円（税込）
(送料 215円)

丸沼『大乗起信論』（佛典講座）平川彰 大蔵出版 7,128円（税込）(送料 350円)

◆**成績評価基準** 平常点（40%）試験（60%）テキストの輪読の状況、質疑や議論への参加という取り組む姿勢と最終回に実施する試験により総合的に評価します。原則的に3分の2以上に出席していることを評価の前提とします。

◆**授業相談（連絡先）：**

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆俯瞰図、展開図から見た西洋史

(西洋史概説)

金曜日

開講単位：2 単位 担当者：荒木 洋育

◆**学修到達目標** 中世から現代に至る西洋（ヨーロッパに加えてアメリカ等の地域を含む）の歴史の全体像をとらえることにより、自身が関心対象としている個別の地域、時代だけでなく、全体との関わりについて理解を深めることができる。また学問として「西洋史」を研究する際に出発点として最低限必要となる程度の基本的知識を、授業を通して一通り身につけることができる。

◆**授業方法** 下記のような時代区分を設定し、各回の中で更に細かく時期を区分して西洋地域の歴史を全体論、各地域の動向の二つの面から概観する。毎回配布するプリントに基づいて授業を行うが、双方向的な授業を求める立場から、受講者の方々とコミュニケーションをとる時間を毎回設定するので、受講者の方々には能動的な受講姿勢を求めたい。

◆**準備学修** 初回以降、その次の回の授業で重要な意味をもつ用語等について授業末尾にいくつか提示する。ネットを含む各種媒体で調べておくこと。また、特に強制するものではないが、山川出版社『各国史』シリーズの中から選んで読むなどの準備作業を行っておくと、授業内容の理解および更に進んだ知識の習得の上で役立つであろう。

◆**履修条件** 平成27年度夜間スクーリング（春期）「西洋史概説」との積み重ね不可。

◆授業計画【各 170 分】

1回目	・ガイダンス、西洋中世世界の成立 授業の進行方法の説明、フランク王国の成立、分裂と西洋各地域の動向
2回目	・西洋中世世界の隆盛 皇帝・教皇と封建社会、西洋中世国家の成立と競合
3回目	・中世から近世へ（～1534年） 中世末の動乱・社会変化とイタリア・ルネサンス、新航路の探索
4回目	・西洋近世国家の成立（～1689年） 宗教改革と宗教戦争、西洋主権国家体制の成立とその拡大
5回目	・近世国家の動揺と革命（～1815年） 絶対主義国家の興亡とアメリカ独立戦争、フランス革命、産業革命
6回目	・近代国民国家の成立（～1890年） 工業化の進展と資本主義・自由主義の時代
7回目	・西洋世界の拡大と内部抗争（～1945年） 帝国主義の広がりと二つの世界大戦
8回目	・統合に向かう西洋世界、試験 「冷戦」秩序とその終焉、欧州世界の統合の動き、今後の展望

◆**教科書** **【当日資料配布】** 当日プリント配布。

◆**参考書** 丸沼『西洋世界の歴史』近藤 和彦編 山川出版社 3,424円（税込）（送料350円）

『新版世界各国史』シリーズ 山川出版社

※全28巻のシリーズのため、丸沼書店では取り扱っていません。図書館等を利用し、自身の興味ある地域にしづって読んでおくと良い。

◆**成績評価基準** 平常点（30%）、試験（70%）。平常点については2/3以上の出席を前提とし、口頭発表等を対象として評価を行う。

◆**授業相談（連絡先）：**

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆ QOL (生活の質) と社会政策

〔社会政策論／社会政策〕

金曜日

開講単位：2 単位 担当者：齋藤 有里

◆**学修到達目標** 社会政策の歴史的な変化とその役割、および現在の日本が抱える雇用問題や様々なリスクに対して展開されている政策について講義します。われわれが、より良い生活を営むことができるような社会政策とはどのようなものか、ということについて考えることを目的としています。

◆**授業方法** 授業時に配布するプリントを使用し、講義形式でおこないます。また、毎回講義終了前にリアクションペーパー作成の時間を設けます。リアクションペーパーには、受講内容について、受講生自らが重要と感じたポイントなどについてまとめてもらいます。

◆**準備学修** 次回講義で使用するキーワードを授業時に出しますので、用語の意味などを調べておいてください。また、日頃から新聞などに目を通しておくことが望ましいです。

◆授業計画〔各 170 分〕

1回目	ガイダンス・社会政策の潮流 社会政策の誕生、学問としての社会政策の概要を講義します。
2回目	資本主義と社会政策 歴史的な視点から、社会政策の変化などについて講義します。
3回目	雇用労働者の権利と生活 雇用労働者の生活と、労働者にかかわる諸問題について講義します。
4回目	高齢化と社会政策 現代日本の高齢化問題を取り上げ、外国の高齢期の対策などを参考にしながら、日本の制度について考えます。
5回目	労働市場にみる格差 働き方による格差、ハンディキャップや性別などによって生じる問題について講義します。
6回目	生活保障と社会政策 社会政策の一つである、社会保障制度の意義について講義します。
7回目	グローバル社会における諸問題 国内における労働力不足や外国人労働者の問題について講義します。
8回目	21世紀の社会政策・全体のまとめ 試験の実施

◆**教科書** **〔当日資料配布〕** 当日にプリントを配布します。

◆**参考書** **通材**『労働経済論 R32200』 通信教育教材 (教材コード 000500) 3,300 円 (送料込)

〈この教材は市販の『よくわかる社会政策』石畠良太郎・牧野富夫編著 (ミネルヴァ書房) と同一です〉

※上記は平成 27 年度の価格です。平成 28 年度は価格改定が予定されています。平成 28 年 4 月 1 日以降に教材を購入する場合は、『部報』4 月号にて改訂価格を確認の上、購入下さい。

◆**成績評価基準** 授業への参加度・リアクションペーパー・小テスト (20%)、最終試験 (80%) で評価します。

◆**授業相談 (連絡先) :**

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
※授業相談 (連絡先) に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆交通の役割を考え、時代の変化に対応しよう (交通論)

金曜日

開講単位：2 単位 担当者：針谷 莊司

◆**学修到達目標** 交通の役割を考え、現代社会の変化に対応した考え方ができる能力をつけることを目標とする。日常生活の中での諸現象を交通の立場から考察できる知識を養成する。

◆**授業方法** この講義は、単に聴講するだけでなく、自分自身の考えを積極的に表現できる能力を習得することを目標とする。日常変化している現象を踏まえ、積極的に考え方を発表する講義をめざす。

◆**準備学修** ヤマト運輸のHPの特設の意見広告とその反応を読んで、受講者の考え方をまとめておいてください。

◆授業計画【各 170 分】

1回目	交通論の勉強の進め方
2回目	経済現象と交通の関わり
3回目	立地論と交通の関係
4回目	交通と地域との関わり
5回目	産業構造の変化と交通
6回目	規制緩和と交通の関係
7回目	商業の変化と交通
8回目	交通トピックス

◆**教科書** **通材『交通論 S30700』** 通信教育教材（教材コード 000184）1,950 円（送料込）

※上記は平成 27 年度の価格です。平成 28 年度は価格改定が予定されています。平成 28 年 4 月 1 日以降に教材を購入する場合は、『部報』4 月号にて改訂価格を確認の上、購入下さい。

◆**参考書** 講義時、指示致します。

◆**成績評価基準** 毎日、授業時課題を課します。意見発表、試験を総合的に評価します。

◆**授業相談（連絡先）：**

◆学校教育制度の発達・成立と現行教育行政 (教育制度論)

金曜日

開講単位：2 単位 担当者：安藤 忠

◆**学修到達目標** わが国の公教育・学校教育制度の成立と発展についての理解と、今日の学校教育の基本的性格の法規定について把握すること。教員採用試験を目指し、教職に熱意を持つ受講生を望む。

◆**授業方法** 配布資料・参考資料を基にしての講義形式を基本とする。

◆**準備学修** 日本国憲法の成り立ちと特徴、教育基本法の成立過程について学修しておくと、講義内容がより理解できるであろう。

◆授業計画【各 170 分】

1回目	講義内容についてのガイダンス。公教育の成立・発展。
2回目	わが国の近代学校教育制度の成立と発展 I（明治期から昭和初期）。
3回目	わが国の近代学校教育の発展 II（昭和初期から敗戦まで）。
4回目	戦後の教育改革。教育基本法の成立。
5回目	戦後教育の定着と教育基本法の改正。
6回目	現行学校教育の基本的性格 I。
7回目	現行学校教育の基本的性格 II。
8回目	現行学校教育の基本的性格 III。まとめの試験。

◆**教科書** **当日資料配布** 配布資料（当日・随時）

◆**参考書** **丸沼** 解説『教育六法』三省堂 2,808 円（税込）（送料 350 円）

◆**成績評価基準** 授業中に実施する 2~3 回の小テストと最終試験を総合して評価する。

◆**授業相談（連絡先）：**

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆学芸員になるために

〔博物館概論〕

金曜日

開講単位：2 単位 担当者：中野 照男

◆**学修到達目標** 履修者は、学芸員となるための基礎的な知識を習得し、現代日本の博物館が抱える問題点を理解することによって、学芸員として仕事をしていく上での基本的な能力と技術を身につけることができる。

◆**授業方法** 講義形式で進める。理解を深めるために、適宜、画像資料や映像資料を使用する。講義中に、履修者が発表すること、履修者同士で議論することを求めることがある。講義最終回に、テキストのデータを渡す。

◆**準備学修** 博物館や美術館に積極的に出かけ、普段から美術品や文化財に触れる機会を多く持つとともに、博物館活動の現況を観察することが必要である。展示の意図を忖度しながら、大いなる好奇心を持って、鑑賞してほしい。

◆授業計画〔各 170 分〕

1回目	ガイダンス、博物館関係の法令に見る博物館の定義
2回目	欧米各国の博物館の歴史、東京国立博物館の歴史と文化財保護制度の歴史
3回目	博物館の職員とその仕事、博物館における資料の収集と保管
4回目	博物館における専門的な調査研究とは何か、専門的調査研究の実例
5回目	博物館学芸員の日常的な研究、博物館資料の保存と修復
6回目	平常展示及び特別展の企画と運営、展示空間の設計と環境管理
7回目	博物館における教育活動、広報と普及活動
8回目	今日の博物館が抱える諸問題、試験

◆**教科書** 教科書は使用しない。

◆**参考書** 講義の内容に即した参考文献をその都度提示する。

◆**成績評価基準** 授業への参加度 50%，試験の成績 50%で総合的に評価する。

◆**授業相談（連絡先）：**

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

MEMO

V 講座の申込方法

1 受講手続の流れ

ここでは、受講手続の流れをまとめています。まず、この流れを把握し、受講手続を行ってください。なお、受講講座の選定にあたっては、『手引』のほかに『学修要覧』を参照してください。

項目	手 続 内 容
・『手引』入手 ・受講科目選択	・『手引』を読み、受講講座を決定する。
・受講講座 ・科目的単位修得方式決定	・受講講座・科目的単位修得方式を決定する。 各修得方法の詳しい内容は『学修要覧』の「単位修得方式」のページを参照。



履修登録	・単位修得を希望する科目的履修登録をする。 以下の2通りで登録してください。 ①ポータルサイト ②「履修届」用紙
------	---



スクーリング 併用試験方式 希望者のみ	・リポートを提出する。 スクーリング併用試験方式で受講する科目でリポート未提出のものは表紙記載の締切日までに教務課必着で提出する。 ※期限を超過した場合、いかなる理由があっても併用の申請を受け付けることはできません
---------------------------	---



受講希望の講座を申し込む	・受講を希望する講座・科目を「ポータルサイト」から申込み手続を行う。 又は、『手引』巻末の「受講届」に記入し、教務課へ提出する。 表紙記載の締切日に注意してください。
--------------	---



スクーリング受講許可講座の確認	・ポータルサイト上の『スクーリング・メディア授業情報一覧』にて申し込んだ講座が「申請許可」になっているか確認してください。 ※「受講届」提出者には、「スクーリング受講資格審査結果通知」を送付しますので、そちらで確認してください。
振込用紙の受け取り	・受講許可者に、スクーリング受講料の振込用紙を郵送します。 ・発送予定日から、5日経過しても振込用紙が届かない場合は、会計課に連絡してください。
許可講座の辞退 【許可講座の取消を行う場合のみ】	・受講を許可された講座（全講座・一部の講座とも）を受講しない場合、表紙記載の締切日までに辞退手続をする。詳しくは「許可講座を辞退する」のページを参照。
受講料の納入	・表紙記載の締切日までに受講料を振り込む。受講料未納者は受講できません。
使用教材の入手	・シラバスを参照し、許可された講座の教材を入手する。



授業開始	・各スクーリング会場やポータルサイトで、講堂表を確認した上で、それぞれの講堂で受講する。
------	--



スクーリング結果確認	・教務課から送付される通知又は「ポータルサイト」で、受講した講座の結果を確認する（ポータルサイトから申込された場合は、通知は届きません）。 ・発送日程は表紙記載。
------------	--

2 講座を申し込む

申し込み上の注意事項

「ポータルサイト」と「受講届」(はがき)の両方で申込みがあった場合は、「ポータルサイト」の内容を有効とします。

① 「ポータルサイト」による申込み

●申込みの前に

1	申込みには、IDとパスワードが必要です。 ID=学生番号 初期パスワード=自分の西暦生年月日（半角数字8桁）
2	申込みには、パソコンのメールアドレスの登録が必要です。 登録していない場合は、「ポータルサイト」にある「NU-AppsG（在学生専用メールアカウント）」を参照して登録してください。

●申込方法

1	通信教育部公式ホームページ（URL： http://www.dld.nihon-u.ac.jp/index.html ）の「在学生ログイン」をクリックしてください。	
2	「学生メニュー」を選択し、「スクーリング申請・取消」をクリックしてください。	

【各スクーリングのポータルサイト申込期間】

スクーリング名	ポータルサイトによる申込期間			
東京（5月期）第1・2期	2016年3月 3日（木）	10:00～	2016年3月 16日（水）	24:00
東京（6月期）	2016年4月 14日（木）	10:00～	2016年4月 27日（水）	24:00
夜間（春期）	2016年3月 31日（木）	10:00～	2016年4月 13日（水）	24:00
東京（7月期）	2016年5月 19日（木）	10:00～	2016年6月 1日（水）	24:00
地方（6月期）	2016年4月 14日（木）	10:00～	2016年4月 27日（水）	24:00
地方（7月期）	2016年5月 19日（木）	10:00～	2016年6月 1日（水）	24:00

3	<p>「未申請スクーリング一覧」から申請したいスクーリングのチェックボックスを選択し、申請ボタンをクリックしてください。</p>	
4	<p>併用を希望しない場合、申請実行をクリックしてください。併用を希望する場合、「受講希望方式」の「併用」のチェックボックスを選択し、申請実行をクリックしてください。</p>	

●受付完了

申請受付が完了すると、登録されているパソコンのメールアドレスに申請受付メールが配信されます。配信されない場合は、「スクーリング・メディア授業申請・取消」内の「申請済みスクーリング一覧」に該当講座があることを確認してください。

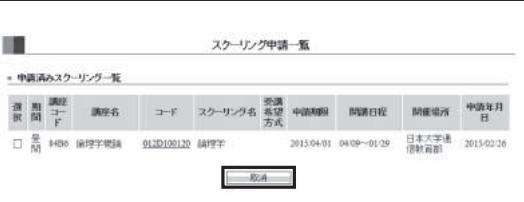
●申込確認

随时、「ポータルサイト」で確認することができます。

1	申込方法の1の手順で、ログインしてください。	
2	<p>「学生メニュー」を選択し、「スクーリング・メディア授業情報一覧」をクリックしてください。</p>	
3	<p>申込みをしたスクーリング・メディア授業の一覧が表示されますので、内容を確認してください。</p>	

●申込内容の変更・取りやめ

申込期間内に限り、「ポータルサイト」で変更・取りやめをすることができます。

1	申込方法の1～2の手順で、申請中のスクーリングの画面まで進んでください。	
2	<p>「申請済みスクーリング一覧」より取消したいスクーリングのチェックボタンを選択し、取消ボタンをクリックしてください。申込内容を変更する場合は、いったん取消後、再度申請してください。</p>	

※ 申込期限後に、スクーリング申込はできません。

② 「受講届」による申込み

「受講届」による申込みは、以下の要領で本誌巻末の「受講届」を作成し、教務課に提出してください。

(1) 記入上の注意

(ア) 講座コード

開講講座のコード番号です。記入にあたっては、「開講講座表」の「講座コード」欄を参照してください。

(イ) 講座名

開講される講座の名称です。この講座名を「開講講座表」を参照の上、記入してください。間違えて「充当科目名」を記入しないよう注意してください。

(ウ) 充当科目コード

開講講座の単位修得により充当できる科目のコード番号です。記入にあたっては、「開講講座表」の「科目コード」欄、及び後掲の「(2) 注意事項」を参照してください。

(エ) 併用方式希望欄

スクーリング併用試験方式による受講希望の有無を意思表示する欄です。スクーリング併用試験方式による受講を希望する場合についてのみ、次のとおり講座ごとに記入してください。

履修方法	記入方法
スクーリング併用試験方式を希望する	「○」印を記入
スクーリング併用試験方式を希望しない	無記入(空欄のまま)

※「○」印以外の記入があった場合、『併用』として取り扱うことができません。

※申込み締切後に、併用方式の受講希望を追加することはできません。

(オ) 学生番号・氏名・電話番号

電話番号は記載事項を確認する場合に使用します。確実に連絡のとれる電話番号を記載してください(緊急時電話番号に優先的に連絡しますので、あらかじめご了承ください)。

(2) 注意事項(「総合科目」、「英語」などの外国語科目及び「各演習科目」など)

例えば、「英語」の講座は、「英語Ⅰ」、「英語Ⅱ」、「英語Ⅲ」及び「英語Ⅳ」という科目を含んで開講されます。今回のスクーリングで「英語Ⅰ～Ⅳ」のどの科目に充当させるかは、各自の履修状況・履修計画によって異なります。したがって、英語をスクーリングで受講する際には、「受講届」に記載する充当科目コードによって「英語Ⅰ～Ⅳ」のうちどの科目で受講するのか、各自が大学に申告しなければなりません。

「受講届」では4桁の講座コードと6桁の充当科目コードの計10桁のコードによって、受講講座(科目)を登録します。コードは「開講講座表」の「講座コード」欄、「科目コード」欄に記載されています。

「英語」の場合、「開講講座表」の「科目コード」欄に4つのコードが記載されていますが、各自の履修計画に合致する科目(「英語Ⅰ～Ⅳ」のいずれか)のコードを、1つ選択してください。

東京 S (5月)														
内をすべて記入してください。														
平成 年 月 日														
平成 28 年度東京スクーリング(5月期)第1・2期受講届														
開講期	講座コード	講座名	充当科目コード	併用方式希望欄										
1期		(イ)		(イ)										
2期		(イ)		(イ)										
スクーリング併用試験方式での単位修得を希望する場合は この欄に○を記入してください。														
<p>提出期日(平成 28 年 3 月 16 日(水)) 郵送又は提出にて提出してください。 これは、東京スクーリング(5月期) 第1・2期の受講届です。それ以外のスクーリングをこの受講届で申し込んだ場合は、無効となります。 ■ 本票は、上記スクーリングの受講に関する事項について使用します。</p> <table border="1"> <tr> <td>学 生 番 号</td> <td> </td> </tr> <tr> <td>フ リ オ ナ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>氏 名</td> <td>(オ)</td> </tr> <tr> <td>自宅電話番号</td> <td></td> </tr> <tr> <td>緊急時電話番号</td> <td></td> </tr> </table>					学 生 番 号		フ リ オ ナ		氏 名	(オ)	自宅電話番号		緊急時電話番号	
学 生 番 号														
フ リ オ ナ														
氏 名	(オ)													
自宅電話番号														
緊急時電話番号														

《記入例》(講座「英語 C」において「英語Ⅲ」を選択した場合)

講 座 コ ー ド	開講講座名	担当講師名	充 当 科 目	
			科 目 コ ー ド	科 目 名
●●●●	英語 B	○○ ○○	C10100	英語 I
			C10200	英語 II
			C10300	英語 III
			C10400	英語 IV
▲▲▲▲	英語 C	○○ ○○	C10100	英語 I
			C10200	英語 II
			C10300	英語 III
			C10400	英語 IV

(2)

(1)

(4) (3)

- (1) 希望する講座として「英語 C」を選択。
- (2) 「英語 C」を選択したことによって講座コードは「▲▲▲▲」となる。
- (3) その講座で充当する科目として「英語Ⅲ」を選択。
- (4) 「英語Ⅲ」を選択したことによって充当科目コードは「C10300」となる。
- (5) 「受講届」の記入は、講座コードに「▲▲▲▲」、充当科目コードに「C10300」と記入します。また講座名に「英語 C」と記入します。
※「・・・演習」という講座も同様で、例えば「英語学演習」の場合、「英語学演習 I」、「英語学演習 II」及び「英語学演習 III」という科目を含んで開講されます。今回のスクーリングで「英語学演習 I ~ III」のどの科目に充当させるかを「受講届」に記入する充当科目コードによって各自が大学に申告してください。

記入上の注意事項

- (1) 黒のボールペンを使用し、楷書で正確に記入してください。
- (2) 「受講届」提出締切後の追加、変更はできません。
- (3) 記入誤り、記入漏れによる追加変更は一切いたしません。
- (4) 次の場合、大学の判断により事務的な処理にて講座の決定を行いますので、希望講座を受講できない可能性があります。
 - ・乱雑な記入
 - ・記入誤り、記入漏れ
 - ・記入した講座コード、講座名、充当科目コードの不一致

(3) 「受講届」を提出する（提出締切日は表紙を参照）

「受講届」の記入が終わったら、申込内容の控えをとり、「受講届」を教務課に提出してください。提出方法は以下の 2 通りです。

ア 教務課窓口に直接提出

教務課入口に提出用ポストを設置しますので、そちらに投函してください。【提出期限は事務取扱時間内】

イ 郵送で提出する

「受講届」を封筒に入れ、切手貼付の上、郵送してください。【提出締切日の消印有効】

郵送提出においての注意事項

天災や郵便の遅延・未着そのほかの事故については、いかなる配慮も行いません。

「受講届」が教務課に届かなかった場合、受講ができなくなりますので、特定記録郵便・簡易書留・書留を強くお勧めします。

特定記録郵便の場合、大学での受領記録が残りませんので、「受講資格審査結果通知」が届くまで、郵送した際の受領証を必ず保管してください。紛失の場合、郵便追跡確認ができなくなります。

また、リポート等、他の書類と一緒に送付するとその間にはさまってしまい、事故の原因になります。「受講届」は単体で送付してください。

3 受講講座の変更・追加

① 受講講座変更届の作成

受講講座の変更・追加をする場合は、市販の便箋等を使用し、以下の記入例を参考に「変更届」を作成してください。

※変更・追加のために、複数の「受講届」用紙を使用した場合や他のスクーリングの「受講届」を使用した場合は、正しい申込みが判別不能となり、申込みが「無効」となりますので、決して使用しないでください。

② 記入事項

変更・追加する事項の記入を行うほかに変更前の申込講座の「スクーリング名称」、「開催期」、「講座コード」、「講座名」、「充当科目コード」及び「併用方式希望」を明記してください。また、自己の所属学部・学科（専攻）・学生番号・氏名も忘れずに記入してください。

③ 提出先・提出方法

「受講届」提出と同様です。

④ 提出締切

「受講届」提出の締切日と同一です。別途の日程はありません。

※郵送の場合は受講届の提出と同様に提出締切日までの消印有効です。

《記入例》

〈市販の便箋等〉

① 東京スクーリング（5月期）第1・2期の場合

平成〇年〇月〇日				
日本大学通信教育部教務課長 殿				
平成 28 年度東京スクーリング（5月期）受講講座変更届				
標記のことについて、既に「受講届」にて申し込んだ東京スクーリング（5月期）受講講座を下記のとおり変更したく、本書面をもってお願いいたします。				
記				
(当初の受講講座)				
講 座	講座名	充当科目	受講希望方式	
コード		コード		
1 期	D8AG	アメリカ文学史	N30200	併用
2 期	D8BB	英語 B	C10100	—
(変更後の受講講座)				
講 座	講座名	充当科目	受講希望方式	
コード		コード		
1 期	D8AB	英語 A	C10100	併用
2 期	D8BB	英語 B	C10200	—
上記のとおり相違ありません。				
文理学部史学専攻 学生番号：24153999 氏 名：日大 太郎				

② 夜間スクーリング（春期）の場合

平成〇年〇月〇日				
日本大学通信教育部教務課長 殿				
平成 28 年度夜間スクーリング（春期）受講講座変更届				
標記のことについて、既に「受講届」にて申し込んだ夜間スクーリング（春期）受講講座を下記のとおり変更したく、本書面をもってお願いいたします。				
記				
(当初の受講講座)				
曜日	講 座	講座名	充当科目	受講希望方式
	コード	コード	コード	
水	B1C1	刑法 II	K20300	併用
金	B1E1	英語 L	C10100	—
(変更後の受講講座)				
曜日	講 座	講座名	充当科目	受講希望方式
	コード	コード	コード	
水	B1C2	英語 J	C10300	併用
木	B1E2	政治学 C	B11700	—
上記のとおり相違ありません。				
法学部法律学科 学生番号：11153999 氏 名：日大 太郎				

VI 申込講座の許可と不許可

1 受講許可を確認する

申込内容に基づき大学が受講資格審査を行い、その結果を受講資格審査結果通知により通知します。ポータルサイトでの申請者には送付されません。ポータルサイト上の「スクーリング・メディア授業情報一覧」にて確認してください。

① 充当科目コードの確認

必ず充当科目コード・単位を確認してください。

「充当科目コード」及び「開講単位数」欄に記載された内容が、申込み内容と同一であることを確認してください。

「英語」や「演習」などのように「I, II, III…」の区別のあるものや、科目の名称が類似している科目がありますので、十分注意してください。

スクーリング併用試験方式で申込みをした科目であっても、単位数はスクーリング開講単位が記載されています。

② 講座コード・講座名・時間割の確認

必ず講座コード・講座名・時間割を確認してください。

「講座コード」欄に記載された内容が、申込み内容と同一であることを確認してください。受講申込者数により講座が分割されている場合があります。

③ スクーリング併用試験方式の確認

併用試験の許可・不許可について下表のとおり記載されていますので確認してください。

「併用手続」欄表示	許可・不許可	備 考
○	許 可	
—	不許可	スクーリングの受講は可能です

※ 受講許可後は、一切の変更ができません。

2 講座振り分け及び受講不許可について

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者が定員を超えた場合、以下の①から③のいずれかで対応させていただきます。

① 超過した人数分の学生を他講師担当の同一科目講座へ振り分ける

② 新たに他講師担当の同一科目講座を増設し、超過した人数分の学生をその講座へ振り分ける

※①及び②の場合、振り分けられた講座を受講することになります。担当講師、授業内容は振り分けられた講座の内容に変更されますのでご注意ください。

③ 超過した人数分の学生を受講不許可にする

※希望した講座が受講できることになります。また、新たに代わりの講座を申し込むこともできません。あらかじめご了承ください。

振り分けられた講座の受講を辞退する場合には、「3 許可講座を辞退する」を参照し、辞退手続を行ってください。なお、①及び②についても受講辞退後、新たに代わりの講座を申し込むことはできません。あらかじめご了承ください。

3 許可講座を辞退する

この手続は、振込用紙を受け取った後、やむを得ない理由等により受講許可講座の全部又は一部の受講ができなくなった場合、その講座の辞退を行う手続です。

ただし、この辞退手続はスクーリング受講料等納入前であることが条件となります。スクーリング受講料等納入後に受講辞退の意思表示があったとしても受講料等は一切返還しません。

講座の辞退を行う場合には以下により手続を行ってください。

① 手続書類

以下の（1）及び（2）を教務課試験係まで提出してください。

- （1）「受講申込辞退願」【各種用紙】
- （2）振込用紙
- （3）362円分郵便切手（大学からの再送付時の速達郵便料）を貼付した、長形3号（A4判三つ折の用紙が入る大きさ）の返信用封筒（自己の郵便番号、住所及び氏名を明記）

※（3）は、一部の講座を辞退する場合のみ必要です。

② 手続期限 いかなる場合でも期限後は手続できません。

スクーリング名			受講申込辞退の手続期限
東京	5月期	第1・2期	4月18日（月）
	6月期		5月25日（水）
	7月期		6月22日（水）
夜間（春期）			5月2日（月）
地方	6月期		6月6日（月）
	7月期		7月4日（月）
			《事務取扱時間内必着》

③ 提出先 教務課試験係

事務取扱時間内であれば窓口での提出もできます。

※ この手続は他の講座への変更・追加申込みではありませんので注意してください。

申込講座の辞退がない場合、受講料等を期限までに納入してください。

1 受講料

スクーリング名			受 講 料
東 京	5月期	第1・2期	1講座 10,000円×受講講座数
	6月期		
	7月期		
夜 間 (春期)			
地 方	6月期・7月期		1講座 13,000円×受講講座数

2 振込用紙発送予定日

スクーリング名			在学生	平成28年度新入生(4月生)
東 京	5月期	第1・2期	4月 11日(月)	4月 18日(月)
	6月期		5月 18日(水)	5月 25日(水)
	7月期		6月 15日(水)	6月 22日(水)
夜 間 (春期)			4月 25日(月)	4月 28日(木)
地 方	6月期		5月 30日(月)	6月 6日(月)
	7月期		6月 27日(月)	7月 4日(月)

発送予定日から5日を経過しても通知が届かない場合は、至急、会計課（電話 03-5275-8925）に連絡してください。

3 納入期限

スクーリング名			納入期限
東 京	5月期	第1・2期	4月 25日(月)
	6月期		6月 1日(水)
	7月期		6月 29日(水)
夜 間 (春期)			5月 11日(水)
地 方	6月期		6月 13日(月)
	7月期		7月 11日(月)

銀行窓口 ※当日取扱時間まで

4 納入方法

必ず大学から送付される振込用紙を使用し銀行窓口から振り込んでください。

注 意 事 項

① 納入に際しての注意事項

- (1) 銀行（ゆうちょ銀行を除く）窓口のみの取扱いとなります。会計課窓口及び郵送での納入はできません。
- (2) 自動振込機（ATM）及びネットバンキングからの納入は受け付けません。
銀行係員が勧めても使用しないでください。
- (3) 振込用紙に記載された事項を訂正したものは受け付けません。

② その他の注意事項

- (1) 発送予定日から5日経過しても振込用紙が届かない場合は、至急会計課に連絡してください。
また、期日までに納入できない事情が発生した場合は、至急教務課に連絡してください。
- (2) 領収書（銀行領収印の押印されているもの）は、受講時及び試験時に提出を求められる場合があります。受講期間中は、学生証と共に常に携帯してください。
- (3) 受講料等を納入した後に、受講申込辞退の意思表示があったとしても、受講料等の返還は行いません。

1 使用教材の入手

スクーリングは集中講義形式の授業ですので予習なしでの受講は学修効果が期待できません。受講許可後、本誌のシラバス（教科書、参考書）で使用教材が、『通信教育教材』か『市販教材（市販本）』かを確認の上、以下の要領で教材を入手してください（教科書等の価格・送料はシラバスに記載されています）。

教材購入方法の見分け方は、後掲の「③教材購入方法の見分け方」を参照してください。

注意事項

すでに所持している『通信教育教材』であっても、教材改訂によりシラバスに記載されている「教科書」や「参考書」と異なる場合がありますので、科目名のみによらず、シラバスに掲載されている「教材コード」と所持する『通信教育教材』の教材コードとを照合し、不一致の場合は、教材を入手してください。

なお、教材購入後の変更・取消及び費用の返還はできませんので注意してください。

① 使用教材が『通信教育教材』の場合

通材 印が付されている教材は、本誌「各種用紙」の「教材購入願」を使用し購入または配本申請（部報4月号参照）してください。既に今回の使用教材を入手している場合は、改めて「教材購入願」によつて購入する必要はありません。教材の送付先は、すべて大学に登録されている各自の住所への発送となります。教材が手元に届くまでは手続完了後、約1週間を要しますので、受講許可を確認した後、速やかに手続きを行ってください。

※本手引掲載の教材価格は平成27年度の教材価格です。

平成28年度は価格改定が予定されていますので、平成28年4月1日以降に教材を購入する場合は、『部報』4月号にて改定価格を確認の上、購入ください。

なお、『通信教育教材』について不明な点は、研究事務課（電話03-5275-8890）に問い合わせください。

② 使用教材が『市販教材（市販本）』の場合

『市販教材（市販本）』は、一般書店で購入してください。住居地周辺の書店で購入できない場合、**丸沼** 印のついている本については、丸沼書店で購入できます。

（書店名）（株）丸沼書店

（所在地）〒101-0061 東京都千代田区三崎町2-8-12

（電話）03-3261-4540

（FAX）03-3261-0118

（営業時間）9:00～20:00（日曜日は休み）

（購入方法）直接店頭（176ページを参照）で購入のほか以下（1）～（3）の方法で通信販売も可能です。

（1）代金引換払（手数料260円が別途かかります）

本誌「各種用紙」の「教材購入用紙（丸沼書店用）」に必要事項を記入の上、上記あてに郵送又はFAXをしてください。

（2）為替（前納）

本誌「各種用紙」の「教材購入用紙（丸沼書店用）」と税込価格+送料の合計金額分の定額小為替又は普通為替を同封して上記あてに郵送してください。

（3）現金書留（前納）

本誌「各種用紙」の「教材購入用紙（丸沼書店用）」と税込価格+送料の合計金額を同封して上記あてに郵送してください。

不明な点は、丸沼書店に直接問い合わせてください。

『市販教材（市販本）』の価格・送料は『手引』作成時の金額です。改訂等により金額が変わることもあります。あらかじめご了承ください。

2 「休暇依頼状（勧奨状）」と「出席証明書」の発行

① 休暇依頼状（勧奨状）

休暇依頼状は、スクーリングに出席するために勤務を休む必要がある場合に、大学から勤務先に対して発行するものです。日本大学通信教育部長名でスクーリングの開講期間等を明記した「休暇依頼状」と、公益財団法人 私立大学通信教育協会長名で通信教育の主旨等を記載した「勧奨状」の2通を発行します。なお、発行はスクーリングの受講許可後となります。

休暇依頼状（勧奨状）希望者は、送付先を明記した返信用封筒（長形3号・82円切手貼付）を添えて、本誌「各種用紙」の「休暇依頼状（勧奨状）申込書」により庶務課あてに申し込んでください。

② 出席証明書

勤務先にスクーリングに出席したことを証明する書類が必要な場合には、大学として「スクーリング出席証明書」を発行します。ポータルサイトの「各種手続用紙（様式）」からのダウンロード又は『部報』（4月号又は10月号）巻末の「証明書交付願」を使用し、教務課あてに申し込んでください。「出席証明書」の発行は、講義日程が終了した後となります。窓口で申し込む場合は、返信用封筒（長形3号・82円切手貼付）を添えてください。郵送での申し込みは、約10日間の日数を要します（手数料は1通につき300円）。

3 通学定期券の購入手続

通学定期券は、正科生がスクーリング受講を目的として通学する場合に限り購入できます。通学定期券購入の手続き等は、以下のとおりです。

① 学生証裏面学籍シールへの記入

- (1) 「学生番号」、「氏名」、「現住所」を黒のボールペンで記入してください。
- (2) 「通学区間」欄に対象区間及び経由（乗り換え駅）を記入してください。また、定期券が2枚に分かれる場合は2行に分けて記入してください。

② 購入手続き

- (1) 学生証及び「受講料振込依頼書」の（A）領収書（銀行の捺印のあるもの）を持参で事務取扱時間内に学生課窓口に来校し、所定の用紙に記入して「在籍確認」印の押印を受けてください。
- (2) 通学定期券取扱い駅の窓口にて定期券購入用紙に必要事項を記入し、押印済の学生証を提示することで通学定期券が購入できます。

③ 学生課窓口で記入する所定用紙について

- (1) 通学定期乗車券発行控（全員必要）
- (2) 滞在先届（スクーリング期間中に現住所以外から通学する場合に限り必要）
- (3) 通学証明書（都営地下鉄、都電、各路線バス等を利用する場合及び水道橋キャンパスに通学する場合に必要）

④ 対象区間

自宅（又は滞在先）の最寄り駅から以下「通信教育部最寄り駅」までの最短経路を対象とします。

鉄道会社	最寄駅（市ヶ谷キャンパス）	最寄駅（水道橋キャンパス）
JR東日本	市ヶ谷駅	水道橋駅
都営地下鉄	新宿線 市ヶ谷駅	三田線 水道橋駅・神保町
東京メトロ	有楽町線・南北線 市ヶ谷駅	丸の内・南北線 後楽園駅 半蔵門線 神保町駅

※最短経路とは所要の時間が最短、交通費が最安、乗換が最少である等の合理的な経路のことをいいます。

※途中経路や迂回経路は一切認められません。

⑤ 禁止事項

通学定期券を不正に使用してはいけません。不正使用したことが発覚すると、鉄道会社等の営業規則に基づき定期運賃の数倍の罰則金等が科せられます。また、大学自体も通学定期券発行の指定から外され、他の学生に多大な迷惑をかけることになります。

不正使用は絶対に行わないでください。

【不正使用例】

① 現住所及び通学区間を偽ること。	② 他人に譲渡・貸与すること。
③ 記名人以外が使用すること。	④ その他、不正に使用すること。

⑥ その他注意事項

- (1) 通学区間が変更となった場合は、学生課に届け出してください。
- (2) 年度内に「通学定期乗車券発行控」欄が不足となった場合は、学生課へ届け出してください。
- (3) 「在籍確認」印は、年度内に限り有効です。

4 学割証の発行について（長距離区間乗車時の学生割引制度）

「学割証」は、科目修得試験やスクーリングをはじめとする大学所定の行事に出席するため、片道100kmを超えて鉄道・バス等を利用する場合に限り使用することができ、運賃が2割引となります。

① 申込方法

巻末の「学割証交付願」に必要事項を記入し、学生課まで郵送又は大学窓口のいずれかで申し込んでください。

郵送の場合は、82円切手を貼付した宛名明記の返信用封筒が必要です。

② 発行条件（以下の全項目に該当すること）

- (1) 正科生であること。
 - (2) 科目修得試験やスクーリング等の大学所定の行事に出席することが目的であること。
 - (3) JR各社の鉄道又はバスを使用すること。
- JR以外の会社における学割証の適応の可否は、当該会社に各自で問い合わせてください。
- (4) 乗車距離が片道100km以上であること。

③ 割引額

普通乗車券運賃の2割（特急券・指定席は割引き対象外）

④ 乗車日（有効期間）

乗車日は当該行事初日の10日前から最終日の5日後までの間に限り選択できます。

⑤ 発行枚数

原則として1枚です。（1枚で往復が購入できます）

ただし、毎日通う場合等は往復乗車券購入枚数分の学割証を発行します。

⑥ 往復乗車券有効期間

片道の距離 (km)	200kmまで	400kmまで	600kmまで	800kmまで	1000kmまで
有効期間	4日間	6日間	8日間	10日間	12日間

※有効期間外になる場合には片道乗車券を2枚購入することになり、学割証も2枚必要です。

⑦ 発行所要期間

科目修得試験やスクーリングごとに定められた発行開始日以降で、「学割証交付願」を受け付けしてから2日後に発行します。（即日発行はできません）

郵送の場合も同様で、受付日の2日後にポストに投函しますので、郵送に係る日数を考慮して申し込んでください。

※ 急ぎの場合は速達で郵送し、返信用封筒も362円分の切手を貼ってください。

ただし、優先的な発行はいたしません。また、「郵送料>割引額」とならないように注意してください。

⑧ 発行開始日

スクーリング名	発行開始日
東京スクーリング（5月期）第1期	4月29日（金）～5月1日（日）
東京スクーリング（5月期）第2期	5月2日（月）～5月4日（水）
東京スクーリング（6月期）	6月4, 5日；6月11・12日（土, 日）
東京スクーリング（7月期）	7月2, 3日；7月9, 10日（土, 日）
夜間スクーリング（春期）	5月16日（月）～7月8日（金） ① 4月25日（月） ② 6月 8日（水）
地方スクーリング（6月期） 【札幌・山形・大阪】	6月18日（土）～6月20日（月）
地方スクーリング（7月期） 【名古屋・福岡】	7月16日（土）～7月18日（月）
	6月 1日（水）
	7月 1日（金）

※学割発行の有効期間は、1か月ですので、夜間スクーリングでの「学割証」発行を2回に分けています。

夜間スクーリング全期間を通して毎週通学する必要があり、「学割証」の発行を希望する場合は、事前に学生課にご相談ください。

⑨ 使用方法

JR各駅の窓口で、学割証及び学生証を提示することにより、「学生割引乗車券」が購入できます。

⑩ 購入日

乗車券が購入できるのは、原則として乗車当日であり、事前の購入はできません。

新幹線等の座席を事前に確保したい場合は、特急券のみを事前に購入し、乗車券は乗車当日に購入するのが良いでしょう。

⑪ 禁止事項

学割証を不正に使用してはいけません。不正使用したことが発覚すると、学割証の発行が停止されるだけでなく、鉄道会社等の営業規則に基づき使用区間普通運賃の数倍の追徴金が課せられます。

また、大学に対しても割引特典取り消し等の処分がなされ、他の学生に多大な迷惑をかけることになるため、不正使用は絶対に行わないでください。なお、学割証を使用しなかった場合は、必ず学生課まで返却してください。

【不正使用一覧】

① 記載事項を改変すること。	④ 購入した乗車券を他人に譲渡すること。
② 記名人以外が使用すること。	⑤ 鉄道会社等の規則に違反して使用すること。
③ 有効期間外に使用すること。	⑥ その他、不正に使用すること。

⑫ よくある質問

Q 1. 複数のスクーリングで学割証を利用する場合は、巻末の「学割証交付願」も複数必要ですか？

A 1. 複数必要です。返信用封筒も複数必要な場合があるので、学生課に問い合わせてください。

Q 2. スクーリングに毎日（4月1日～3日の3日間）通学しますが、乗車日はどう記入すれば良いですか？

A 2. 乗車日欄に行4月1日、帰4月3日と記入し、必要枚数欄に3枚、理由欄に「毎日通学します。」と記載してください。

1 講座の受講

- ① スクーリングは全日程への出席が成績評価の前提となります。遅刻、欠席のないように準備してください。
- ② スクーリング受講の際は「学生証」及び「振込用紙（銀行領収印の押印されているもの）」を携帯してください。

2 試験の受験

試験は最終日に実施されます。特に大学が指定する科目や担当講師から特別の指示のあった科目の試験は、教室・時間を別に定めて実施します。試験の実施に関する指示は掲示、又は授業中に告知します。

なお、スクーリング試験を受験できなかつたり、不合格になった場合でも、追・再試験は実施しません。その他注意事項を次に挙げます。参照してください。

「スクーリング試験」受験上の注意

- 1 「学生証」及び「領収書（銀行領収印の押印されているもの）」を机上通路側の試験監督者が見やすいところに置くこと。受講手続及び受講料納入がない場合、受験できない。
 - 2 「学生証」を忘れた場合又は未更新の場合は、事前に教務課（講師室）に申し出て指示を受けること。
 - 3 携帯電話等は一切使用を禁止する。試験場内では電源を切ること。また、時計・電卓としての使用も禁止する。
 - 4 持ち込みを許可されたもの以外は机上に置かないこと。
 - 5 解答用紙は、1人1枚とし、再交付はしない。
 - 6 解答用紙の下段、太線枠内※印の事項については、必ずペン又はボールペンで記入すること。当該事項について記載がない場合又は誤記等は採点の対象にならない場合がある。
 - 7 試験開始後20分以上遅刻した者は受験することができない。
 - 8 途中退室は、試験監督者の指示がある場合に限り、試験開始30分後から認める。解答用紙を試験監督者に提出して退室すること。なお、用紙の持ち帰りは一切認めない。
 - 9 試験場では、試験監督者の指示に従うこと。
 - 10 不正行為（不正とみなされる行為含む）は絶対行わないこと。不正行為を行った場合は、学則により処分（停学・退学等）される。
- ※ 試験中の参考物等の貸し借りは不正行為とみなす。

3 スクーリング結果の確認

スクーリングの結果は、平成28年度授業料及びスクーリング受講料を納入した学生に対し、ポータルサイトでお知らせします。ただし、スクーリングの申込を「受講届」にて行った場合には、教務課から、結果通知を郵送します。ポータルサイトから申込みを行った場合には送付されませんので、あらかじめご了承ください。掲載の開始はホームページの新着情報に掲載します。

電話・郵便による問い合わせには一切応じることができません。また、スクーリング結果通知の再発行はいたしません。天災による郵便の遅延・未着や、その他の事故に対していかなる配慮も行いませんので、スクーリング結果通知を紛失した場合などはポータルサイトで確認、又は「単位照合票」の交付を受け、確認してください。

スクーリング名		結果発送時期	
東京	5月期	第1・2期	6月上旬
	6月期		7月中旬
	7月期		8月中旬
夜間（春期）		8月上旬	
地方	6月期		7月中旬
	7月期		8月中旬

① 結果の表示

結果は、「合格」、「不合格」又は「未受講」で発表します。

「未受講」の場合は、成績評価に一切算入しません。

※受講許可のない講座を受験した場合には「無効」とし、単位は修得できません。

② 単位数

結果が「合格」の場合、開講単位（1単位又は2単位）のスクーリング単位を修得したことになります。「講座内容（シラバス）」に記載されている単位数が、それぞれの科目（講座）のスクーリング単位数です。

スクーリング併用試験方式で受講が許可されている場合、スクーリングの合格及び提出されたりポートが全て合格した時点で科目の所定単位の修得が認められますが、スクーリング単位はあくまで「講座内容（シラバス）」に記載された単位数での修得となります。そのため併用試験方式による受講であっても、単位数欄は、所定単位ではなく、スクーリング単位が表示（記載）されます。

X 受講期間中の学生生活

1 受講にあたっての諸注意

① 学生証の携帯

「学生証」は学生としての身分を証明するものであり、常に携帯している必要があります。また、スクーリングの受講、「通学定期券」購入等の際にも必要になります。

② 健康保険証の携帯

スクーリング受講中は、万一の病気や事故に備えて、「健康保険証」（又は「保険証」に代わる「資格証明書」）を必ず携帯してください。

③ 掲示板の閲覧

スクーリング期間中は、実施校舎の掲示板に重要な事項について掲示します。授業、卒業論文指導の日程、各種行事等についての変更、注意事項を伝達する場合は、スクーリング実施校舎に掲示します。来校の際は必ず確認してください。

④ 貴重品等の管理及び紛失に関する注意

衣類、カバン、学生証、教材及び貴重品等各自の所持品を身辺から手放さないように注意してください。大学の施設内であっても、校舎内には学外者の往来も多数あり、係員の監視が十分に行き届かない場合があります。盗難や紛失には十分注意してください。

なお、盗難や紛失があった場合には、速やかに学生課まで申し出してください。

⑤ 紛失及び落し物の拾得

校舎内で所持品を紛失、あるいは他人の落し物を修得した場合には、速やかに学生課まで届け出してください。届けられたものは学生課で保管します。

⑥ 自転車・オートバイ等の車両による通学の禁止

スクーリング実施校舎周辺は、駐車・駐輪できる場所がありません。また、無断で駐車・駐輪するは違反になるばかりでなく、近隣の方の迷惑になるので、公共の交通機関を利用してください。なお、自転車による通学も禁止です。

⑦ その他の注意事項

- (1) 授業中の教室の出入り及び授業中の廊下の往来は静粛にすること。
- (2) 所定以外の場所には立ち入らないこと。
- (3) 所定場所以外での喫煙（教室内喫煙、歩行喫煙及び吸い殻の投げ捨て等）は禁止。
- (4) 授業中及び試験中は携帯電話等の電源を必ず切ること。
なお、試験中は時計としても使用不可。
- (5) 体調が悪い場合は、保健室（開室時間や場所は掲示板で確認）へ申し出ること。

2 スクーリング期間中の滞在先届

スクーリングを受講するためにホテル等の宿泊施設や知人宅等に滞在する場合は、本紙「各種用紙」の「滞在先届」又は学生課窓口に設置してある「滞在先届」に記入し、受講初日までに学生課に提出してください。

- ※ 不測の事故発生時の対応に必要なため、必ず提出してください。
- ※ 郵送では受付しません。
- ※ 通学定期券購入の際にも必要です。

3 「千代田区生活環境条例」について

千代田区では、歩きタバコや吸いガラ・空き缶などのポイ捨てを禁止する「生活環境条例」が施行されています。

JR 市ヶ谷、JR 水道橋及びスクーリング実施校舎周辺は、「路上禁煙地区」及び「環境美化地区」に指定されています。スクーリング受講生は、条例を遵守してください。

4 緊急時の避難行動の指示について

学事日程に従いスクーリングを開講しておりますが、授業中に起きた不測の事態に備え、身の安全が確保できるよう、以下のとおりの対応について行動方針を示しますので、熟読の上、ご理解ご協力をお願いいたします。

① 学生の服装について

突発的な災害に備え、学生は普段から身を守る服装を心がける。

※例えば、帽子、長袖、安全な靴、タオルやマスク、学生証（身分証明書）の携帯など。また日頃から自分で準備しておくと良い物（懐中電灯、自宅までの帰宅経路の地図、携帯ラジオ等）を携帯していることが望ましい。

② 避難について

(1) 地震発生時

ア 地震が発生し、教室内で強い揺れを感じた場合は、机の下に隠れ、身を守る姿勢を取る。

イ 教室外の場合は、その場で、頭を保護し、揺れに備えて身構える。釣り下がっている照明・機械等の下からは退避する。

(2) 避難時

ア 強い揺れが収まった場合、担当教員の指示に従い非常口などからあわてず整然とすみやかに避難場所に避難する。

イ 救援を必要とする者がいる場合、状況により救護活動を行う。

ウ 緊急一斉放送が入った場合にはその指示に従う。

※緊急放送例：「揺れが収まりました。身の回りの安全を確認し落ち着いて行動してください。」

—あわてて出口、階段に殺到しないように心掛けのこと。—

(3) 避難場所

避難場所では、担当教員又は職員が学生の安否確認を行うので、確認しやすい安全な場所で待機をしていること。

(4) あわてて帰宅をしない

強い地震の後には大きな余震が予測されるため、周囲の状況（何が起きたのか）、被害情報、余震情報、交通機関の運行情報等によって判断し、帰宅が困難な場合には避難場所で待機する。状況によっては一晩待つこともあり得る。

また、必要に応じて千代田区指定の帰宅困難者支援場所に移動する。

・<受講届>

- ・東京スクーリング（5月期） 第1・2期
- ・東京スクーリング（6月期）
- ・東京スクーリング（7月期）
- ・地方スクーリング（6月期）
- ・地方スクーリング（7月期）
- ・夜間スクーリング（春期）

・<受講申込辞退願>

- ・東京スクーリング（5月期） 第1・2期
- ・東京スクーリング（6月期）
- ・東京スクーリング（7月期）
- ・地方スクーリング（6月期）
- ・地方スクーリング（7月期）
- ・夜間スクーリング（春期）

・教材配本申請書

・教材購入用紙（丸沼書店用）

・教材購入願（通信教育教材購入用）

・通学定期乗車券発行控

・学割証交付願

・滞在先届

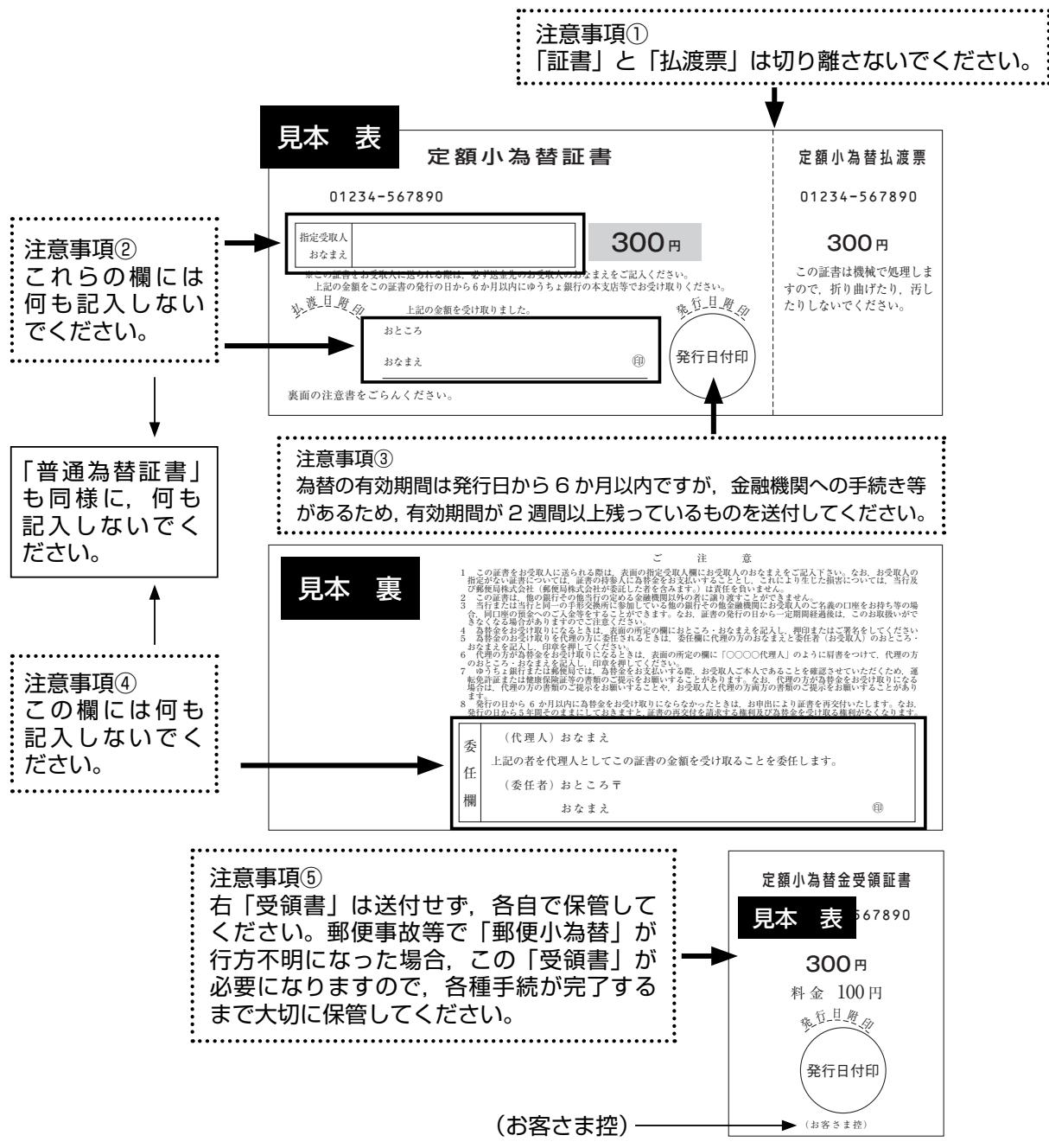
・休暇依頼状（勧奨状）申込書

選
講
座
の
定
め5月
東京
1期5月
東京
2期6月
東京
期7月
東京
期6月
札幌
期6月
山形
期6月
大阪
期7月
名古屋
期7月
福岡
期月夜
曜日間火夜
曜日間水夜
曜日間木夜
曜日間金夜
曜日間申
講
座
の
申
込
方
法許
可
と
不
許
可受
講
料
の受
講
准
備受
講
試
験
及
び学
生
愛
講
期
間
中
の
活
動各
種
用
紙付
録

「為替」送付時の注意事項

「証明書交付願」「教材購入願」等の各種手続において、手数料等を郵送にて「定額小為替証書」又は「普通為替証書」で納入する場合には、以下のことに注意してください。

なお、「定額小為替証書」又は「普通為替証書」をゆうちょ銀行又は郵便局窓口で購入する際は、手数料がかかります（詳細は郵便局窓口でご確認ください）。



東京 S (5月)

□ 内をすべて記入してください。

平成 年 月 日

平成 28 年度東京スクーリング（5月期）第1・2期受講届

開講期	講座コード	講座名	充当科目コード	併用方式 希望欄
1期				
2期				

スクーリング併用試験方式での単位修得を希望する場合は
この欄に○を明記してください。



- 提出締切日 〔平成 28 年 3 月 16 日 (水)〕
- 郵送又は窓口にて、提出してください。
- **これは、東京スクーリング（5月期）第1・2期の受講届です。それ以外のスクーリングをこの受講届で申し込んだ場合、無効となります。**
- 本票は、上記スクーリングの受講に関する事項について使用します。

学 生 番 号									
フ リ ガ ナ									
氏 名									
自 宅 電 話 番 号									
緊 急 時 電 話 番 号									

東京 S (6月)

□ 内をすべて記入してください。

平成 年 月 日

平成 28 年度東京スクーリング（6月期）受講届

開講期	講座コード	講座名	充当科目コード	併用方式 希望欄
6月	□□□□		□□□□□□□□	

スクーリング併用試験方式での単位修得を希望する場合は
この欄に○を明記してください。



- 提出締切日 〔平成 28 年 4 月 27 日 (水)〕
- 郵送又は窓口にて、提出してください。
- **これは、東京スクーリング（6月期）の受講届です。**それ以外のスクーリングをこの受講届で申し込んだ場合、無効となります。
- 本票は、上記スクーリングの受講に関する事項について使用します。

学 生 番 号	□□□□□□□□□□
フ リ ガ ナ	
氏 名	
自 宅 電 話 番 号	
緊 急 時 電 話 番 号	

東京 S (7月)

□ 内をすべて記入してください。

平成 年 月 日

平成 28 年度東京スクーリング（7月期）受講届

開講期	講座コード	講座名	充当科目コード	併用方式 希望欄
7月				

スクーリング併用試験方式での単位修得を希望する場合は
この欄に○を明記してください。



- 提出締切日 〔平成 28 年 6 月 1 日 (水)〕
- 郵送又は窓口にて、提出してください。
- **これは、東京スクーリング（7月期）の受講届です。**それ以外のスクーリングをこの受講届で申し込んだ場合、無効となります。
- 本票は、上記スクーリングの受講に関する事項について使用します。

学 生 番 号									
フ リ ガ ナ									
氏 名									
自 宅 電 話 番 号									
緊 急 時 電 話 番 号									

地方 S (6月)

□ 内をすべて記入してください。

平成 年 月 日

平成 28 年度地方スクーリング（6月期）受講届

開講地	講座コード	講座名	充当科目コード	併用方式 希望欄
札幌 山形 大阪				

スクーリング併用試験方式での単位修得を希望する場合は
この欄に○を明記してください。

開講地を○で囲んでください。

- 提出締切日 〔平成 28 年 4 月 27 日 (水)〕
- 郵送又は窓口にて、提出してください。
- **これは、地方スクーリング（6月期）の受講届です。**それ以外のスクーリングをこの受講届で申し込んだ場合、無効となります。
- 本票は、上記スクーリングの受講に関する事項について使用します。

学 生 番 号									
フ リ ガ ナ									
氏 名									
自 宅 電 話 番 号									
緊 急 時 電 話 番 号									

地方 S (7月)

□ 内をすべて記入してください。

平成 年 月 日

平成 28 年度地方スクーリング（7月期）受講届

開講地	講座コード	講座名	充当科目コード	併用方式 希望欄
名古屋				
福岡				

スクーリング併用試験方式での単位修得を希望する場合は
この欄に○を明記してください。

開講地を○で囲んでください。

- 提出締切日 〔平成 28 年 6 月 1 日（水）〕
- 郵送又は窓口にて、提出してください。
- **これは、地方スクーリング（7月期）の受講届です。**それ以外のスクーリングをこの受講届で申し込んだ場合、無効となります。
- 本票は、上記スクーリングの受講に関する事項について使用します。

学 生 番 号									
フ リ ガ ナ									
氏 名									
自 宅 電 話 番 号									
緊 急 時 電 話 番 号									

夜間 S (春期)

□ 内をすべて記入してください。

平成 年 月 日

平成 28 年度夜間スクーリング (春期) 受講届

開講曜日	講座コード	講座名	充当科目コード	併用方式 希望欄
月				
火				
水				
木				
金				

スクーリング併用試験方式での単位修得を希望する場合は
この欄に○を明記してください。



- 提出締切日 〔平成 28 年 4 月 13 日 (水)〕
- 郵送又は窓口にて、提出してください。
- これは、夜間スクーリング (春期) の受講届です。それ以外のスクーリングをこの受講届で申し込んだ場合、無効となります。
- 本票は、上記スクーリングの受講に関する事項について使用します。

学 生 番 号									
フ リ ガ ナ									
氏 名									
自 宅 電 話 番 号									
緊 急 時 電 話 番 号									

併せて提出するもの
全講座辞退→振込用紙
一部講座辞退→振込用紙
返信用封筒（長形3号、362円切手貼付）

平成28年 月 日

日本大学通信教育部 御中

平成28年度東京スクーリング(5月期)第1・2期受講申込辞退願

1 学生番号 _____

2 氏名(フリガナ) _____

3 連絡先電話番号 _____

4 辞退内容 全講座辞退（許可通知書記載講座すべてを辞退）
 (□にチェック) 一部講座辞退（許可通知書記載講座の一部を辞退する場合、
 辞退講座のみを以下へ記入）

期	講座コード	辞退講座名
1期		
2期		

5 辞退理由(詳述)

※ 提出期限4/18(月)【教務課必着】

※ 振込用紙と一緒に送付のこと。

※ この「辞退願」は「平成28年度東京スクーリング(5月期)第1・2期」専用です。

他のスクーリングの辞退手続きには使用できませんので、各スクーリング専用の「辞退願」を使用してください。

※ 一部講座辞退の場合、362円分の郵便切手(大学からの再送付時の速達郵便料)を貼付した、長形3号(A4判三つ折の用紙が入る大きさ)の返信用封筒(自己の郵便番号・住所・氏名を明記)を同封のこと。

※ 各スクーリングの辞退手続きは1回しかできません。

※ 提出期限以降の辞退手続きはできません。

教務課受付印	会計課受付印

併せて提出するもの

振込用紙

平成 28 年 月 日

日本大学通信教育部 御中

平成 28 年度東京スクーリング(6 月期)受講申込辞退願

1 学 生 番 号 _____

2 氏 名(フリガナ) _____

3 連絡先電話番号 _____

4 辞 退 内 容

講座コード	辞 退 講 座 名

5 辞 退 理 由 (詳述)

※ 提出期限 5/25 (水) 【教務課必着】

※ 振込用紙と一緒に送付のこと。

※ この「辞退願」は「平成 28 年度東京スクーリング(6 月期)」専用です。

他のスクーリングの辞退手続きには使用できませんので、各スクーリング専用の「辞退願」を使用してください。

※ 各スクーリングの辞退手続きは 1 回しかできません。

※ 提出期限以降の辞退手続きはできません。

教務課受付印	会計課受付印

併せて提出するもの

振込用紙

平成 28 年 月 日

日本大学通信教育部 御中

平成 28 年度東京スクーリング(7 月期)受講申込辞退願

1 学 生 番 号 _____

2 氏 名(フリガナ) _____

3 連絡先電話番号 _____

4 辞 退 内 容

講座コード	辞 退 講 座 名

5 辞 退 理 由 (詳述)

※ 提出期限 6/22 (水) 【教務課必着】

※ 振込用紙と一緒に送付のこと。

※ この「辞退願」は「平成 28 年度東京スクーリング(7 月期)」専用です。

他のスクーリングの辞退手続きには使用できませんので、各スクーリング専用の「辞退願」を使用してください。

※ 各スクーリングの辞退手続きは 1 回しかできません。

※ 提出期限以降の辞退手続きはできません。

教務課受付印	会計課受付印

併せて提出するもの

振込用紙

平成 28 年 月 日

日本大学通信教育部 御中

平成 28 年度地方スクーリング（6 月期）受講申込辞退願

1 学 生 番 号 _____

2 氏 名(フリガナ) _____

3 連絡先電話番号 - - -

開催地 (開催地に○)	期	講座コード	辞 退 講 座 名
札幌 山形 大阪	6 月期		

5 辞 退 理 由 (詳述)

※ 提出期限 6 / 6 (月) 【教務課必着】

※ 振込用紙と一緒に送付のこと。

※ この「辞退願」は「平成 28 年度地方スクーリング（6 月期）」専用です。

他のスクーリングの辞退手続きには使用できませんので、各スクーリング専用の「辞退願」を使用してください。

※ 各スクーリングの辞退手続きは 1 回しかできません。

※ 提出期限以降の辞退手続きはできません。

教務課受付印	会計課受付印

併せて提出するもの

振込用紙

平成 28 年 月 日

日本大学通信教育部 御中

平成 28 年度地方スクーリング（7 月期）受講申込辞退願

1 学 生 番 号 _____

2 氏 名(フリガナ) _____

3 連絡先電話番号 - - -

開催地 (開催地に○)	期	講座コード	辞 退 講 座 名
名古屋 福 岡	7 月期		

5 辞 退 理 由 (詳述)

※ 提出期限 7 / 4 (月) 【教務課必着】

※ 振込用紙と一緒に送付のこと。

※ この「辞退願」は「平成 28 年度地方スクーリング（7 月期）」専用です。

他のスクーリングの辞退手続きには使用できませんので、各スクーリング専用の「辞退願」を使用してください。

※ 各スクーリングの辞退手続きは 1 回しかできません。

※ 提出期限以降の辞退手続きはできません。

教務課受付印	会計課受付印

併せて提出するもの
全講座辞退→振込用紙
一部講座辞退→振込用紙
返信用封筒（長形3号、362円切手貼付）

平成28年 月 日

日本大学通信教育部 御中

平成28年度夜間スクーリング(春期)受講申込辞退願

1 学生番号 _____

2 氏名(フリガナ) _____

3 連絡先電話番号 - -

4 辞退内容 全講座辞退(許可通知書記載講座すべてを辞退)
 (□にチェック) 一部講座辞退(許可通知書記載講座の一部を辞退する場合、
 辞退講座のみを以下へ記入)

曜日	講座コード	講座名
月		
火		
水		
木		
金		

5 辞退理由(詳述)

※ 提出期限5/2(月)【教務課必着】

※ 振込用紙と一緒に送付のこと。

※ この「辞退願」は「平成28年度夜間スクーリング(春期)」専用です。

他のスクーリングの辞退手続きには使用できませんので、各スクーリング専用の「辞退願」を使用してください。

※ 一部講座辞退の場合、362円分の郵便切手(大学からの再送付時の速達郵便料)を貼付した、長形3号(A4判三つ折の用紙が入る大きさ)の返信用封筒(自己の郵便番号・住所・氏名を明記)を同封のこと。

※ 提出期限以降の辞退手続きはできません。

教務課受付印	会計課受付印

配本申請（無償）

平成 年 月 日

日本大学通信教育部 御中
(提出先: 研究事務課)

教 材 配 本 申 請 書

学 生 番 号						氏 名	
連絡先電話番号（携帯電話可）						- - -	

No	教材コード					教 材 名	配 本 単位数
1							単位
2							単位
3							単位
4							単位
5							単位
6							単位
7							単位
8							単位
9							単位
10							単位
合 計							単位

ポータルサイト「教材発送照会」の「登録（配本）」から申請できます。
ポータルサイトから申請できない方は、この用紙を使用してください。

※年度内2回まで、計32単位分まで教材の申請ができます。

※科目履修生は申請できません。「教材購入願」にて購入してください。

※後期（10月入学）生は、後期（10月）から申請できます。それまでの間は、「教材購入願」にて購入してください。

※消えないボールペンを使用し、記入してください。

※書ききれない場合には、用紙をコピーして2枚用いてください。

※「教材コード」は『部報』『教材要綱』『各種スクーリング手引』で確認し、記入してください。「教材コード」と「科目コード」は異なりますので注意してください。

※2冊組教材はセットコードを記入してください。

※スクーリング等で指定する丸沼表記の教材は、対象外です。

事務局使用欄

教材入手の手続と注意

—「教材配本申請書」、「教材購入願」—

研究事務課

通信教育部教材を入手する場合は、以下の内容を熟読し、手続きしてください。

1 教材の入手方法について

通信教育部で扱う教材は、「通信授業」（在宅学習）を目的とした教材です。

一部のスクーリング等で、通信教育部教材（**通材**と表記）を使う場合も、対象となります。

通信教育部で扱う教材の入手方法は、2通りあります。

なお、教材コード・販売価格等は『部報』（4月号・10月号）、『スクーリングの手引』に掲載されます。

「教材配本申請書」、「教材購入願」は、『部報』（4月号・10月号）巻末に掲載します。

① 「教材配本申請書」による配本（無料）

正科生のみ対象となります。年度内2回まで合計32単位分まで申請できます。

所定の「教材配本申請書」で申請してください。

一度提出した書類の追加・変更はできません。

ポータルサイトの「教材発送照会」画面の「登録（配本）」からも申請できます。

後期（10月入学）生は、10月から対応になります。その間は「教材購入願」で購入できます。

② 「教材購入願」による購入（有料）

教材を有料で購入することができます。

科目履修生の教材入手や、「教材配本申請書」の回数・単位数の上限を超えた場合、その他の理由で教材を入手したい場合には、有料で購入することができます。

教材を購入する場合、「教材購入願」に必要事項を記入し、次の手続により購入してください。

ポータルサイトの「教材発送照会」画面の「登録（購入）」からも用紙を作成・出力できます。

（1）窓口の場合

会計課窓口課にある「教材購入願」に必要事項を記入し、現金を添えて会計課窓口で手続をしてください。

（2）郵送の場合

『部報』巻末の「教材購入願」に必要事項を記入し、費用と併せて会計課に郵送してください（「教材購入願」裏面の注意事項を確認してください）。

ポータルサイトの「教材発送照会」画面の「登録（購入）」からも用紙を作成・出力できます。

2 注意事項

- ① 教材は「通信教育部教材」に限り購入できます。スクーリング等で指定する市販教材（丸沼表記の教材）は、対象外です。
- ② 手続後の変更・取消し、納入金額の返還はできません。
- ③ 印刷教材は、大学登録住所あてに送付します。教材が手元に届くまで7～10日を要しますので、余裕をもって手続をしてください。
- ④ 窓口での教材配本はできません。

教材購入用紙(丸沼書店用)

市販教材(市販本) 購入用

※**丸沼**印の教材を郵送にて購入の際は、この用紙で申し込んでください。
詳細は、「使用教材の購入」のページを参照してください。

(送付先) 丸沼書店

平成28年度 スクーリング(4月~7月)			
申込日	平成28年 月 日		
科目名	書名	教材費(税込)	送料
小計		円	円
合計		円	
購入方法 (いずれかに○)	①代金引換 ②定額小為替・郵便為替 ③現金書留		

※下記の住所、氏名の欄は返信用に使用しますのではっきり書いてください。

送 り 先	住 所	〒 -
	氏 名	
	電話番号	()

※この用紙で『通信教育教材』は購入できません。
※不足する場合は複写の上、使用してください

購入方法は裏面を参照してください。

【購入方法】

(1) ~ (3) の方法で通信販売も可能です。

(1) 代金引換払（手数料 250 円が別途かかります）

本紙「教材購入用紙（丸沼書店用）」に必要事項を記入の上、下記宛に郵送又は FAX をしてください。

(2) 郵便為替（前納）

本紙「教材購入用紙（丸沼書店用）」と税込価格 + 送料の合計金額分の定額小為替又は郵便為替を同封して下記へ郵送してください。

(3) 現金書留（前納）

本紙「教材購入用紙（丸沼書店用）」と税込価格 + 送料の合計金額を同封して下記へ郵送してください。

不明な場合は、丸沼書店に直接問い合わせてください。

※送料について

送料は書籍の総重量で変わります。それぞれの書籍の組み合わせにより送料が異なりますので、郵便為替・現金書留の場合、ご注文各書籍の送料の合計をお送りください。余った送料については、ご返金いたします。また、代金引換払の場合、書籍代 + 送料（実費）+ 手数料（250 円）を受取時にお支払いください。

(書 店 名) (株) 丸沼書店
(所 在 地) 〒 101-0061
東京都千代田区三崎町 2-8-12
(電 話) 03-3261-4540
(F A X) 03-3261-0118
(営 業 時 間) 9:00 ~ 20:00 (日曜日は休み)

通材

平成 年 月 日

日本大学通信教育部 御中
(提出先:会計課)

教材購入願 (通信教育教材用)

学 生 番 号						氏 名	フリガナ
連絡先電話番号 (携帯電話可)						- - -	

(太線枠内にボールペンで記入してください)

教材コード	科 目 名	金 額	スクーリング種別
			講 座 名
1 0 0 0			
2 0 0 0			
3 0 0 0			
4 0 0 0			
5 0 0 0			
6 0 0 0			
合計科目数		合計金額	
		_____	円

※ボールペンで記入してください。

※「教材コード・科目名・金額」は『部報』及び『スクーリング手引』で確認し、必ず記入してください。

「教材コード (6桁)」と「科目コード」は異なりますので、注意してください。

※「スクーリング種別・講座名」にはスクーリング・メディア授業において『通信教育教材』を使用する場合にのみ記入してください。

※『スクーリングの手引』における各講座の教科書 (参考書) 欄で指定されているもの、例えば、「**通材**『政治学 B11700』通信教育教材 (教材コード 000279)」と記載されている教材を購入する場合は「政治学」を科目名として記入してください (受講科目ではなく指定された教材の科目名を記入)。

会計課領収印

「通信教育教材」の購入について

平成 27 年度から、『通信教育教材』は「配本申請」または「教材購入」で入手します。 「教材購入」をする場合、「教材購入願」を使用し、以下の手続きにしたがって教材を入手してください。また「教材購入願」で購入できる教材は、『通信教育教材』のみです。 「配本申請」については、『部報』4 月号・10 月号を参照してください。 スクーリング等で教科書・参考書に指定された『市販教材（市販本）』は丸沼書店又はお近くの書店で購入してください。

1 購入手続

① 窓口手続

「教材購入願」に必要事項を記入し、現金を添えて会計課窓口（1号館2階）へ提出してください（なるべく釣り銭のないようにしてください）。

② 郵送手続

現金書留又は為替が利用できます。

(1) 現金書留での購入

「教材購入願」と合計金額分の「現金」を現金書留封筒にて会計課あてに送付してください。その際、必ず釣り銭のないようにしてください。

注意：普通郵便の中に現金を封入することは、郵便法によって禁止されています。

また、郵便事故による補償もありませんので、必ず現金書留を利用してください。

(2) 為替での購入

「教材購入願」と合計金額分の「定額小為替証書」又は「普通為替証書」を会計課あてに送付してください。

注意：郵便事故防止のため、なるべく簡易書留や特定記録郵便を利用して下さい。為替には何も記入せず送付してください。

2 注意事項

- ① 手続後の変更・取り消しはできません。また、返金もしませんので注意してください。
- ② 教材は大学に登録されている住所へ発送し、窓口ではお渡しません。

教材が手元に届くまでに約 1 週間要しますので、特にスクーリング、メディア授業で使用する場合は「受講許可通知書」を確認した後、速やかに購入手続きをしてください。

通学定期乗車券発行控

平成 年 月 日

学 科		学 年	学生番号		
大 学 院					
フリガナ				性 別	年 齢
氏 名				男・女	才
現 住 所					
電 話	()				
通学区間	駅～ 駅 経由				
	駅～ 駅 経由				

※記入後、学生課に提出すること。

※現住所・通学区間等に変更が生じた場合は学生課に届けること。

※現住所・通学区間等に偽りがあった場合には、学則により懲戒を行う。

注意事項

- ※ 通学定期券購入の手続きについては郵送では一切受け付けません。
- ※ 通学区間の「経由」欄には「乗り換えを行う駅名」を記入してください。

例

正しい記入	新橋 駅～ 市ヶ谷 駅 秋葉原 駅 経由
誤った記入	新橋 駅～ 市ヶ谷 駅 総武線 駅 経由

日本大学通信教育部長 殿

学割証交付願

下記の事由のため、学割証の交付をお願いします。

記

			平成 年 月 日 申請				
学部	学科（専攻）	学生番号					
氏名				年齢	歳		
現住所	〒	-					
TEL ()							
申請事由（該当箇所に○を記入してください）							
	東京スクーリング（月期）			卒業論文指導（月日）			
	夏期スクーリング（第期）			総合面接試問			
	地方スクーリング（月期） (開催地)			科目修得試験（第回）			
	昼間・夜間スクーリング (曜日 時限)			その他（）			
乗車区間	自	線	駅	至	線	駅	
乗車日	行	年	月	日	帰	年	月
必要枚数	枚	(1枚で往復乗車券購入可能。複数枚の場合は理由を明記すること)					
	※ 理由						
利用交通機関	鉄道・バス・その他（）			受取方法	窓口・郵送		

【注意事項】

- 科目履修生には、鉄道会社等の規定により発行できません。
- 大学主催行事以外（旅行等個人的事由）には使用できません。
- 乗車区間が100kmを超える場合に限り発行します。
- 郵送の場合は、返信用封筒（あて名明記、82円切手貼付）を同封してください。
- 1枚で往復乗車券が購入できます。ただし、学割証の有効期間内に限ります。
- この交付願では通学定期券の購入はできません。

滞在先届 平成 28 年度 東京スクーリング（4 月～7 月期）

学部	学科(専攻)	学生番号						氏名	
スクーリング期間中滞在先住所(宿泊施設名、知人宅名等もご記入ください。)									
〒	-								方
電話		()							
最寄駅		[駅]							
受講期間 5月期第1期・5月期第2期・6月期・7月期 (○で囲む)									
現住所									学生課受付印
〒	-								
TEL		()							

※ 本届によって得られた情報は、受講者が事故に遭遇した際など、緊急時において大学が各種対応をするために利用します。

キ リ ト リ -----

注意事項

※記入後にコピーしたものを添えて（計2部必要）受講初日
までに学生課窓口に提出してください。
※郵送では受け付けません。

日本大学通信教育部長 殿

休暇依頼状（勧奨状）申込書

スクーリング受講のため、休暇依頼状（勧奨状）の発行をお願いいたします。

平成 年 月 日 申請

申込者	学 部			学科（専攻）	
	学 生 番 号			学 年	
	氏 名				
	日中連絡先 電 話 番 号				
	勤 務 先 正 式 名 称				
所 属 部 署					
受講する スクーリング	種 別		開 催 地		
	受講期間				
提出先	勤 務 先 正 式 名 称				
	役 職 名				
	役 職 者 氏 名				

【注意事項】

- *スクーリング受講許可後に発行します。
- *勤務先に対してのみ発行します。
- *休暇依頼状に記載する受講期間は、スクーリング開講期間となります。
- *送付先を明記した返信用封筒（長形3号・82円切手貼付）を必ず同封してください。
- *複数のスクーリングで発行を希望する場合には、この用紙をコピーして使用してください。

庶務課受付印

付 錄

1 交通案内・校舎案内

① 交通案内～通信教育部までの交通～

〔東京駅乗継の場合〕

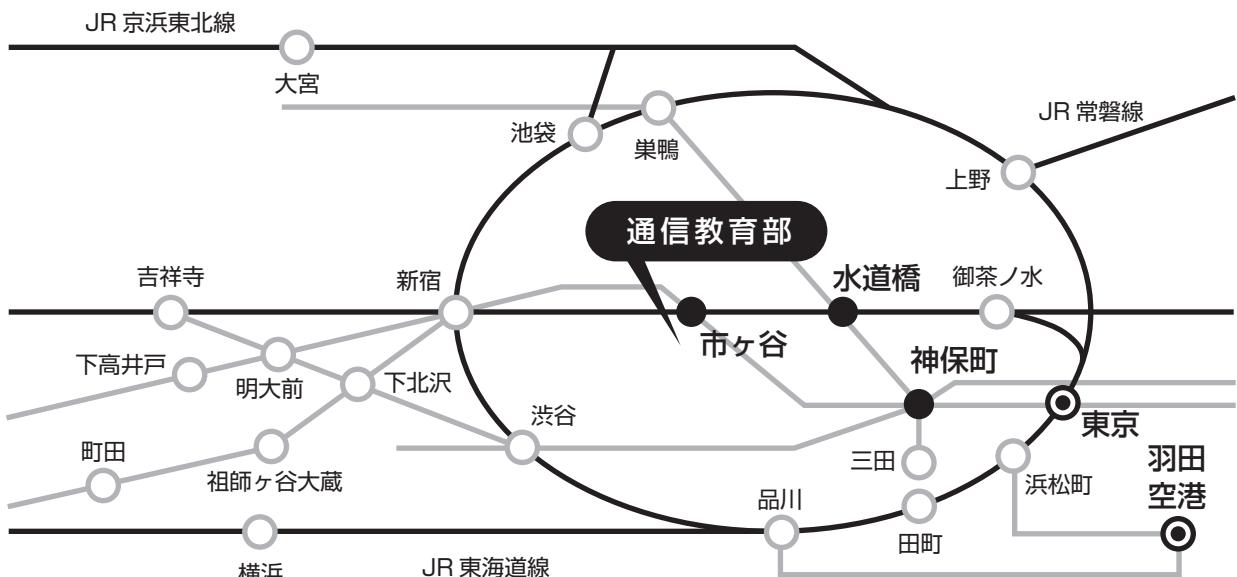
JR 中央線(1・2番線から発車する電車いずれも可)に乗車、御茶ノ水駅でJR 総武・中央線の各駅停車(新宿・中野方面)に乗り換え、市ヶ谷駅下車徒歩約3分。東京駅から約20分。

〔上野駅乗継の場合〕

JR 山手線・京浜東北線(東京方面)に乗車、秋葉原駅でJR 総武・中央線各駅停車(新宿・中野方面)に乗り換え、市ヶ谷駅下車徒歩約3分。上野駅から約20分。

〔羽田空港乗継の場合〕

東京モノレールで浜松町駅下車、JR 山手線・京浜東北線(東京・上野方面)に乗車、秋葉原駅でJR 総武線・中央線各駅停車(新宿・中野方面)に乗り換え、市ヶ谷駅下車徒歩約3分。羽田空港駅から約50分。



■市ヶ谷キャンパス

JR 中央・総武線(各駅停車) 市ヶ谷駅下車 徒歩3分

都営地下鉄新宿線、東京メトロ有楽町線・南北線 市ヶ谷駅 A2出口から 徒歩2分

■三崎町キャンパス

JR 中央・総武線(各駅停車)、都営地下鉄三田線 水道橋駅東口から 徒歩3分

都営地下鉄三田線・新宿線、東京メトロ半蔵門線 神保町駅 A4出口から 徒歩5分

選定の
5月1期 東京
5月2期 東京
6月期 東京
7月期 東京
6月期 品川
6月期 朝霞
6月期 朝霞
7月期 名古屋
7月期 岡崎
月夜曜日間
火夜曜日間
水夜曜日間
木夜曜日間
金夜曜日間
申込方法の
許可と不許可の
受講料の
受講準備の
受講及び
学生期間中の
各種用紙
付録

② 校舎案内

市ヶ谷キャンパス 【所在地】 〒102-8005 東京都千代田区九段南4-8-28



JR 中央・総武線（各駅停車）市ヶ谷駅下車 徒歩 3 分

都営地下鉄新宿線、東京メトロ有楽町線・南北線 市ヶ谷駅 A2 出口から 徒歩 2 分

③ 丸沼書店案内図



JR 中央・総武線（各駅停車）、都営地下鉄三田線 水道橋駅東口から 徒歩 3 分

都営地下鉄三田線・新宿線、東京メトロ半蔵門線 神保町駅 A4 出口から 徒歩 5 分

スクーリング手続 チェックシート

このシートは、受講届の記入からスクーリングを受講するまでの確認用です。

チ エ ッ ク 項 目	参 照
◆受講届の記入	
<input type="checkbox"/> 希望する科目的履修登録は済んでいますか	V-1 受講手続の流れ 表紙 (④ 履修登録締切日)
<input type="checkbox"/> 申し込む「受講届」用紙の選択に間違いはありませんか	卷末「受講届」
<input type="checkbox"/> [] 内の必要事項の記入漏れはありませんか (講座コード・講座名・充当科目コード・学生番号・氏名・電話番号)	V-2 講座を申し込む ◆各スクーリングの 開講講座表
<input type="checkbox"/> 講座コード・講座名・充当科目コードは一致していますか	◆各スクーリングの 開講講座表
<input type="checkbox"/> 希望科目的受講条件は満たしていますか (配当学年・適用カリキュラム・その他受講条件)	I-3 「開講講座表」の見方 ◆各スクーリングの 開講講座表
<input type="checkbox"/> 申し込む開講期、開講地、開講曜日は間違って記入していませんか	◆各スクーリングの 開講講座表
<input type="checkbox"/> 修得済科目を申込んでいませんか	・単位照合票 ・単位修得状況確認 (ポータルサイト)
◆併用 ※希望者のみ	
<input type="checkbox"/> スクーリング併用試験方式希望の場合は、受講届の「併用方式希望」欄に『○』を記入していますか	V-2 講座を申し込む
<input type="checkbox"/> 併用希望科目のリポートは、必要通数分を期限内に提出していますか	V-1 受講手続の流れ 表紙 (⑤ リポート提出締切日)
◆受講届の提出	
<input type="checkbox"/> 提出締切日に間に合いますか (郵送の場合は締切日消印有効)	表紙 (① 受講届提出締切日) V-2 講座を申し込む
<input type="checkbox"/> 〈推奨〉 申込内容の控えはありますか (受講届のコピー)	
<input type="checkbox"/> 申込完了のメールは届いていますか (ポータルサイトからの申込の場合のみ)	
<input type="checkbox"/> 〈推奨〉 特定記録郵便で発送しましたか	V-2 講座を申し込む
◆受講料の納入	
<input type="checkbox"/> ポータルサイト「スクーリング・メディア情報一覧」又は、受講資格審査結果通知の内容と振込用紙の内容に間違いはありませんか	VII-1 受講資格審査結果通知を確認する
<input type="checkbox"/> 受講料の納入期限は厳守していますか	VII 受講料の納入



各種連絡先

- | | |
|--------------------------------------|---------------------------------------|
| ○スクーリング全般に関する事項
教務課 03-5275-8911 | ○定期・学割・滞在届に関する事項
学生課 03-5275-8921 |
| ○受講料の振込に関する事項
会計課 03-5275-8925 | ○休暇依頼状（歓奨状）に関する事項
庶務課 03-5275-8901 |
| ○教材（教科書）に関する事項
研究事務課 03-5275-8890 | |

DISTANCE LEARNING DIVISION, NIHON UNIVERSITY

編集兼発行人 福田弥夫 〒102-8005 東京都千代田区九段南4-8-28 日本大学通信教育部